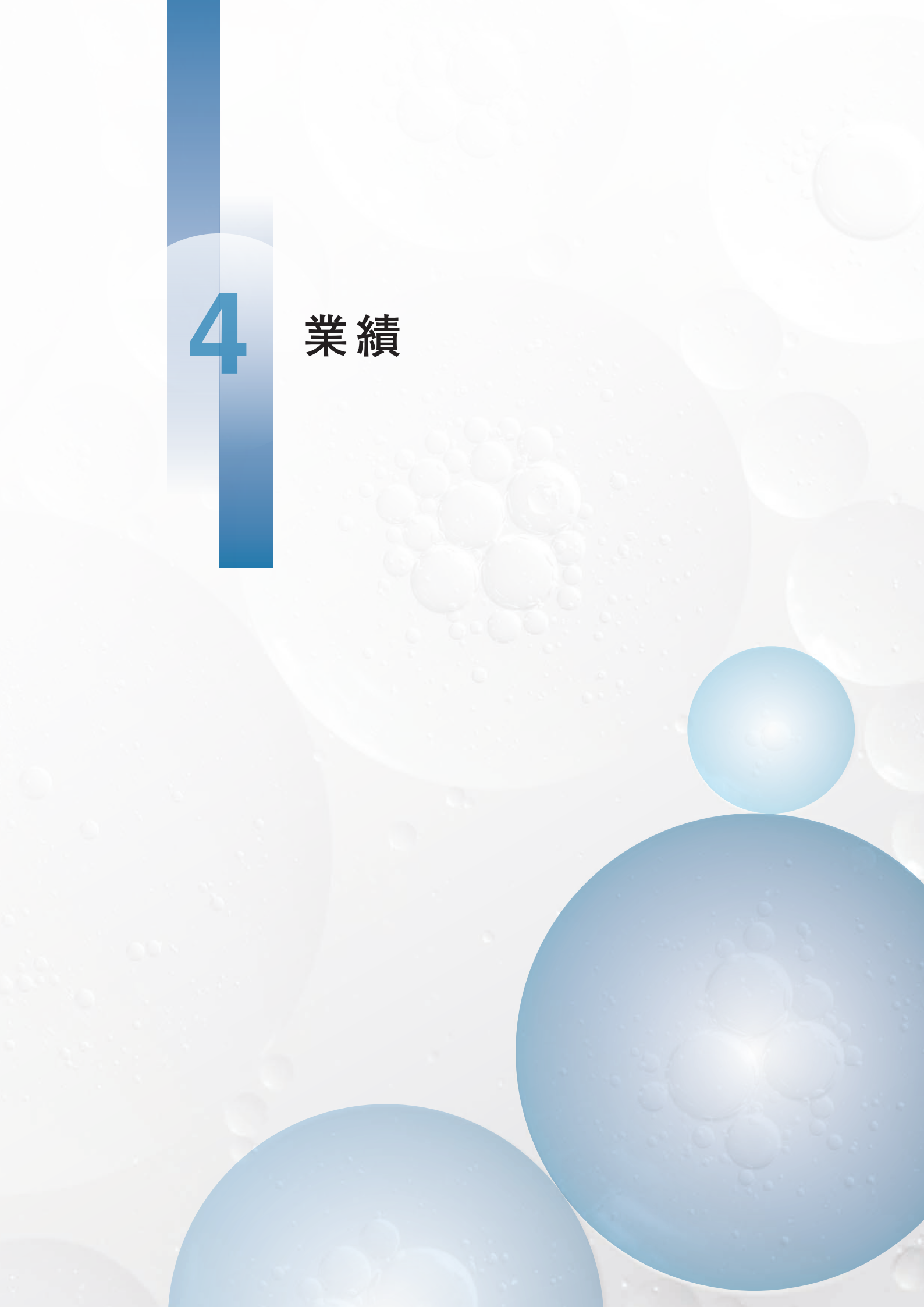


The background of the slide is a light cream color, decorated with numerous translucent blue circles of varying sizes. Some of these circles contain smaller, more detailed bubble-like patterns. A solid blue vertical bar is positioned on the left side of the slide, partially overlapping the large blue number '4'.

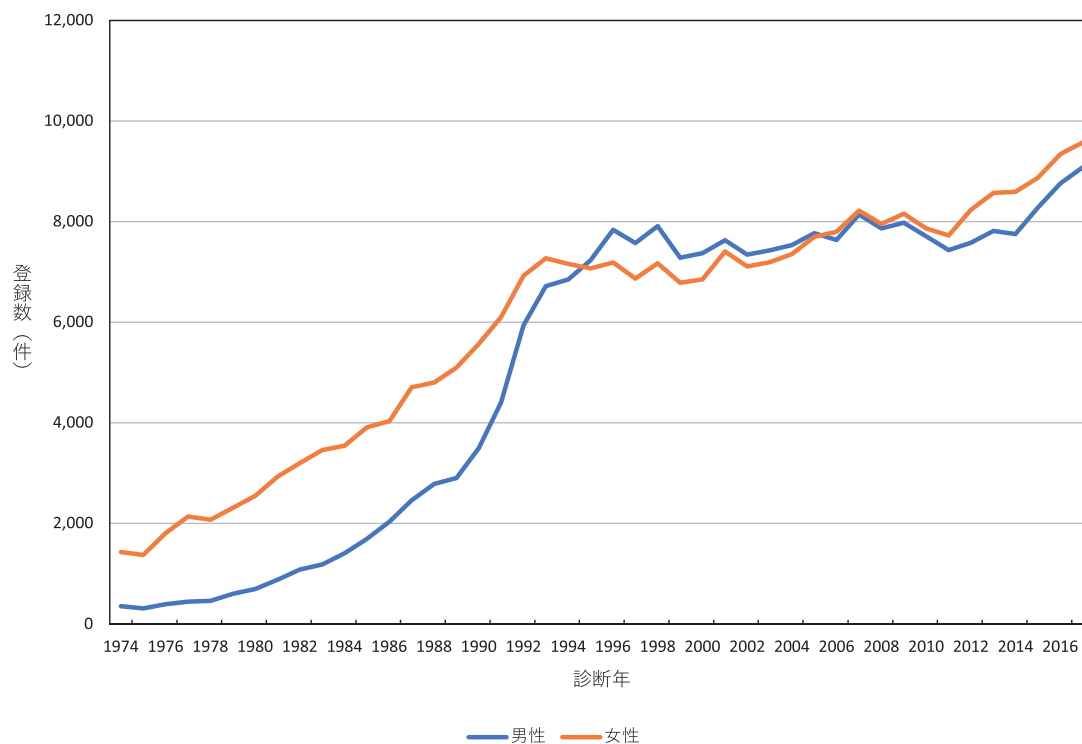
4

業績

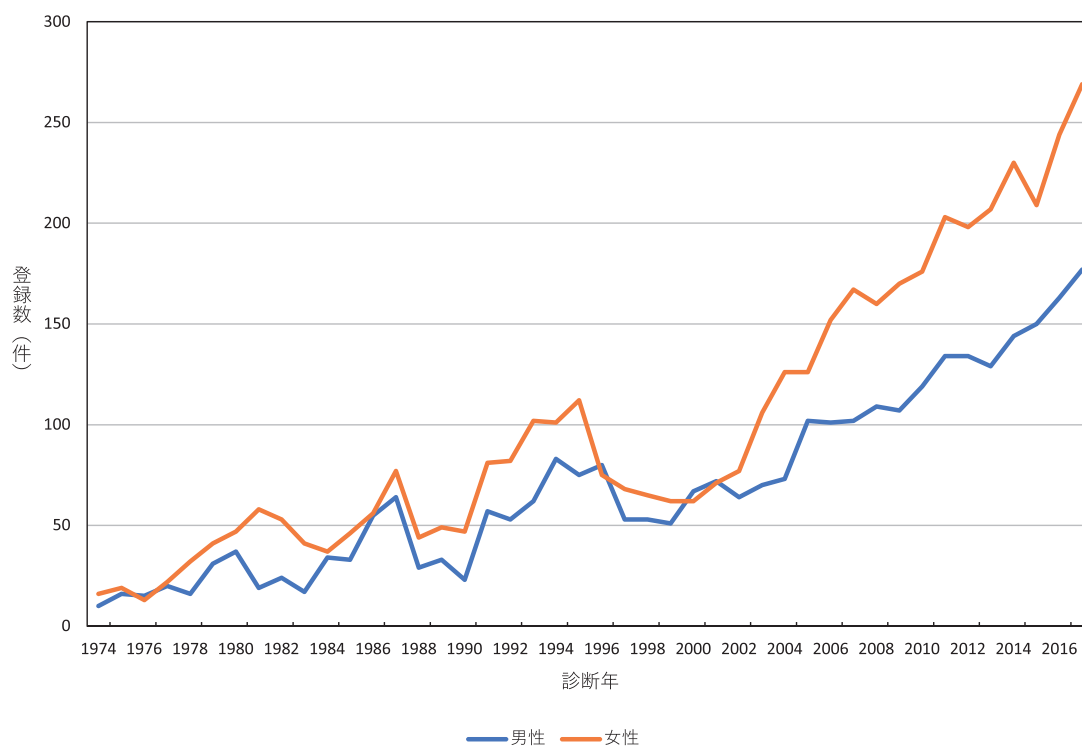
グラフで見る広島県腫瘍登録の全腫瘍の経年的推移

I. グラフで見る広島県腫瘍登録の男女別登録全腫瘍（良性腫瘍,/0；粘膜内がん,/2；悪性腫瘍,/3；良悪不詳腫瘍,/9）の経年的推移

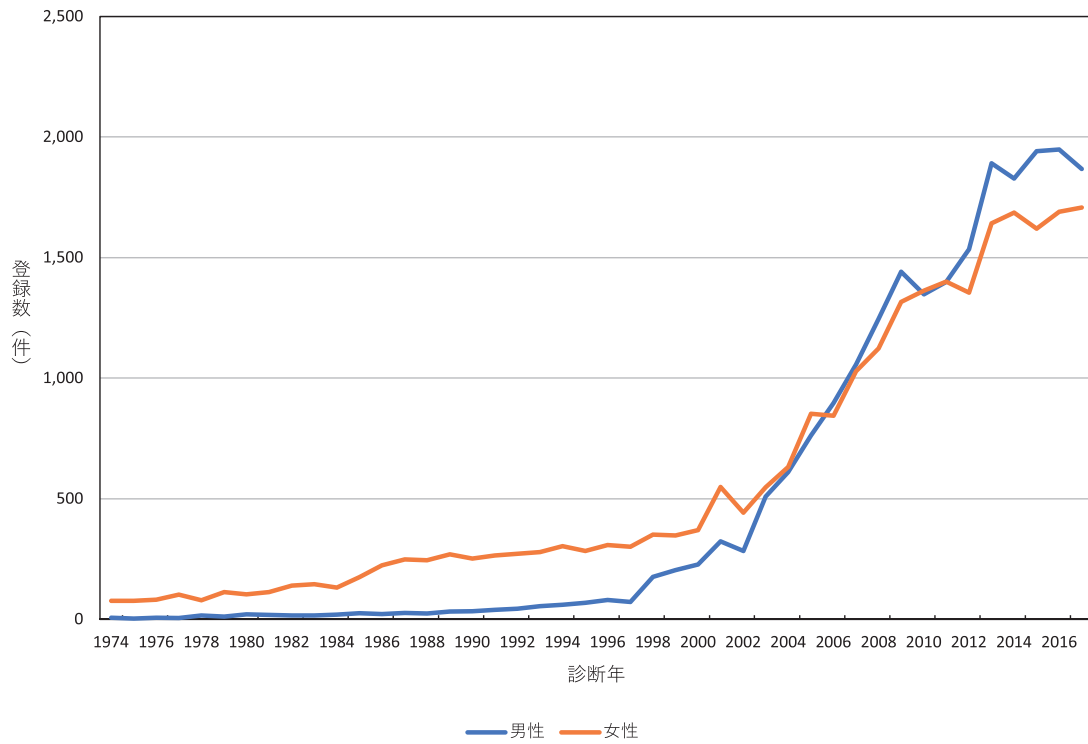
広島県腫瘍登録における登録数（良性腫瘍 全腫瘍 1974-2017年診断）



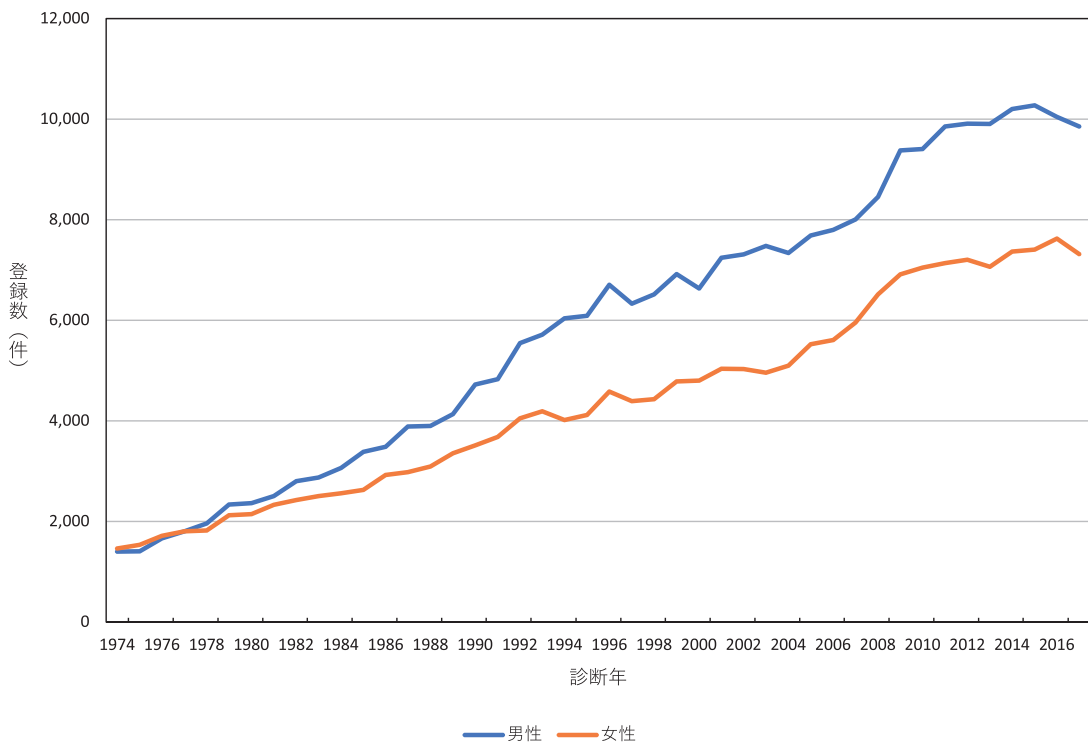
広島県腫瘍登録における登録数（良性悪性不詳 全腫瘍 1974-2017年診断）



広島県腫瘍登録における登録数（上皮内癌 全腫瘍 1974-2017年診断）

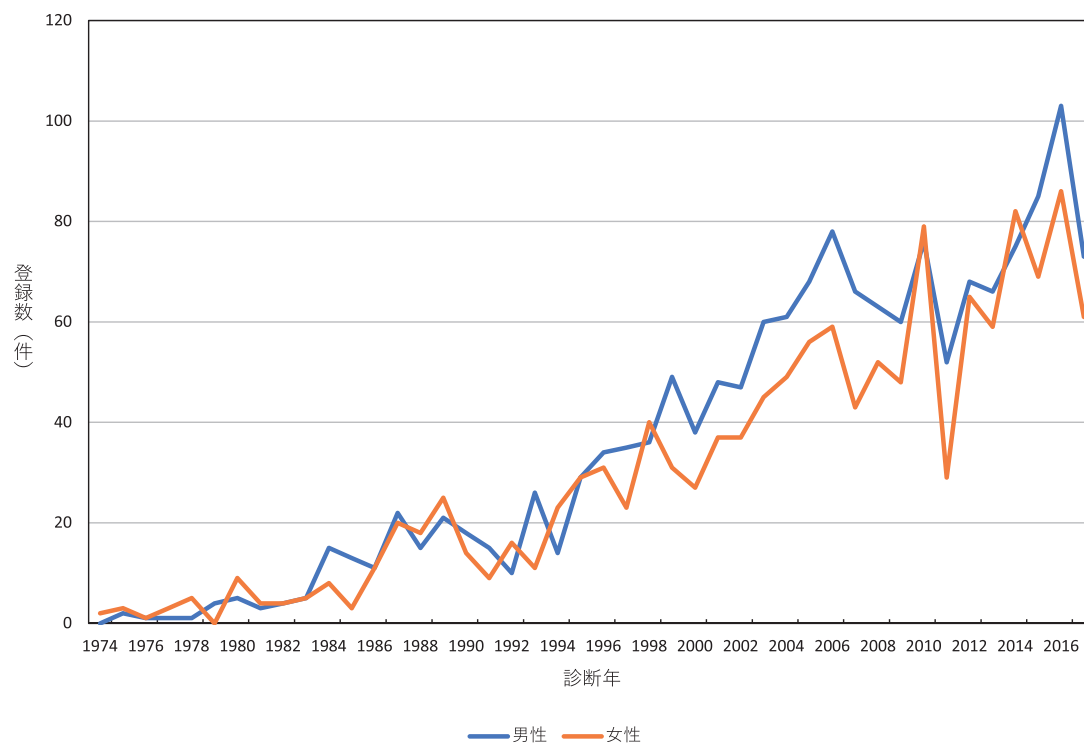


広島県腫瘍登録における登録数（悪性腫瘍 全腫瘍 1974-2017年診断）

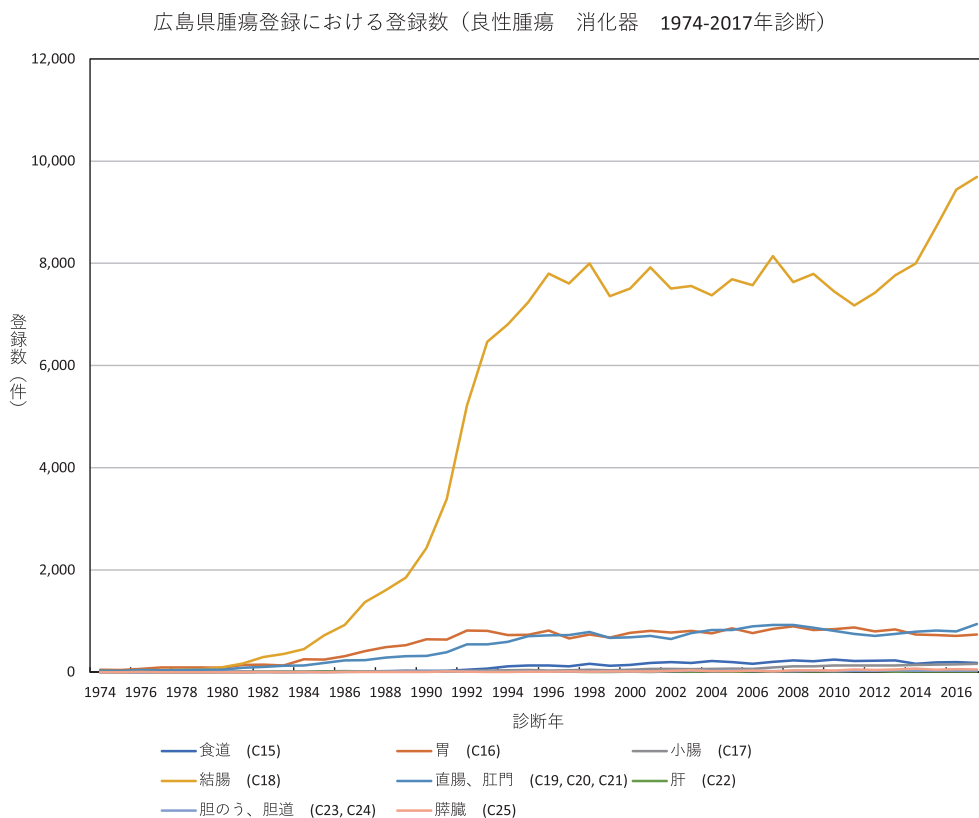
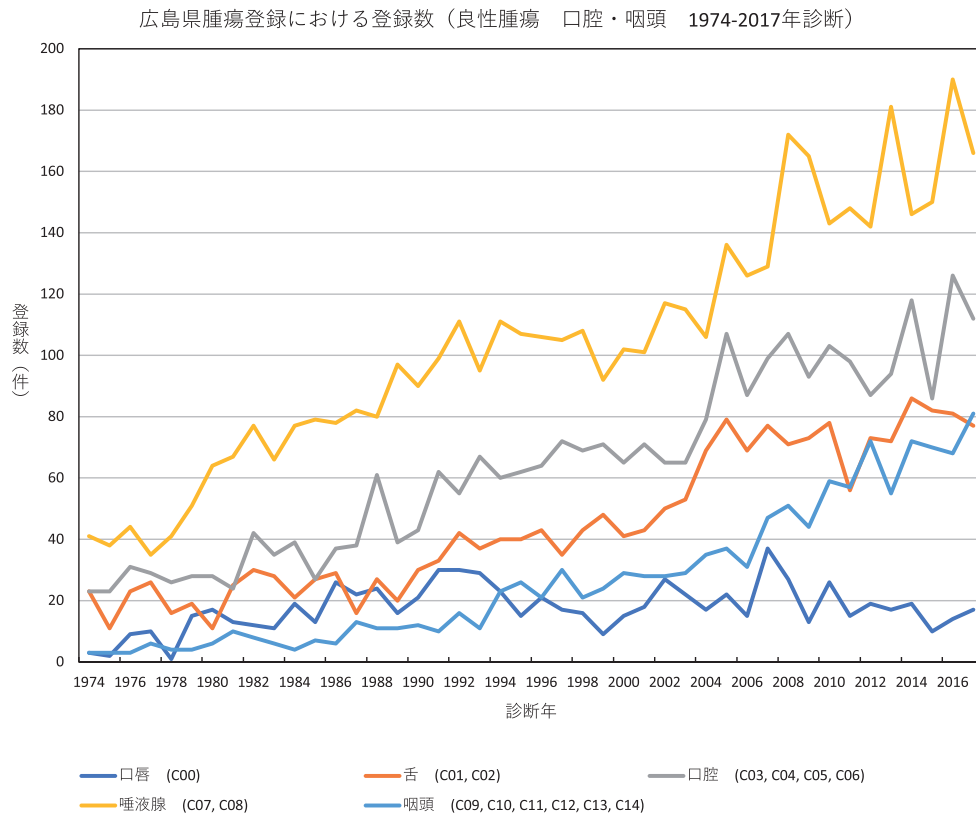


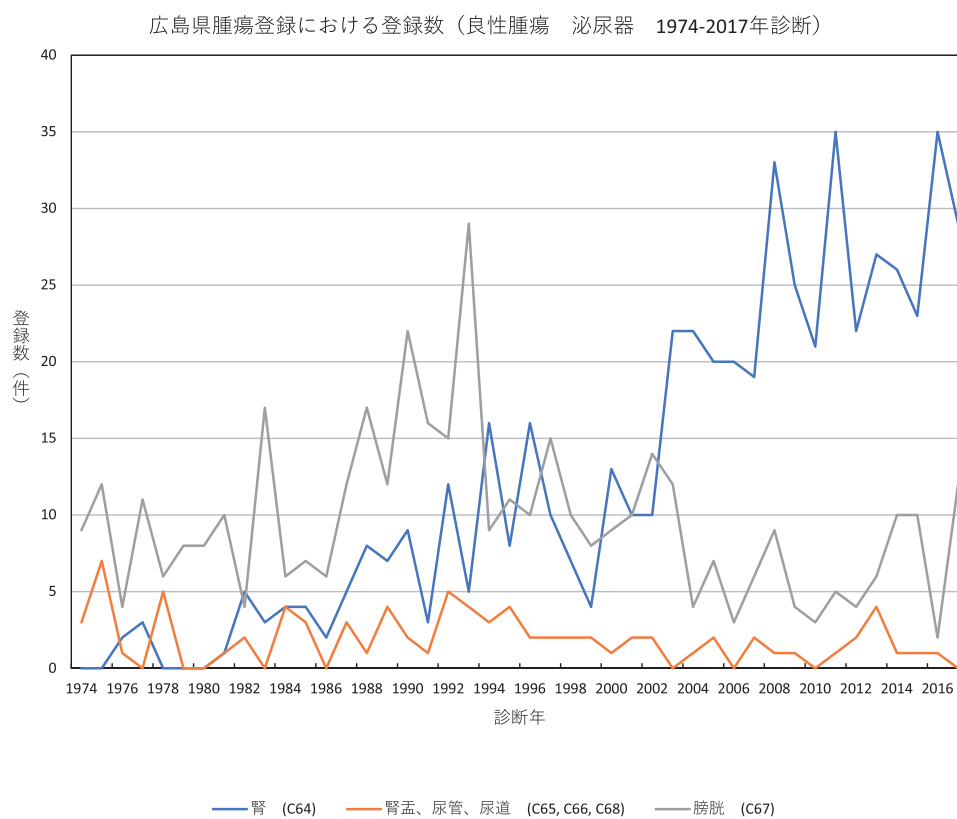
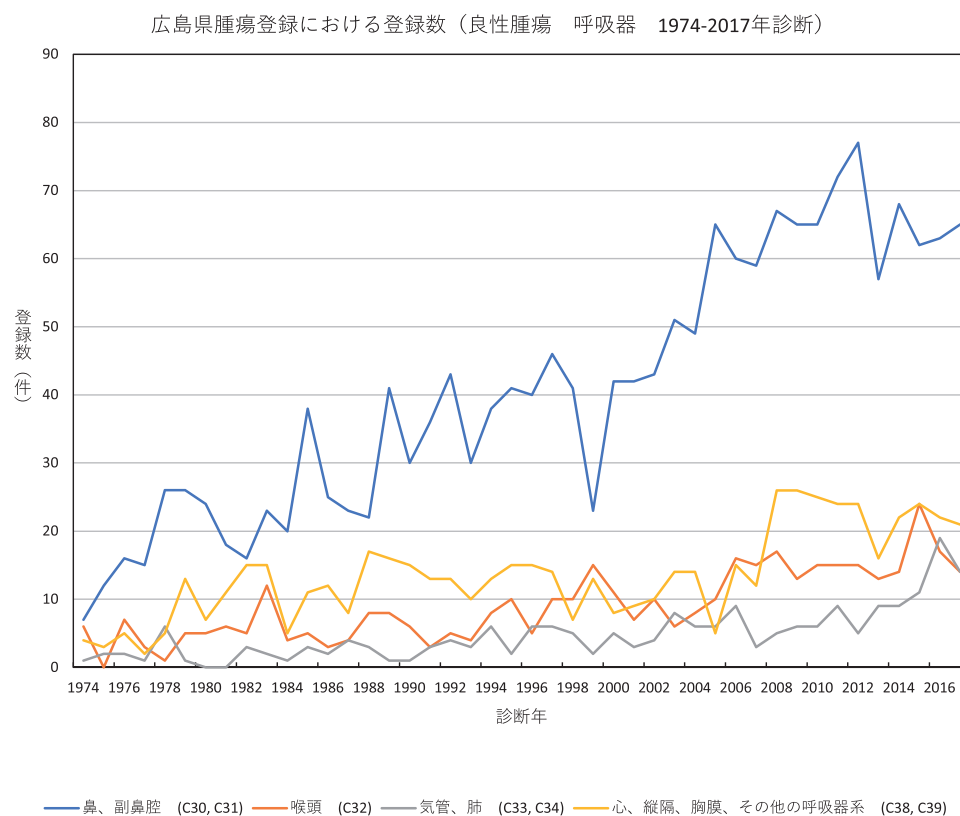


広島県腫瘍登録における登録数（不詳 全腫瘍 1974-2017年診断）



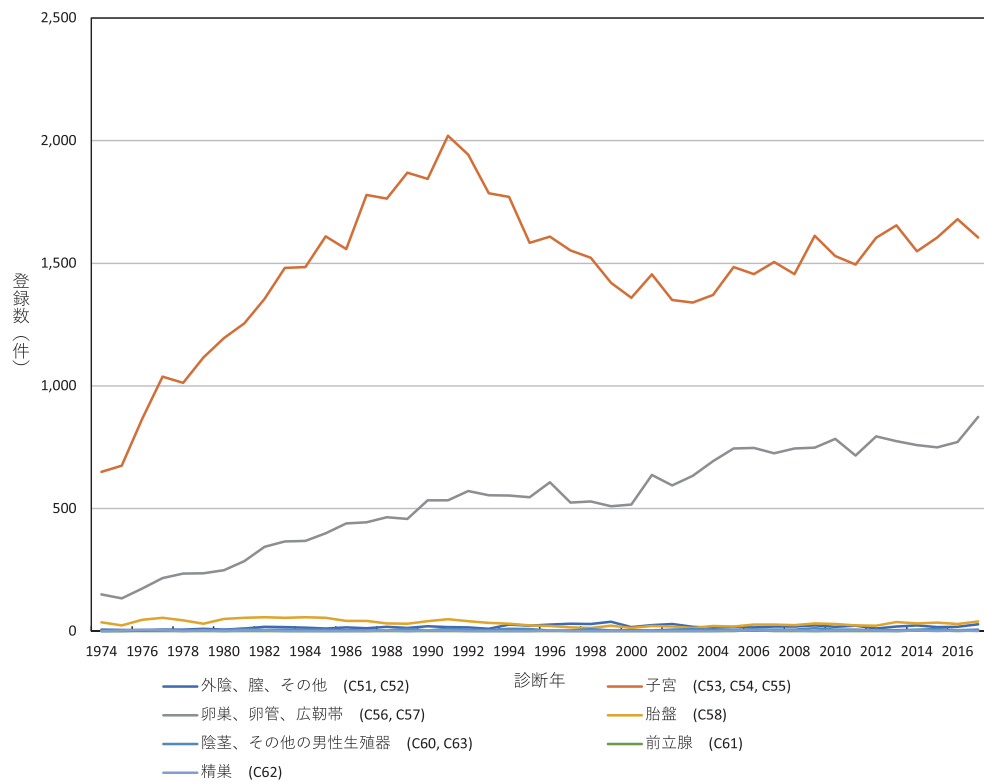
Ⅱ. グラフで見る広島県腫瘍登録の主要臓器登録全腫瘍（良性腫瘍,/0；粘膜内がん,/2；悪性腫瘍,/3；良悪不詳腫瘍,/9）の経年的推移



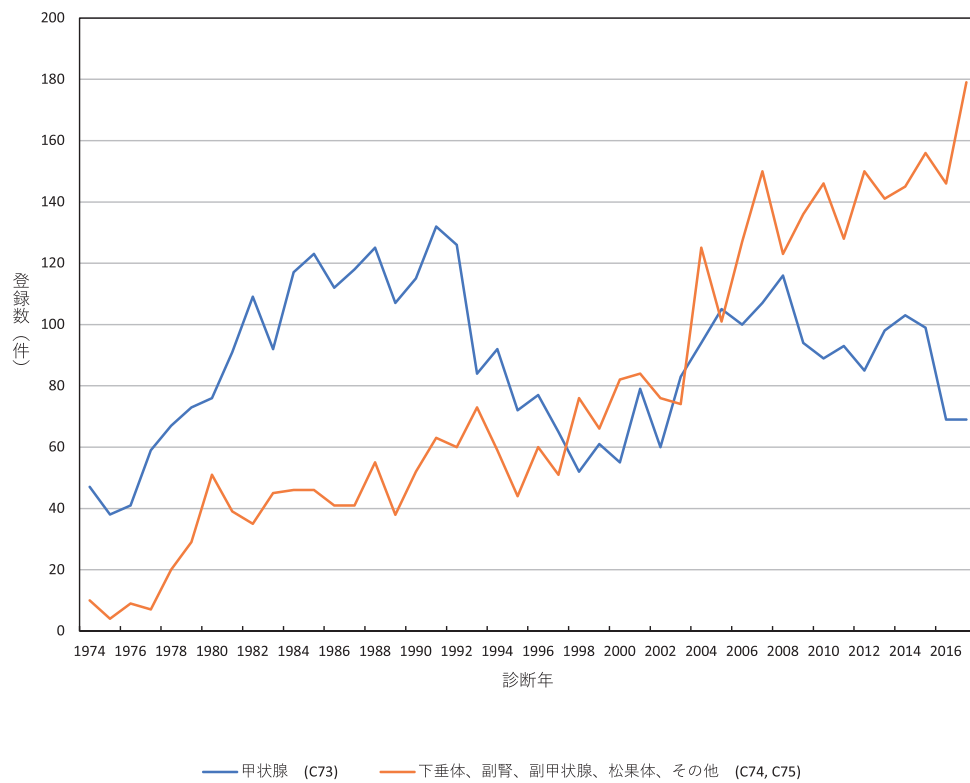




広島県腫瘍登録における登録数（良性腫瘍 生殖器 1974-2017年診断）

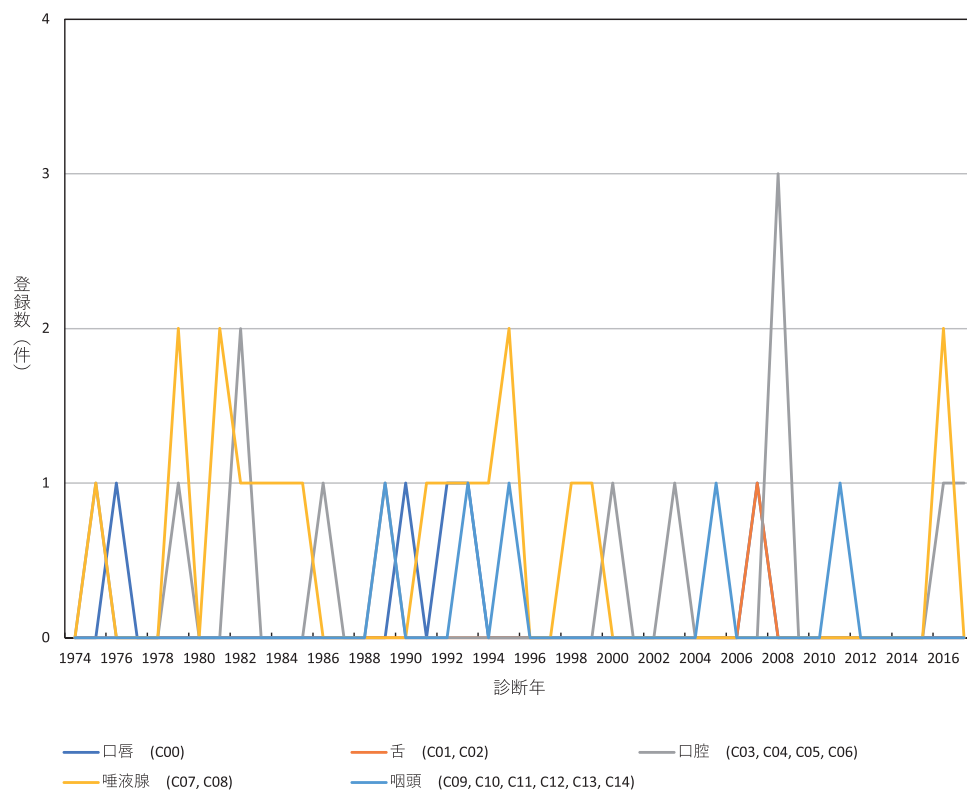


広島県腫瘍登録における登録数（良性腫瘍 内分泌系 1974-2017年診断）

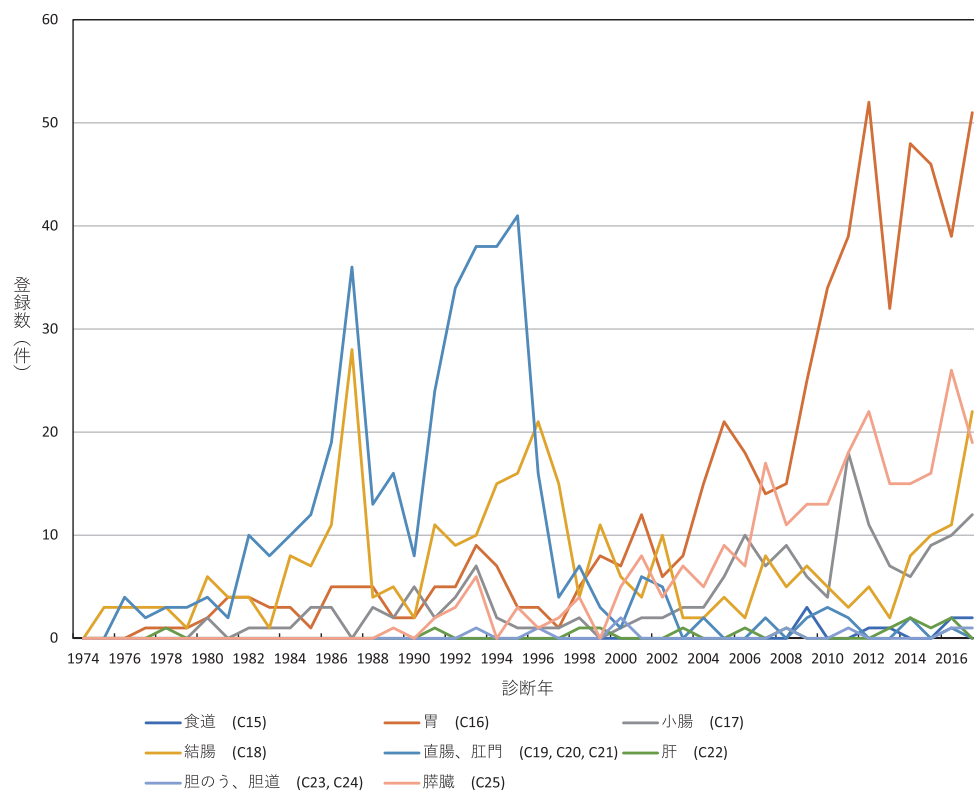




広島県腫瘍登録における登録数（良性悪性不詳 口腔・咽頭 1974-2017年診断）

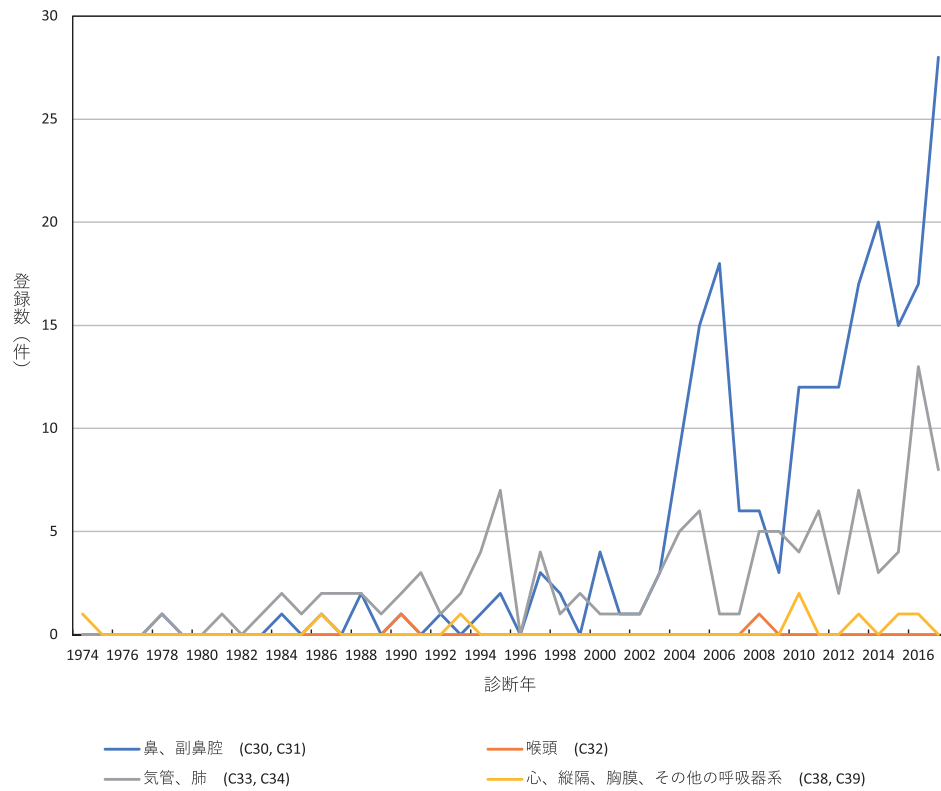


広島県腫瘍登録における登録数（良性悪性不詳 消化器 1974-2017年診断）

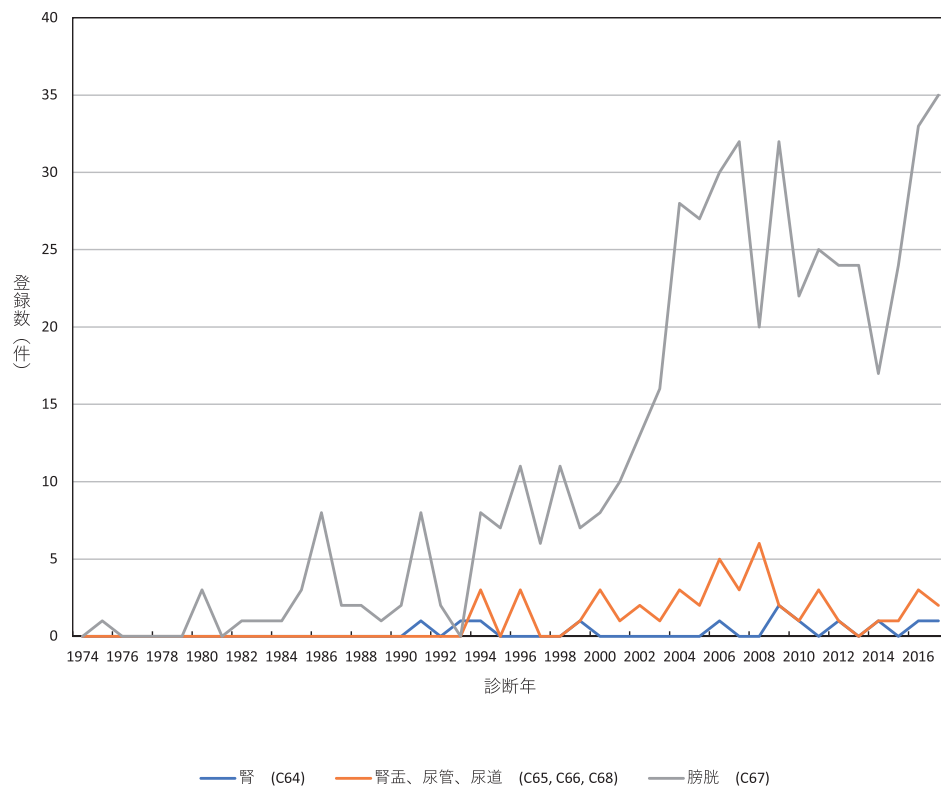




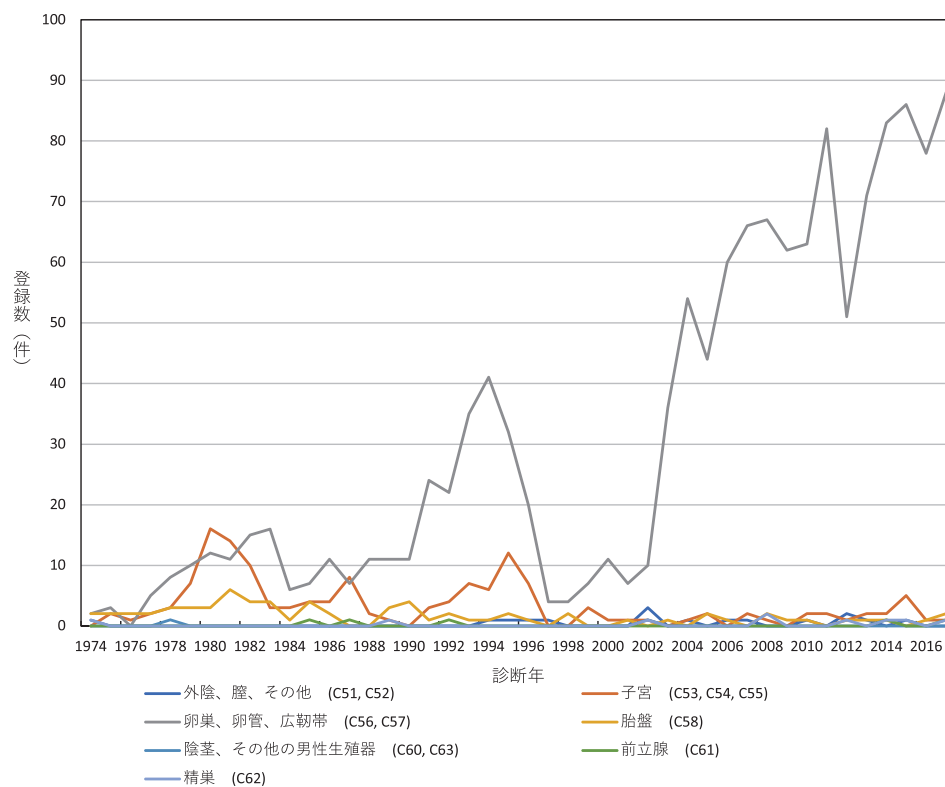
広島県腫瘍登録における登録数（良性悪性不詳 呼吸器 1974-2017年診断）



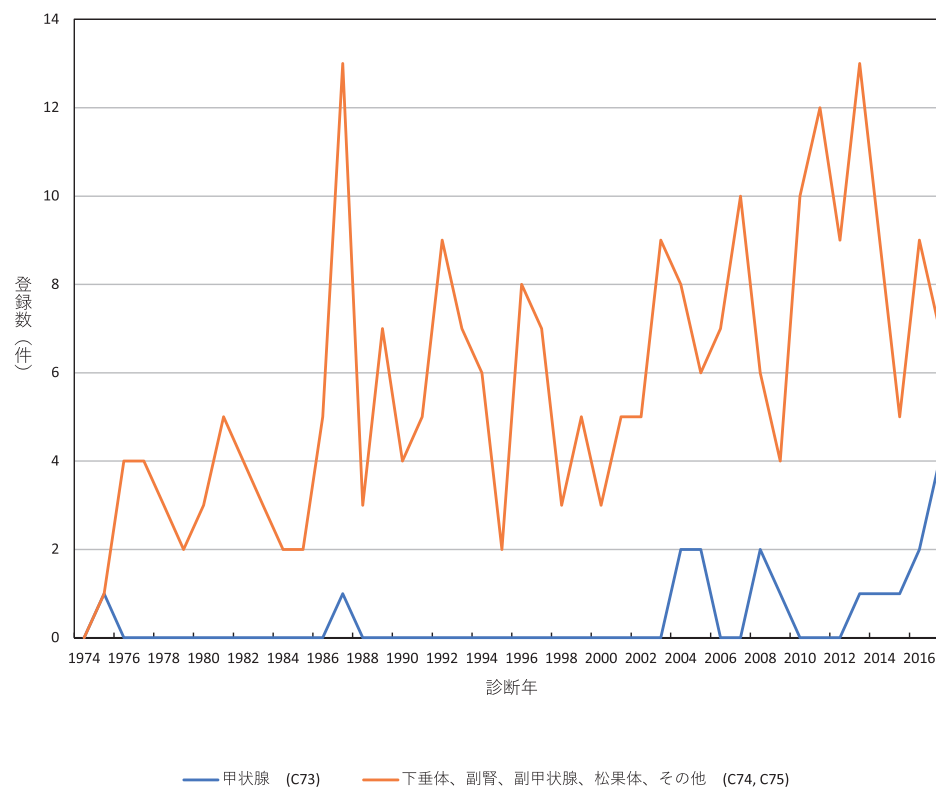
広島県腫瘍登録における登録数（良性悪性不詳 泌尿器 1974-2017年診断）



広島県腫瘍登録における登録数（良性悪性不詳 生殖器 1974-2017年診断）

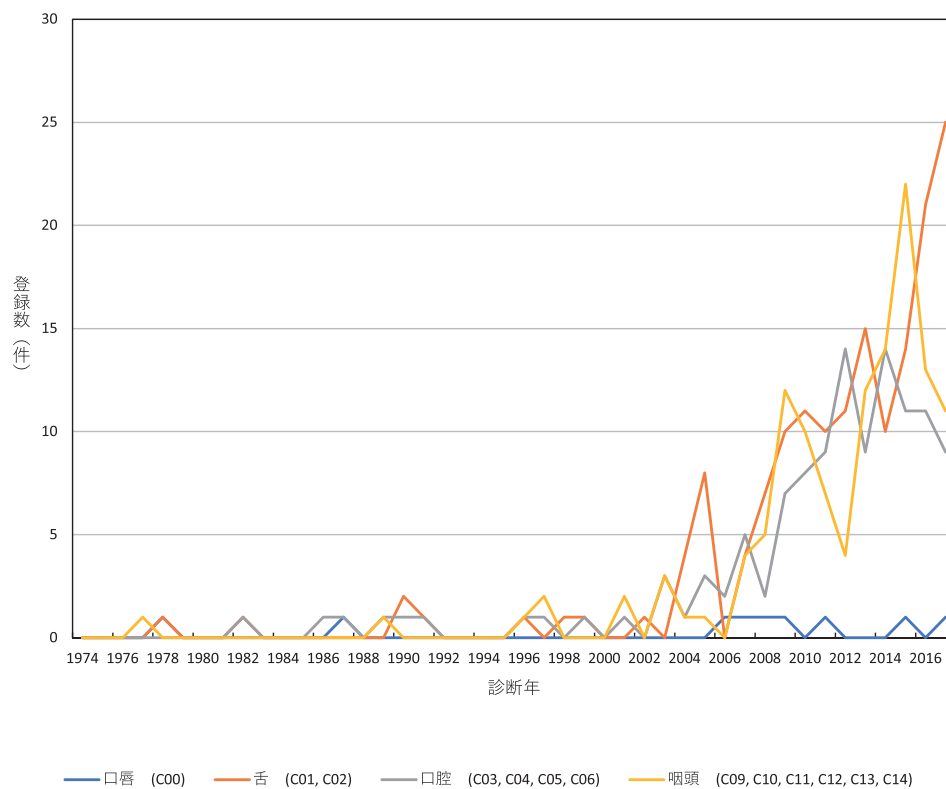


広島県腫瘍登録における登録数（良性悪性不詳 内分泌系 1974-2017年診断）

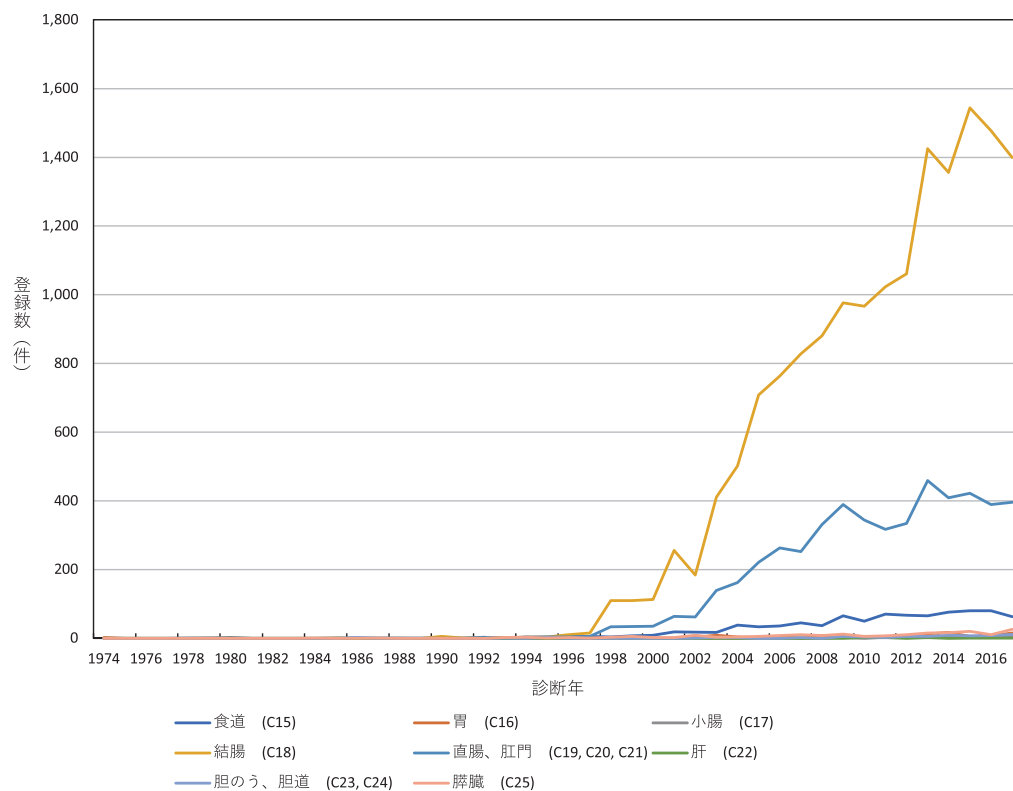


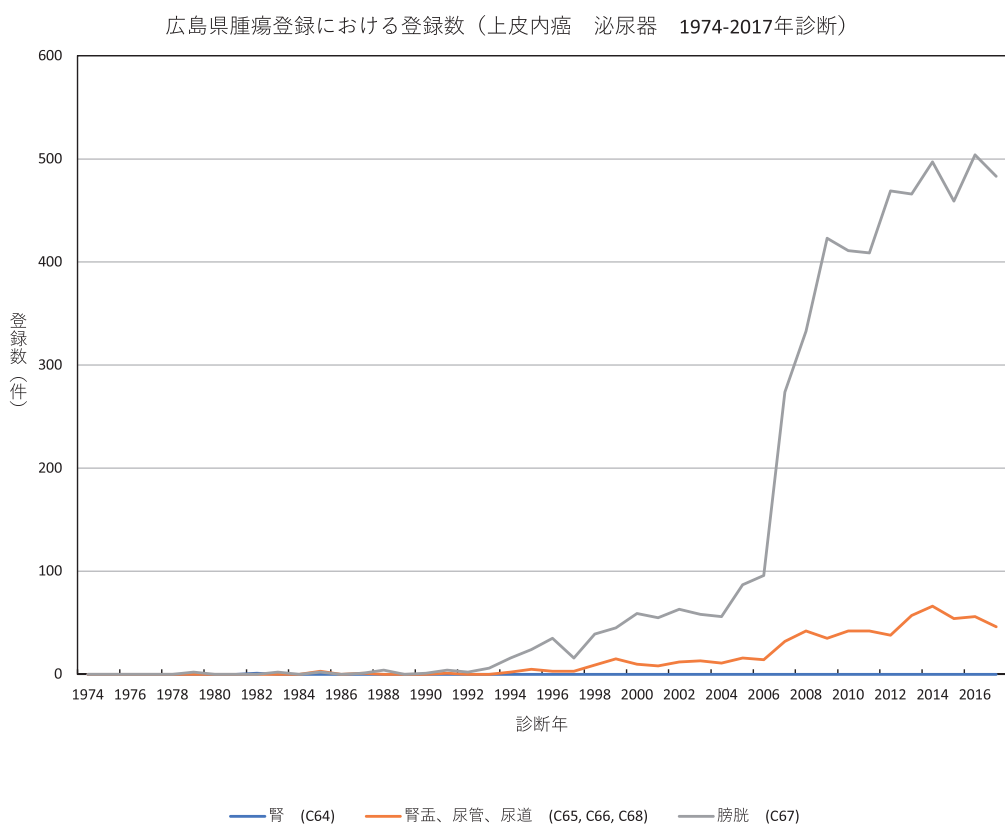
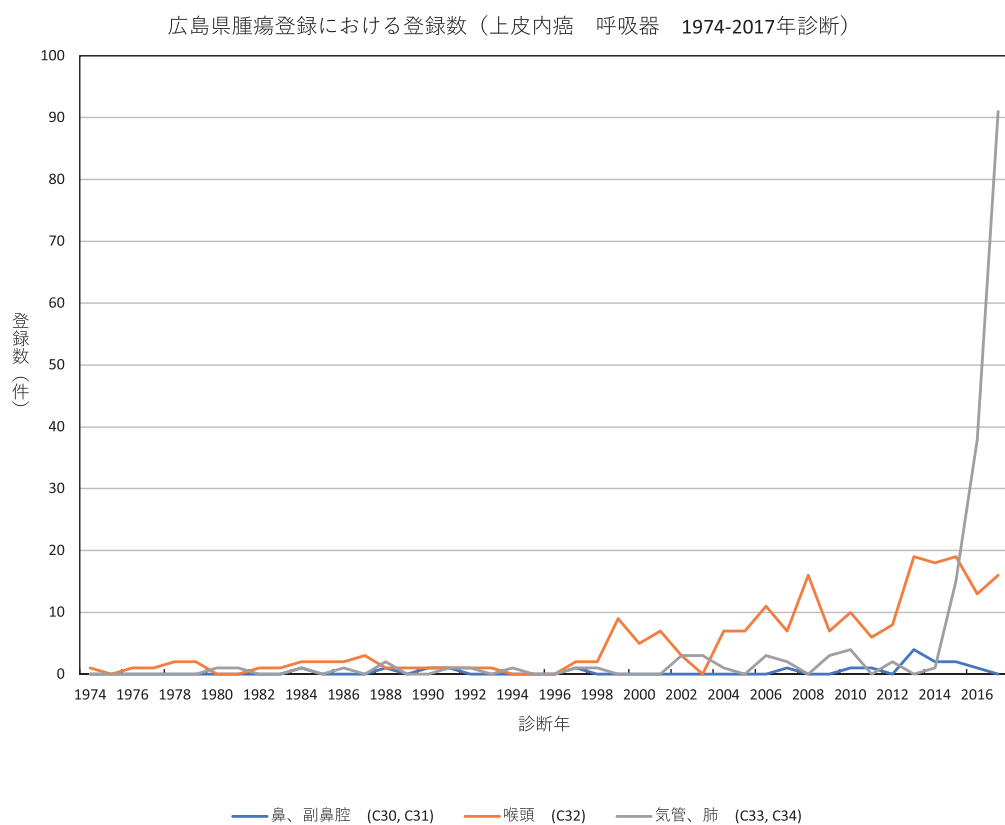


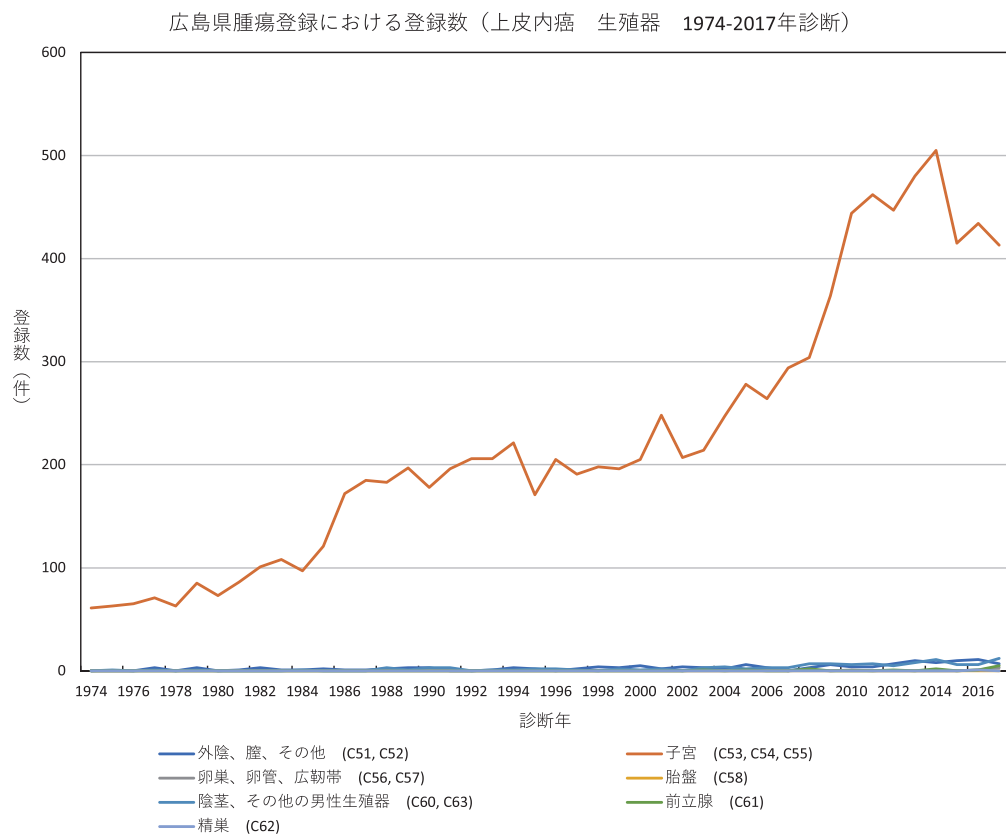
広島県腫瘍登録における登録数（上皮内癌 口腔・咽頭 1974-2017年診断）



広島県腫瘍登録における登録数（上皮内癌 消化器 1974-2017年診断）

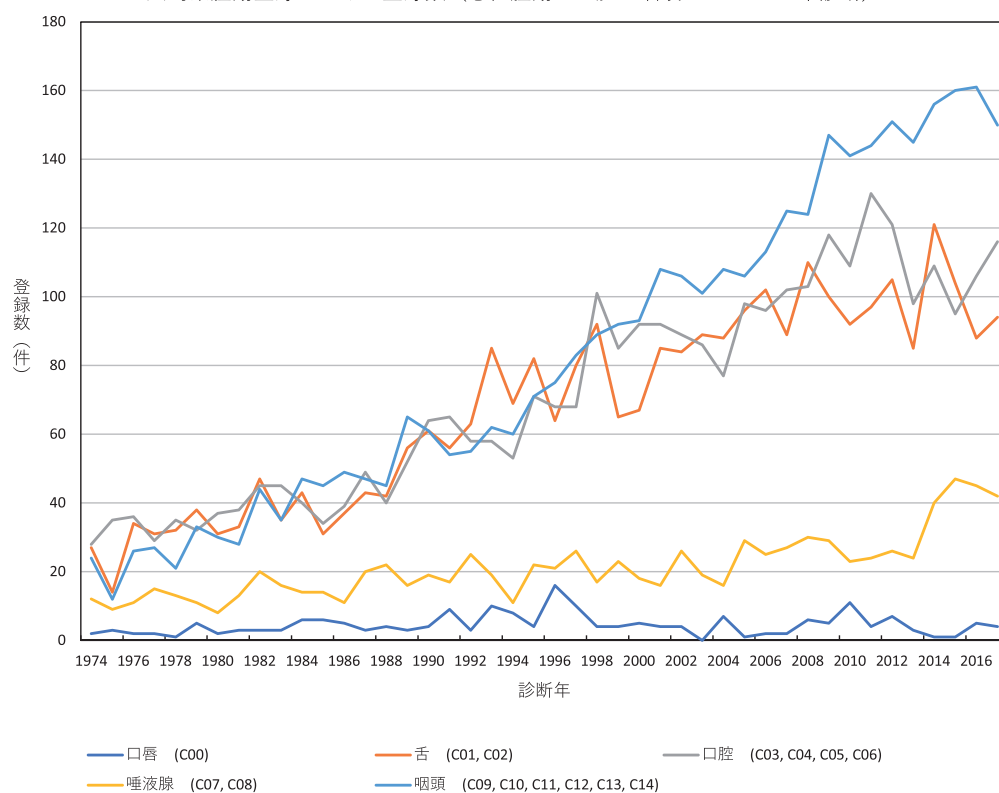




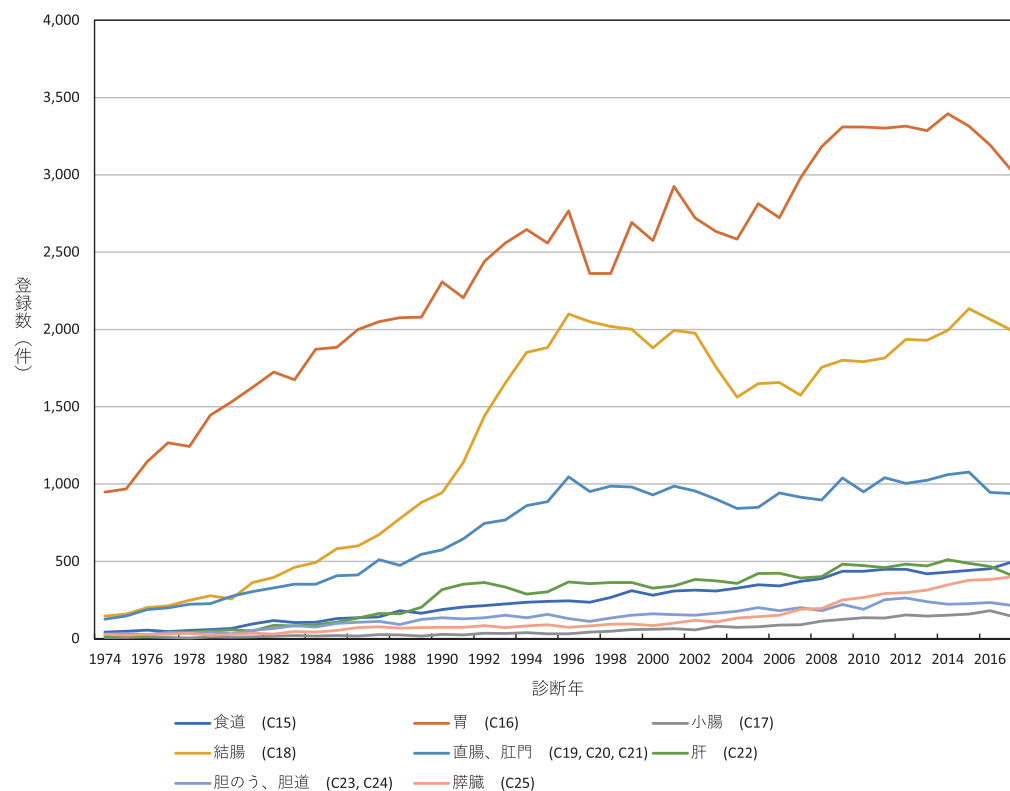


上皮内癌_内分泌系_登録なし

広島県腫瘍登録における登録数（悪性腫瘍 口腔・咽頭 1974-2017年診断）

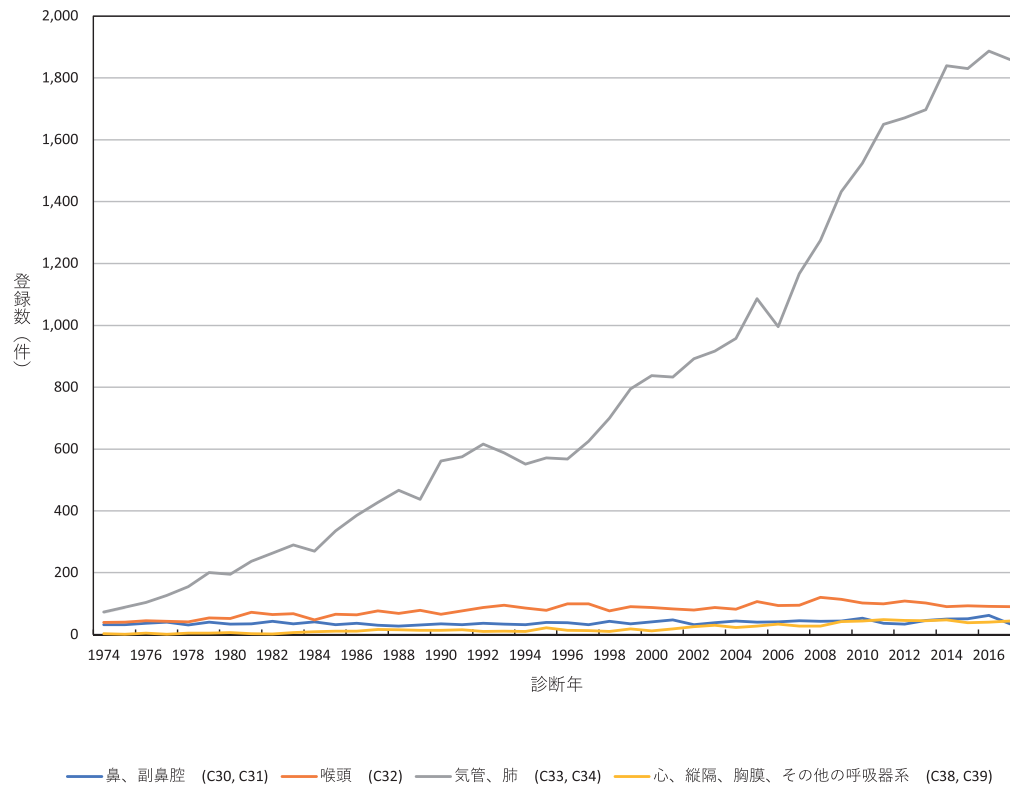


広島県腫瘍登録における登録数（悪性腫瘍 消化器 1974-2017年診断）

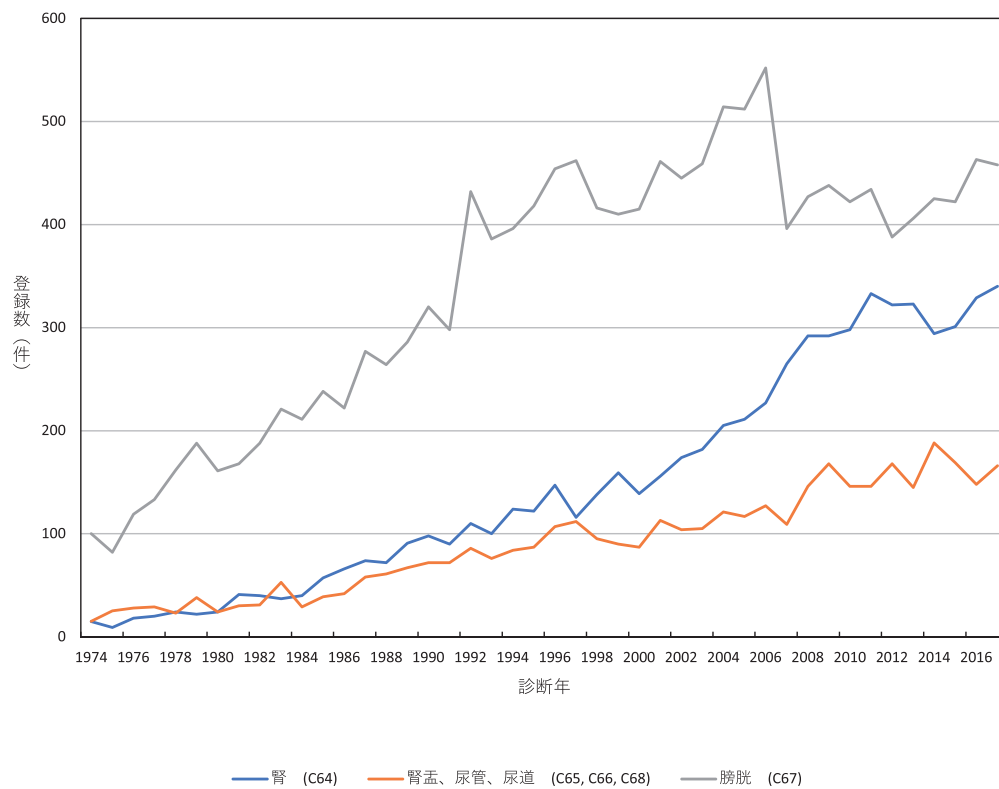




広島県腫瘍登録における登録数（悪性腫瘍 呼吸器 1974-2017年診断）

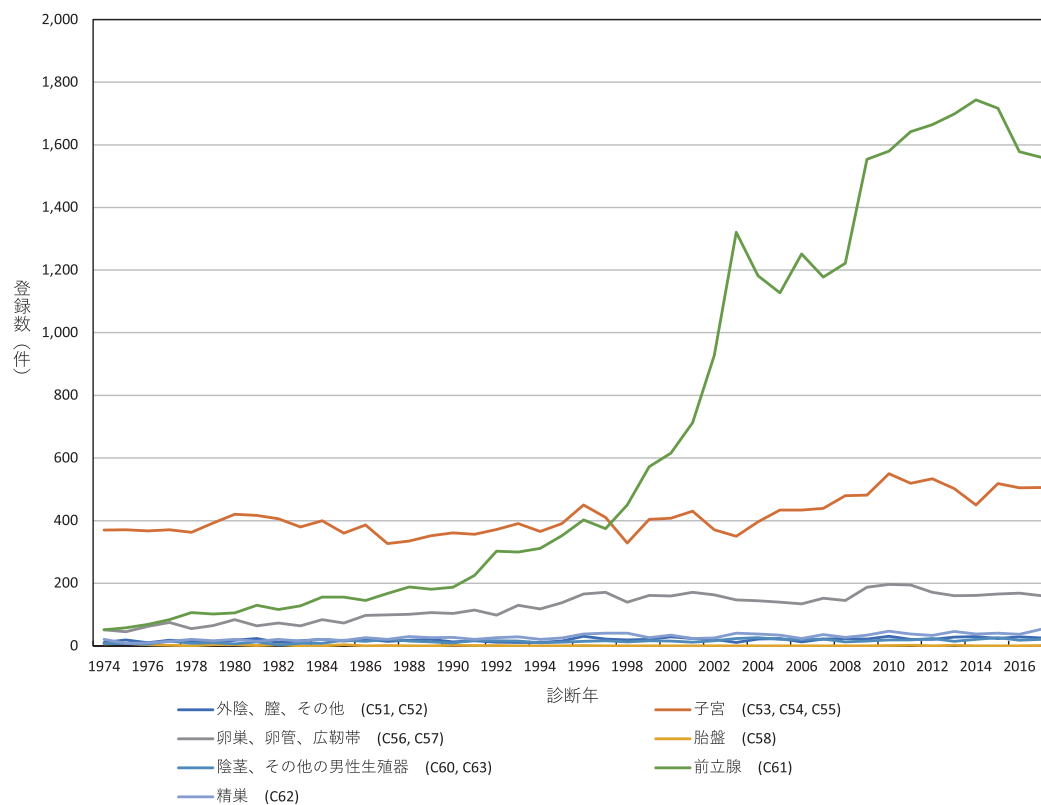


広島県腫瘍登録における登録数（悪性腫瘍 泌尿器 1974-2017年診断）

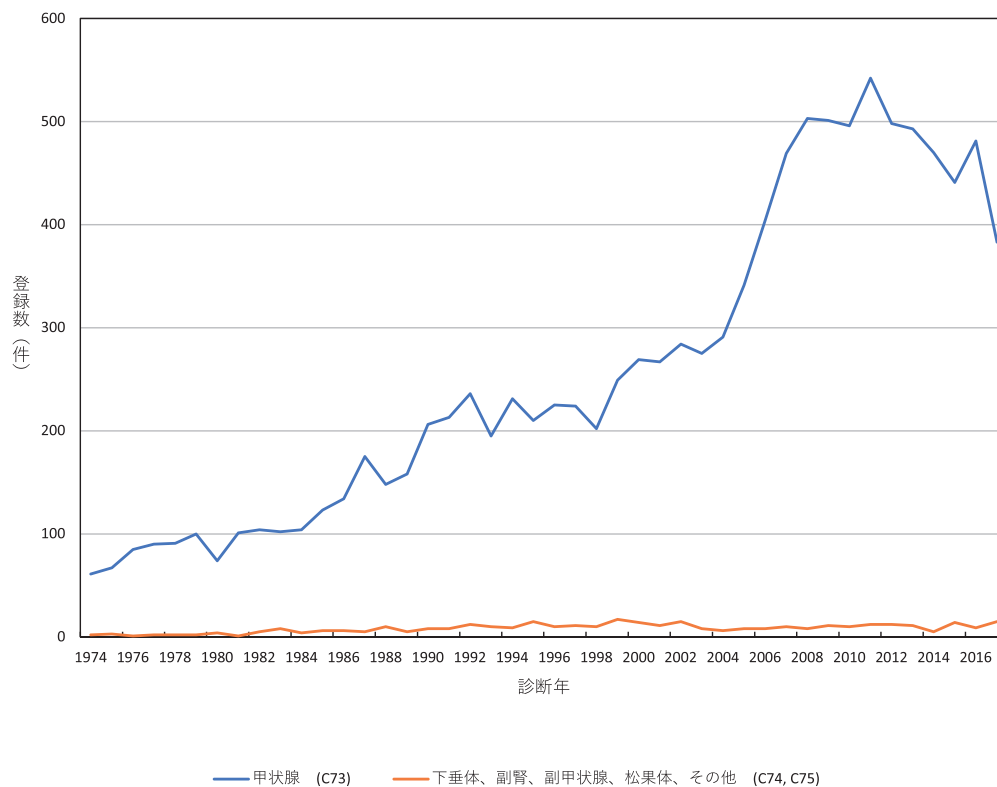




広島県腫瘍登録における登録数（悪性腫瘍 生殖器 1974-2017年診断）

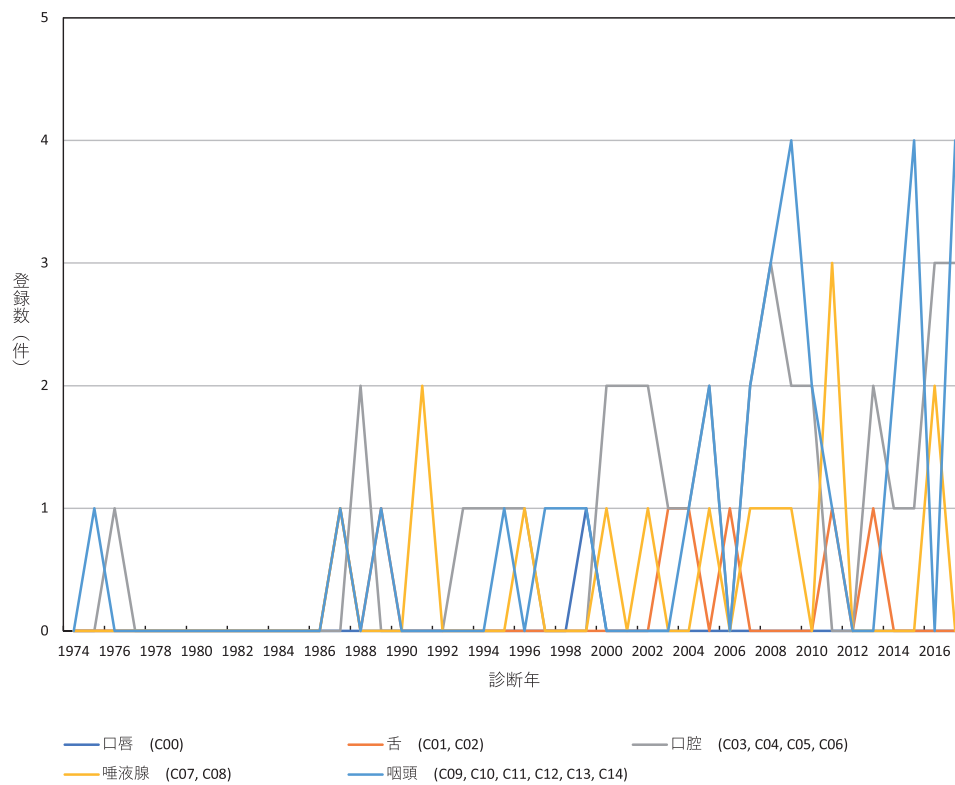


広島県腫瘍登録における登録数（悪性腫瘍 内分泌系 1974-2017年診断）

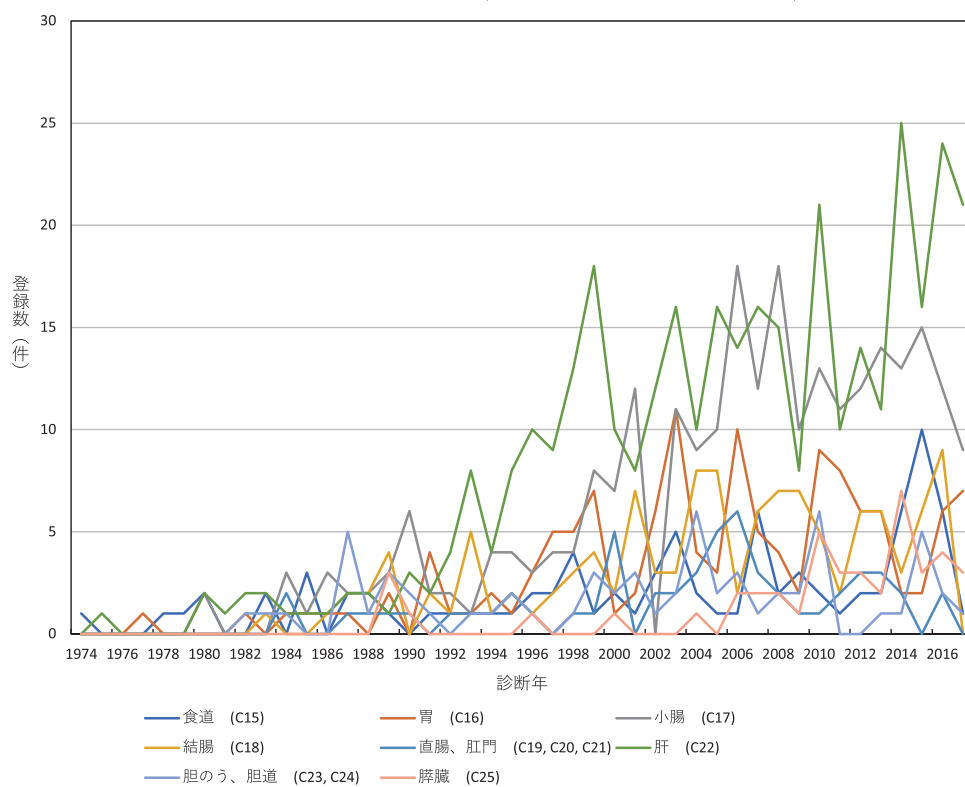




広島県腫瘍登録における登録数（不詳 口腔・咽頭 1974-2017年診断）

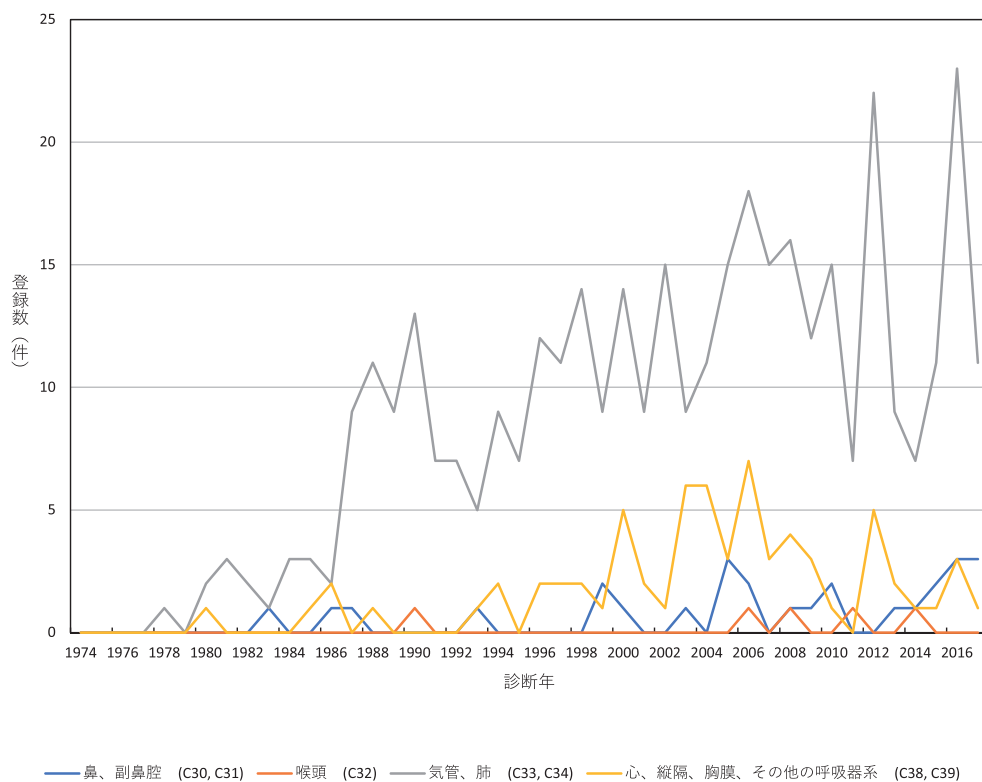


広島県腫瘍登録における登録数（不詳 消化器 1974-2017年診断）

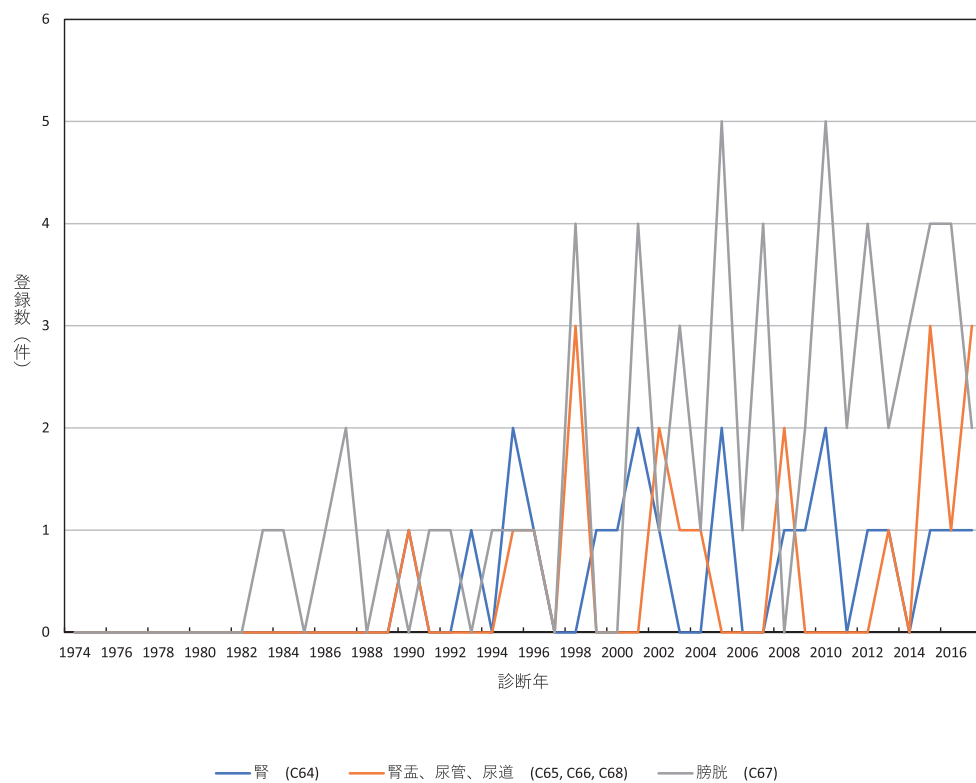




広島県腫瘍登録における登録数（不詳 呼吸器 1974-2017年診断）

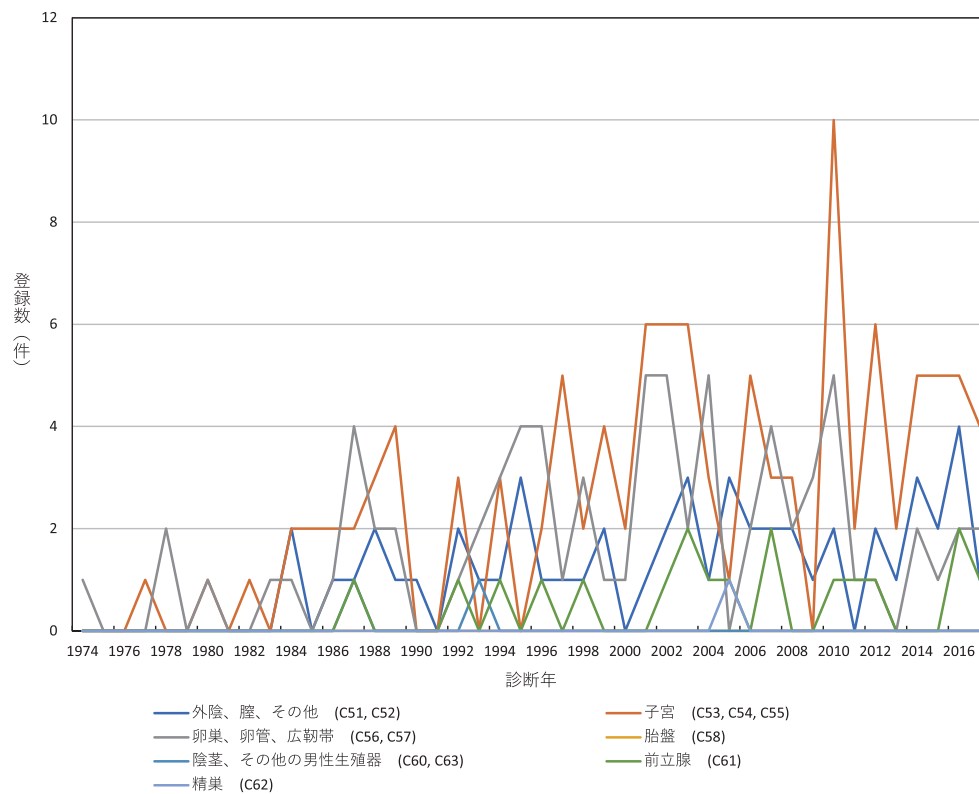


広島県腫瘍登録における登録数（不詳 泌尿器 1974-2017年診断）

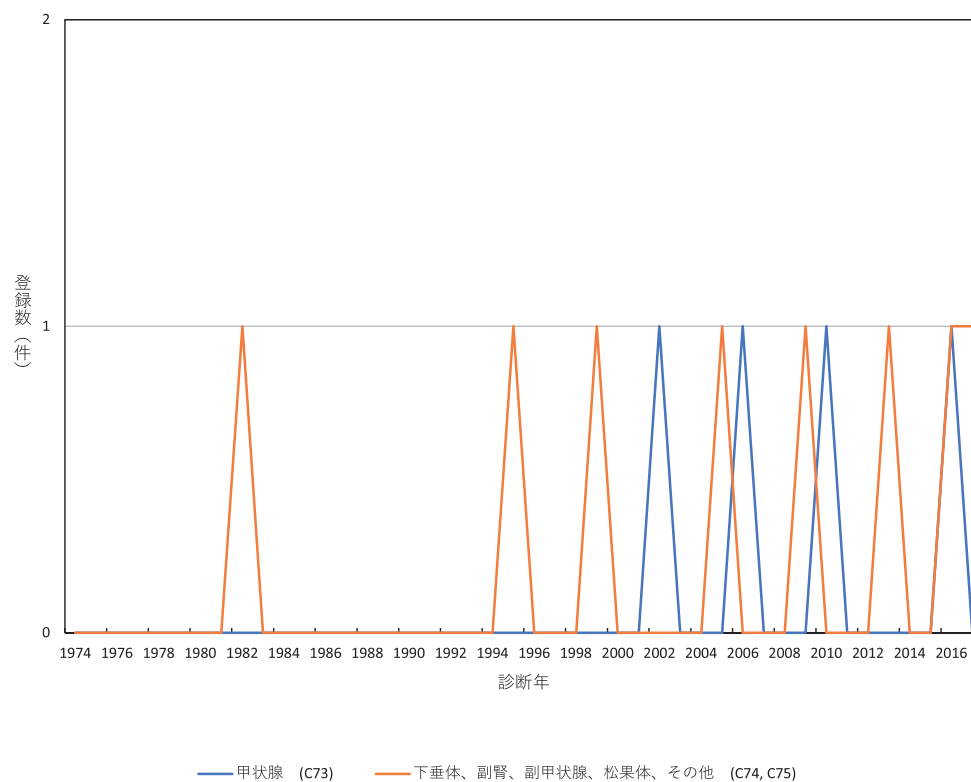




広島県腫瘍登録における登録数（不詳 生殖器 1974-2017年診断）

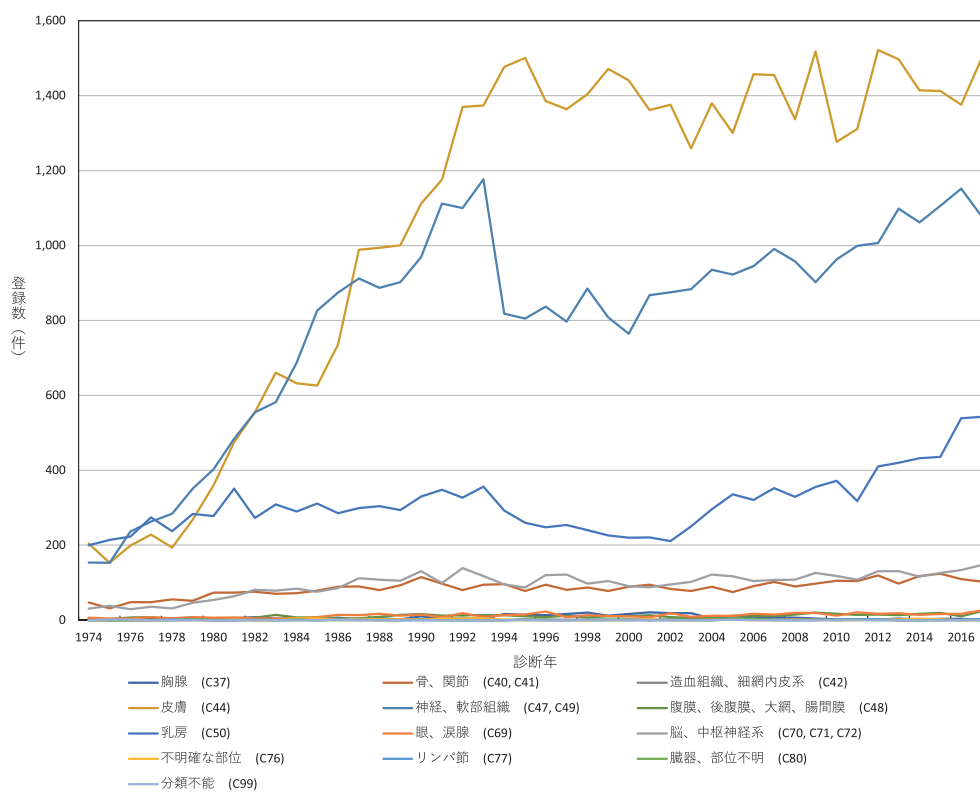


広島県腫瘍登録における登録数（不詳 内分泌系 1974-2017年診断）

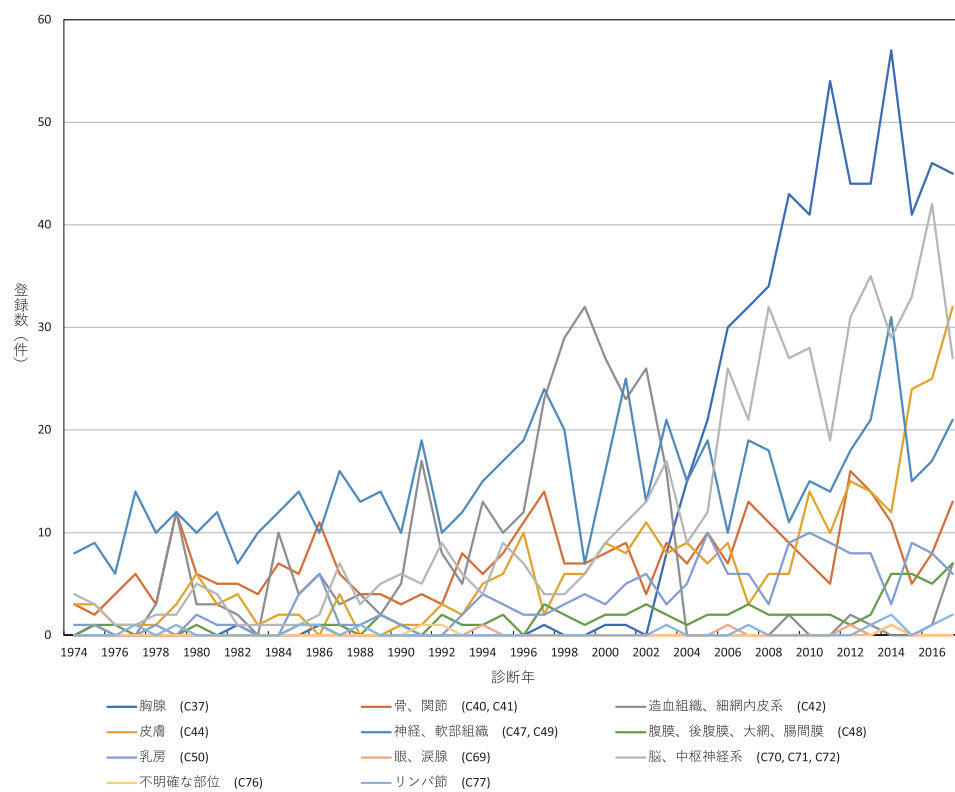


Ⅲ. グラフで見る広島県腫瘍登録のその他の臓器登録全腫瘍（良性腫瘍,/0；粘膜内がん,/2；悪性腫瘍,/3；良悪不詳腫瘍,/9）の経年的推移

広島県腫瘍登録における登録数（良性腫瘍 その他 1974-2017年診断）

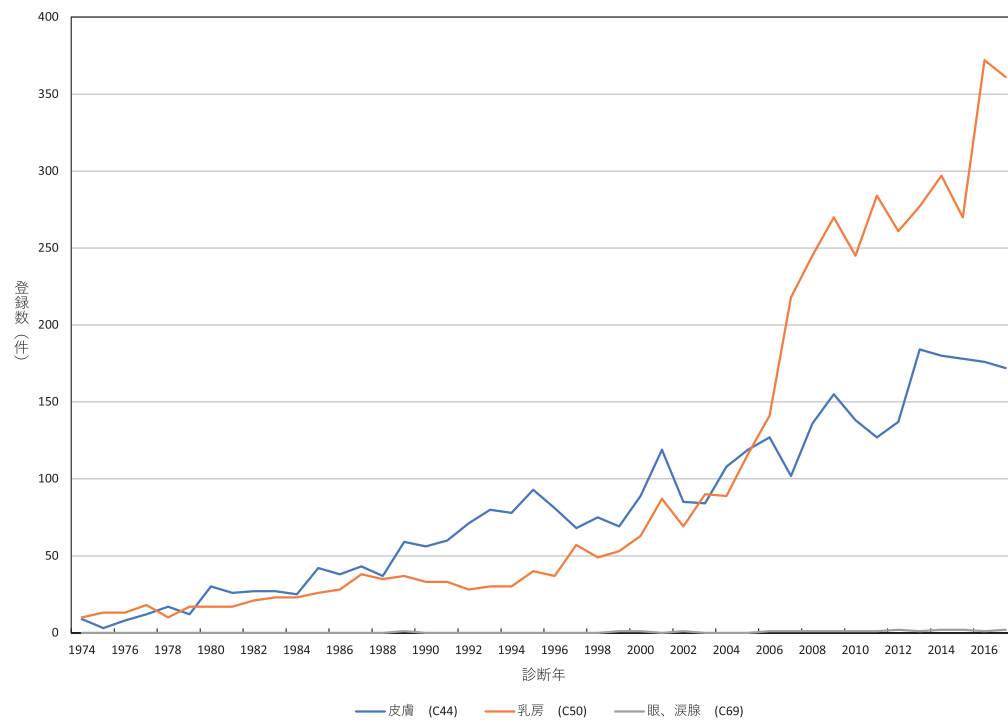


広島県腫瘍登録における登録数（良性悪性不詳 その他 1974-2017年診断）

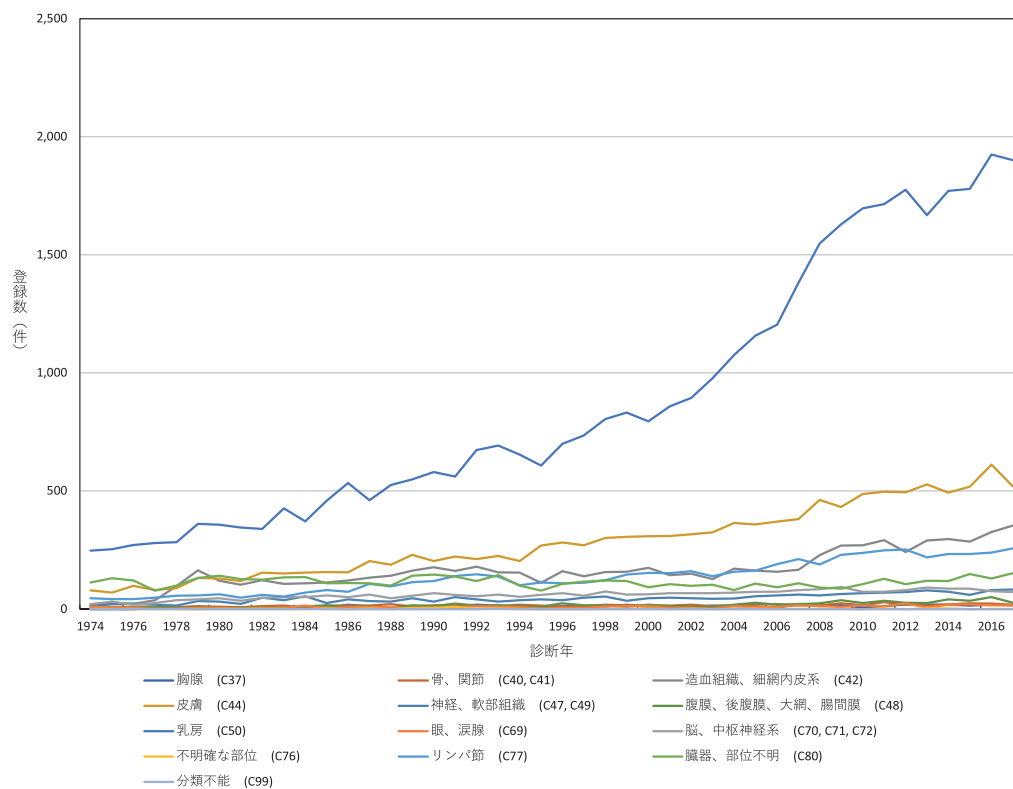




広島県腫瘍登録における登録数（上皮内癌 その他 1974-2017年診断）

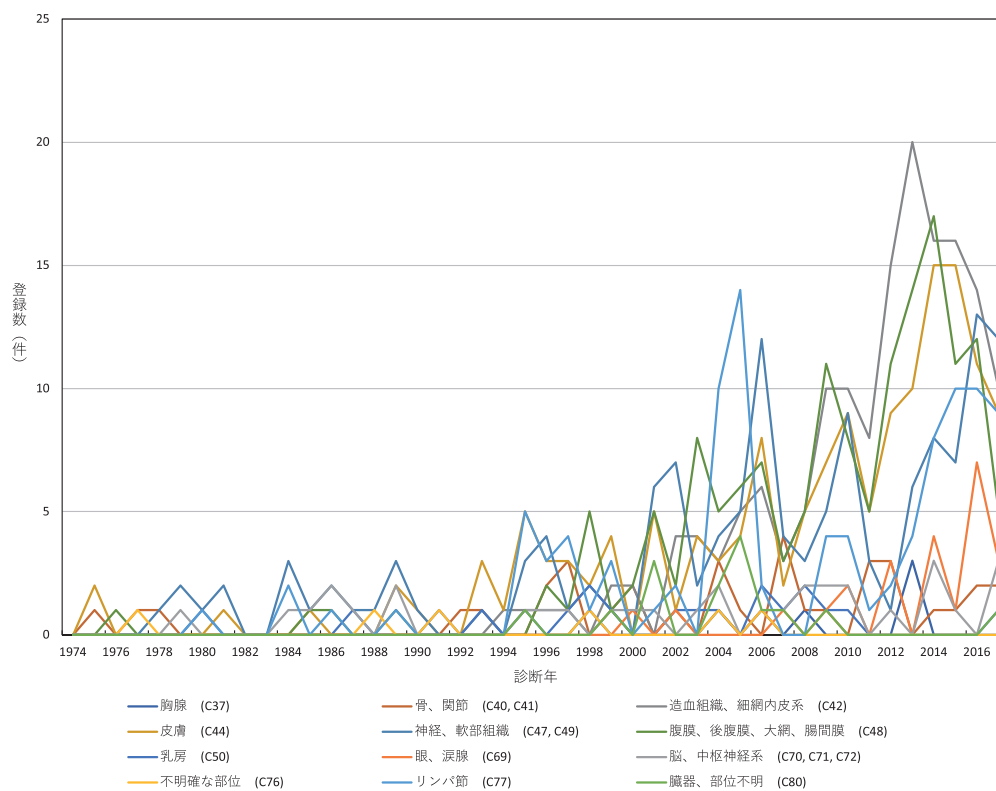


広島県腫瘍登録における登録数（悪性腫瘍 その他 1974-2017年診断）





広島県腫瘍登録における登録数（不詳 その他 1974-2017年診断）



特定臓器解析の歴史と特定臓器ごとのサマリー

乳腺

肝臓

胃

肺

大腸

グラフでみる1973～1995年の乳腺腫瘍

広島県腫瘍登録における乳腺腫瘍（1973－1995）の解析結果のまとめ

1. 登録参加施設の増加と女性乳腺腫瘍の新規登録数の推移

1973年の腫瘍登録事業の開始時は登録参加施設数は29施設であり、その後、経年的に参加施設数が増加してきた。しかし、女性乳腺腫瘍の新規登録数の経年的な増加は、登録参加施設数の増加によるのではなく、登録事業開始当初から参加していた施設における登録数の増加によることがわかる。

2. 新規に登録された女性乳腺腫瘍数（良性及び悪性）の年次推移

女性の乳腺の良性及び悪性腫瘍はいずれも、1973年から1993年まで漸増してきたが、これは一般的には食事をはじめとする生活様式の欧米化によると言われている。一方、1994年以降良性及び悪性腫瘍はいずれも漸減しているが、広島県全体の女性の人口の減少によるとするよりも、乳がんの疫学的調査に基づいて指摘されてきた様々な危険因子の除外を目指す試みを含む各種の予防対策の結果と考えることができる。

3. 出生年代別にみた女性乳腺腫瘍の累積登録数

良性腫瘍の累積登録数は1948年から1952年の間に生まれた年齢層をピークとする分布を示す。これは戦後、食生活の欧米化による影響を受け始めた年代に一致するが、その後に生まれた年齢層での登録数はあまり増えていないことから、この年齢層に殊に特異的な事象が起きていた可能性も推測できる。

悪性腫瘍の累積登録数は1928年から1932年の間に生まれた年齢層以後約30年間にわたって横ばいを示すことから、広島県の女性では、各年齢別人口において一生涯に約250人の乳がんの発生があると考えられる。

4. 観察期間 5 年毎にみた女性乳腺良性腫瘍の年齢区分別新規登録数（1 年当たりの平均）

1983年以降では良性腫瘍の発生数に20～24歳において小さなピークがあり、一般的にいわれる女性乳腺良性腫瘍が若年成人に多いことを裏付ける所見である。特筆すべきは、いずれの観察期間においても最多年齢層は5歳毎に高齢化しており、1944年から1952年の間に生まれた同一年齢層であることがわかる。さらに1988年以降の傾向として、50歳以後74歳までの高齢者における良性腫瘍の増加も伺えるが、これは内分泌環境の乱れを反映するのかもしれない。

5. 観察期間 5 年毎にみた女性乳腺良性腫瘍の組織型別割合

女性乳腺良性腫瘍の大部分を占めるのは線維腺腫であることに変わりはないが、1973年以降その割合は徐々に減少する傾向にある。一方、乳管内乳頭腫は徐々に増加する傾向を示す。末梢乳管に多発する乳管内乳頭腫は乳がん発生の危険因子として報告されており、これらは異型上皮過形成を合併することが多いといわれている。乳管内乳頭腫の増加傾向は、近年の乳がん発生の増加と相関する可能性がある。

6. 観察期間 5 年毎にみた女性乳腺良性腫瘍の医療圏別新規登録数（1 年当たりの平均）

各医療圏別にみると、広島地区の増加が顕著であるが、これは人口増加による罹患可能年齢女性の増加を反映する。各医療圏における女性の人口規模、年齢構成などによる補正が必要となる。

7. 観察期間 5 年毎にみた女性乳腺悪性腫瘍の年齢区分別新規登録数（1 年当たりの平均）

いずれの観察期間においても、45～49歳という閉経直前の年齢層にピークがみられることは、本邦における乳がんの特徴をよく示している。一方、1993年からの3年間には60～64歳の年齢層にもう一つのピークがあり、65歳以上の高齢者における登録数が増加していることから、高齢者の乳がんが多い欧米型の発生傾向への移行を予感させる。この変化は大都市圏では既に指摘されており、広島でもその傾向があらわれ始めたことがわかる。

8. 組織型別にみた女性乳腺悪性腫瘍の年齢分布

非浸潤がん、浸潤性乳管がん、（浸潤がん）特殊型はいずれも45～49歳の閉経直前にピークをもつ分布を示すが、パジェット病は一般的に指摘されているように55～59歳にピークをもつ分布を示す。

9. 組織型別にみた女性乳腺悪性腫瘍の新規登録数（浸潤性乳管がんを除く）の年齢分布

非浸潤性乳管がんと粘液がんは45～49歳と65～69歳に二峰性のピークをもつ分布を示す。本邦における粘液がんは一般の乳がんと同様の年齢分布を示すといわれてきたが、ここでは70歳以上の高齢者での発生が目立ち、欧米型への移行が見られる。髄様がんでは40～44歳にピークをもつ分布を示し、他の組織型に比較すると若年者に多い。

10. 観察期間 5 年毎にみた女性乳腺悪性腫瘍の組織型別割合

浸潤性乳管がんが、女性乳腺悪性腫瘍において占める割合には著変はみられないことから、各組織型の腫瘍の増加率はほぼ同様なのかもしれない。

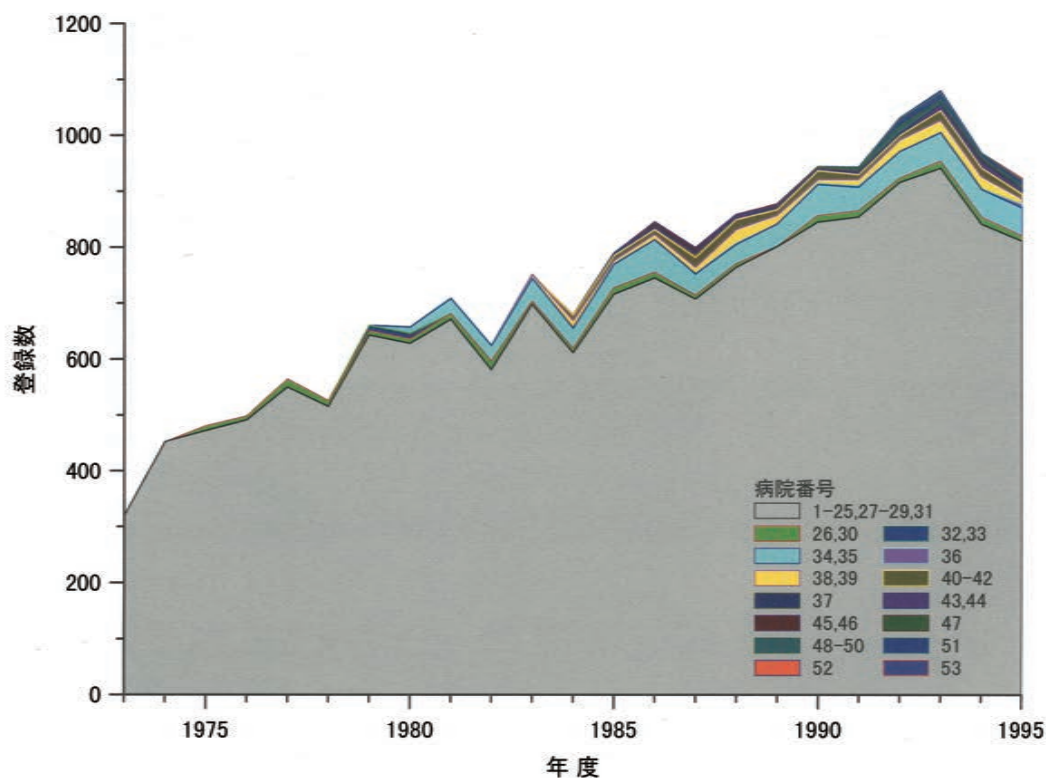
11. 観察期間 5 年毎にみた女性乳腺悪性腫瘍の医療圏別新規登録数（1 年当たりの平均）

広島地区の登録数の著明な増加は人口の増加による。呉地区と備後地区における登録数はほぼ同様の動向を示すが、両地区の人口規模あるいは年齢構成を考慮すると、呉地区での登録数は備後地区よりも多いといえる。

12. 医療圏別にみた女性乳腺悪性腫瘍の組織型別割合

備北地区では非浸潤がんが他の地区に比較してやや少ないが、それ以外には4地区間で組織型別の割合の大きな相違はみられない。

(1) 登録参加施設の増加と女性乳腺腫瘍の新規登録数の推移

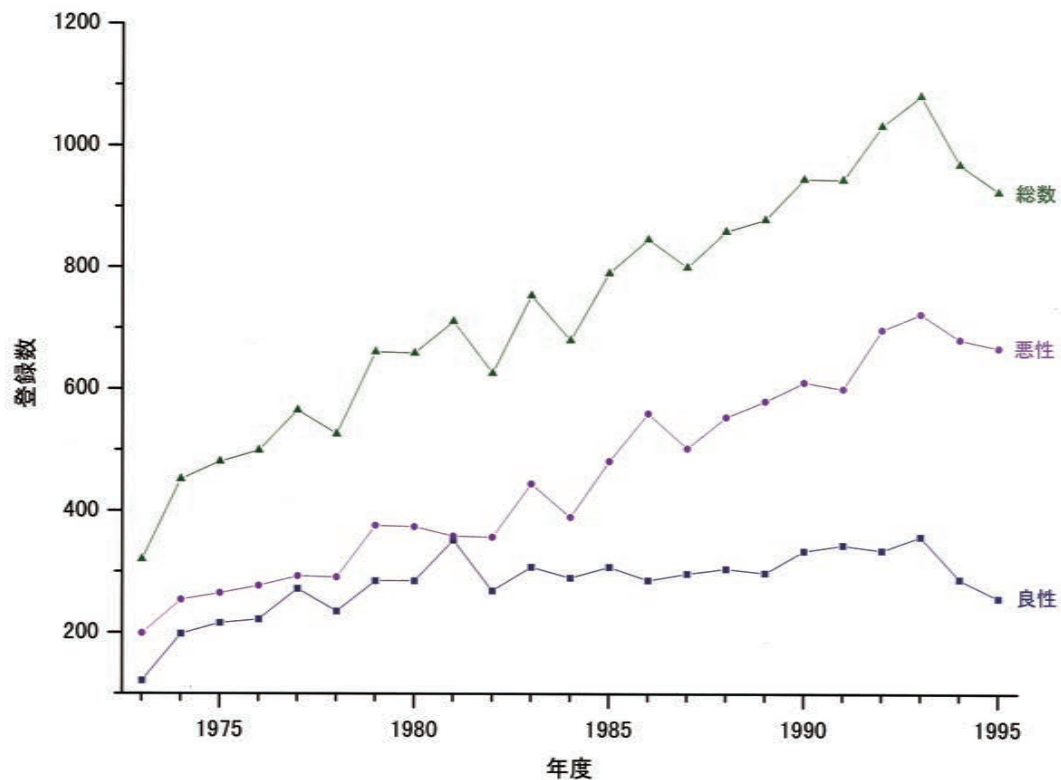


登録参加施設の増加と女性乳腺腫瘍の新規登録数の推移

年度	病院番号														
	1-25, 27-29, 31	26, 30	32, 33	34, 35	36	38, 39	40-42	37	43, 44	45, 46	47	48-50	51	52	53
1973	320														
1974	452														
1975	472	9													
1976	491	8													
1977	550	15													
1978	515	11													
1979	643	9	9												
1980	628	9	10	11	1										
1981	671	11		27	2										
1982	581	16		28	1										
1983	698	6		41	2	5	1								
1984	611	9		36		14	9	1							
1985	716	12		42	1	6	8		5						
1986	745	11		58	1	9	8		6	8					
1987	707	8		38	1	11	17	4	7	7					
1988	764	7		35	3	24	17		7	2					
1989	801	1		40		16	9	1	4	5	1				
1990	845	12		56	2	7	15		1	2	1	4			
1991	854	12		42	3	11	8		5		1	6	2		
1992	916	8		48		21	7		4			14	14		
1993	941	14		51	1	21	17		12			7	13	4	
1994	841	14		49	2	21	15		12		2	5	8		
1995	811	10		50	7	9	8	2	7			7	9		4

注: 病院番号は本報告書 5 ページに記載の登録参加施設名に一致

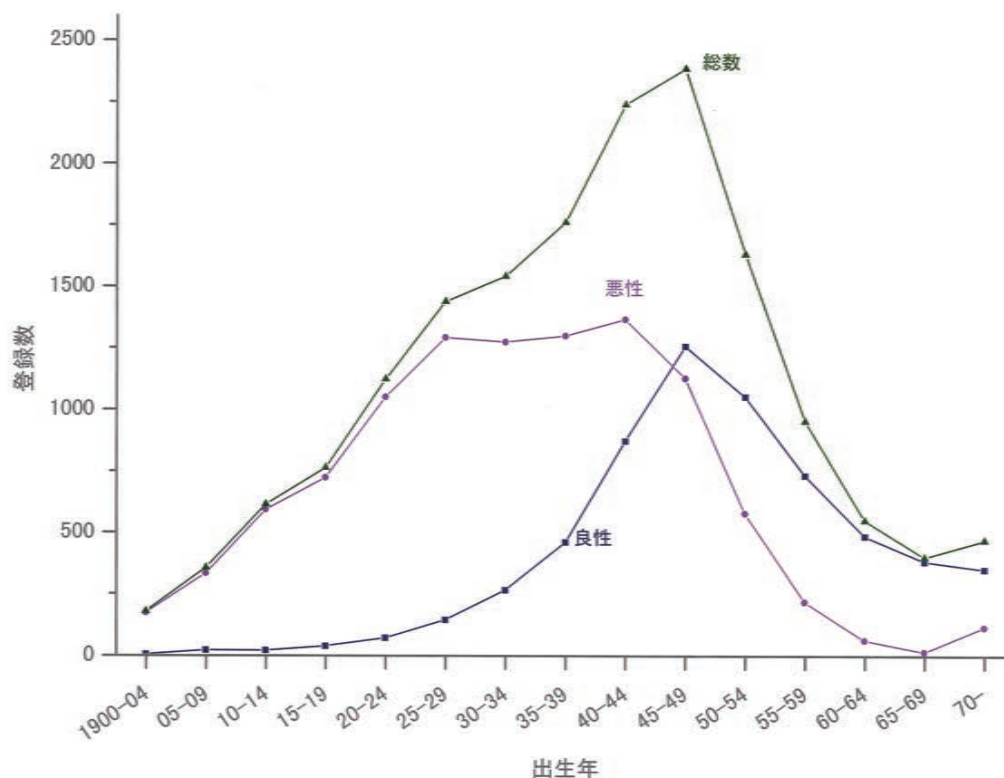
(2) 新規に登録された女性乳腺腫瘍数(良性および悪性)の年次推移



新規に登録された女性乳腺腫瘍数(良性および悪性)の年次推移

年度	良性腫瘍	悪性腫瘍	総数
1973	121	199	320
1974	198	254	452
1975	216	265	481
1976	222	277	499
1977	272	293	565
1978	235	291	526
1979	285	376	661
1980	285	374	659
1981	352	359	711
1982	269	357	626
1983	308	445	753
1984	290	390	680
1985	308	482	790
1986	286	560	846
1987	297	503	800
1988	305	554	859
1989	298	580	878
1990	334	611	945
1991	344	600	944
1992	335	697	1032
1993	358	723	1081
1994	288	681	969
1995	257	667	924
計	6,463	10,538	17,001

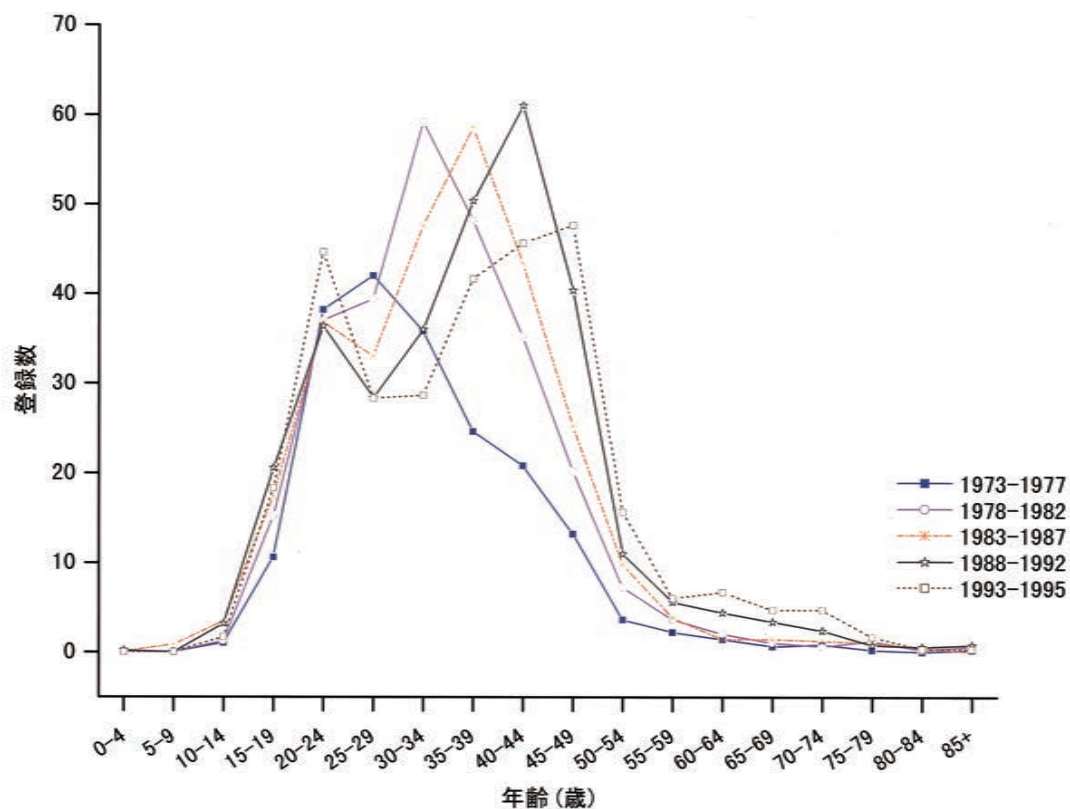
(3) 出生年代別に見た女性乳腺腫瘍の累積登録数



出生年代別にみた女性乳腺腫瘍の累積登録数

年度	良性腫瘍	悪性腫瘍	総数
1900-1904	6	174	180
1905-1909	23	334	357
1910-1914	22	594	616
1915-1919	40	725	765
1920-1924	73	1051	1124
1925-1929	147	1292	1439
1930-1934	267	1275	1542
1935-1939	462	1300	1762
1940-1944	874	1367	2241
1945-1949	1258	1128	2386
1950-1954	1053	579	1632
1955-1959	734	219	953
1960-1964	486	64	550
1965-1969	383	17	400
1970-	352	117	469
生年不詳	283	302	585
計	6463	10538	17001

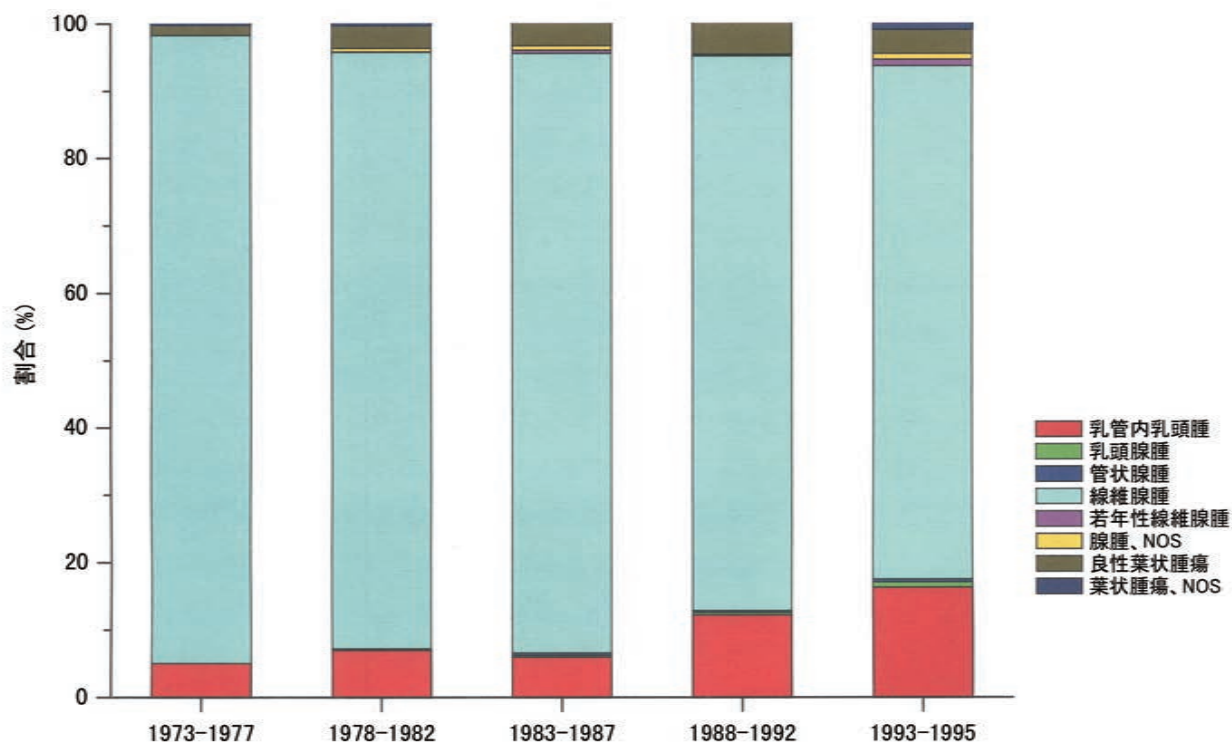
(4) 観察期間5年毎にみた女性乳腺良性腫瘍の年齢区分別新規登録数 (1年あたりの平均)



観察期間 5 年毎にみた女性乳腺良性腫瘍の年齢区分別新規登録数 (1 年当たりの平均)

年齢 (歳)	1973-1977	1978-1982	1983-1987	1988-1992	1993-1995
0-4	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0
5-9	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0
10-14	1.0	1.2	3.4	3.2	1.7
15-19	10.6	15.2	17.4	20.6	18.3
20-24	38.2	37.0	36.8	36.4	44.7
25-29	42	39.4	33.0	28.4	28.3
30-34	35.8	59.2	47.6	36.0	28.7
35-39	24.6	48.2	58.6	50.4	41.7
40-44	20.8	35.2	43.4	61.0	45.7
45-49	13.2	20.2	25.2	40.4	47.7
50-54	3.6	7.2	9.8	11.0	15.7
55-59	2.2	3.6	3.8	5.6	6.0
60-64	1.4	2.0	1.4	4.4	6.7
65-69	0.6	1.0	1.4	3.4	4.7
70-74	0.8	0.6	1.2	2.4	4.7
75-79	0.2	1.2	1.0	0.8	1.7
80-84	0.0	0.2	0.4	0.6	0.3
85+	0.2	0.6	0.0	0.8	0.3
不明	10.6	13.2	12.6	17.6	4.3

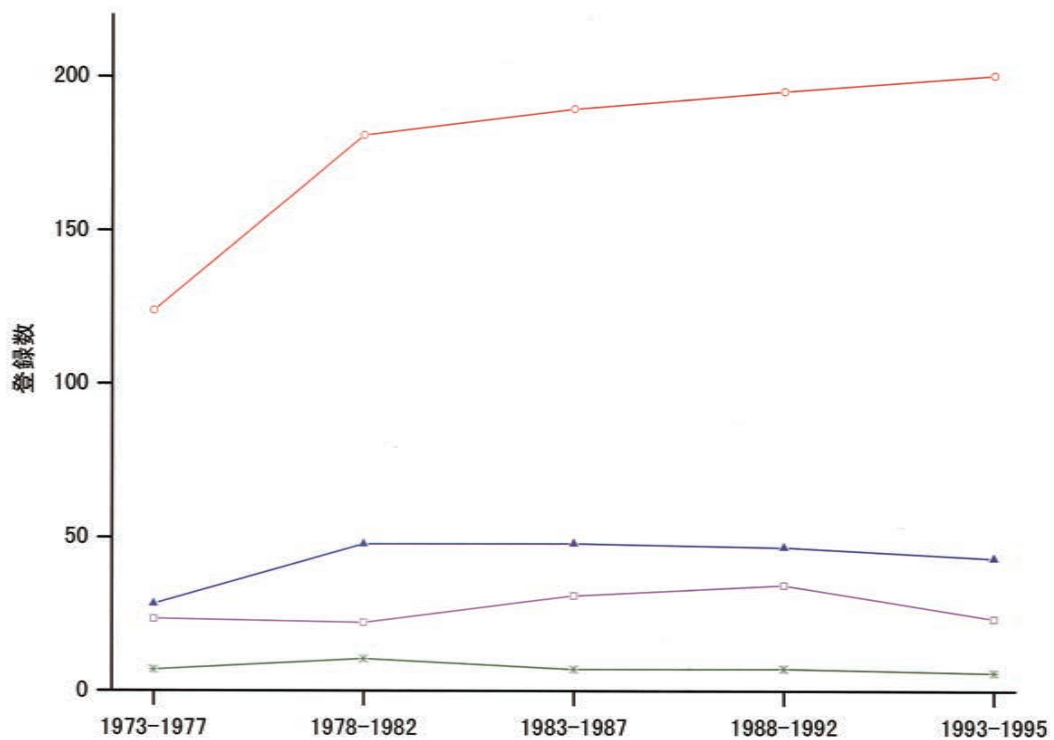
(5) 観察期間5年毎にみた女性乳腺良性腫瘍の組織型別割合



観察期間5年毎にみた女性乳腺良性腫瘍の組織型別割合

	1973-1977	1978-1982	1983-1987	1988-1992	1993-1995
乳管内乳頭腫	5.1	7.0	6.0	12.2	16.3
乳頭腺腫	0.0	0.1	0.3	0.3	0.8
管状腺腫	0.0	0.1	0.3	0.2	0.4
線維腺腫	93.2	88.6	89.0	82.4	76.2
若年性線維腺腫	0.0	0.1	0.5	0.2	1.0
腺腫, NOS	0.0	0.5	0.7	0.1	0.9
葉状腫瘍, 良性	1.5	3.3	3.2	4.6	3.5
葉状腫瘍, NOS	0.2	0.3	0.0	0.0	0.9
合計	100	100	100	100	100

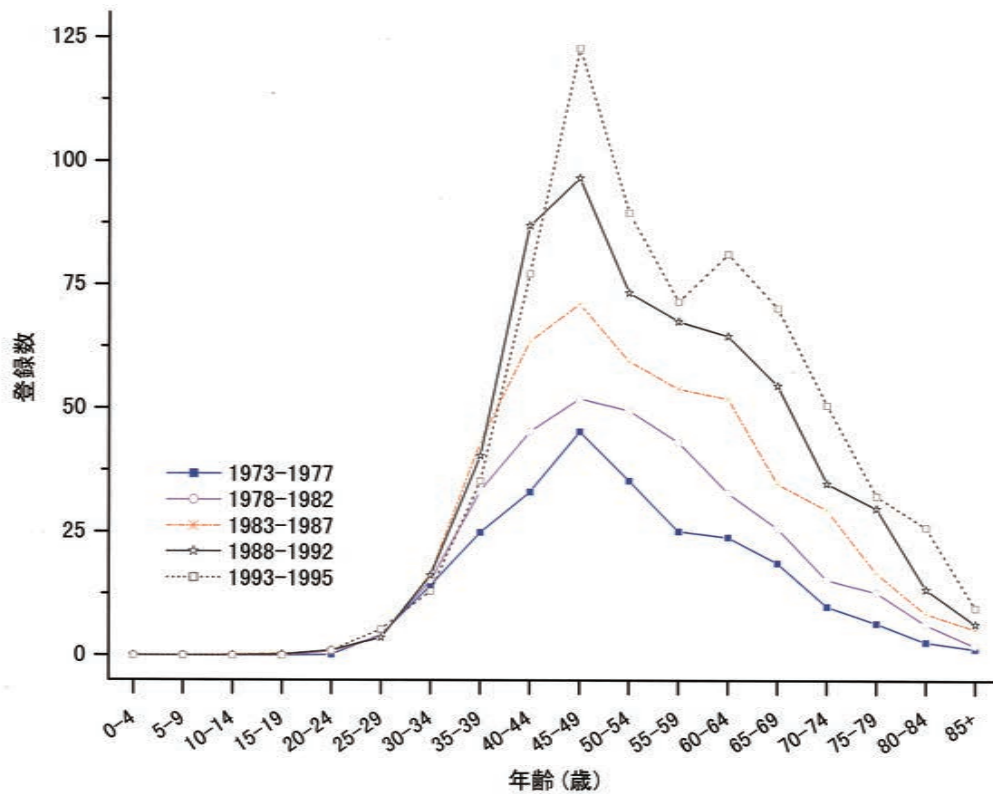
(6) 観察期間5年毎にみた女性乳腺良性腫瘍の医療圏別新規登録数(1年当たりの平均)



観察期間5年毎にみた女性乳腺良性腫瘍の医療圏別新規登録数(1年当たりの平均)

年度	広島	呉	備後	備北	不明
1973-1977	123.8	23.4	28.2	6.8	23.6
1978-1982	181.0	22.2	47.8	10.4	23.8
1983-1987	189.6	31.0	48.0	7.0	22.2
1988-1992	195.4	34.4	46.8	7.2	39.4
1993-1995	200.7	23.7	43.3	6.0	27.3

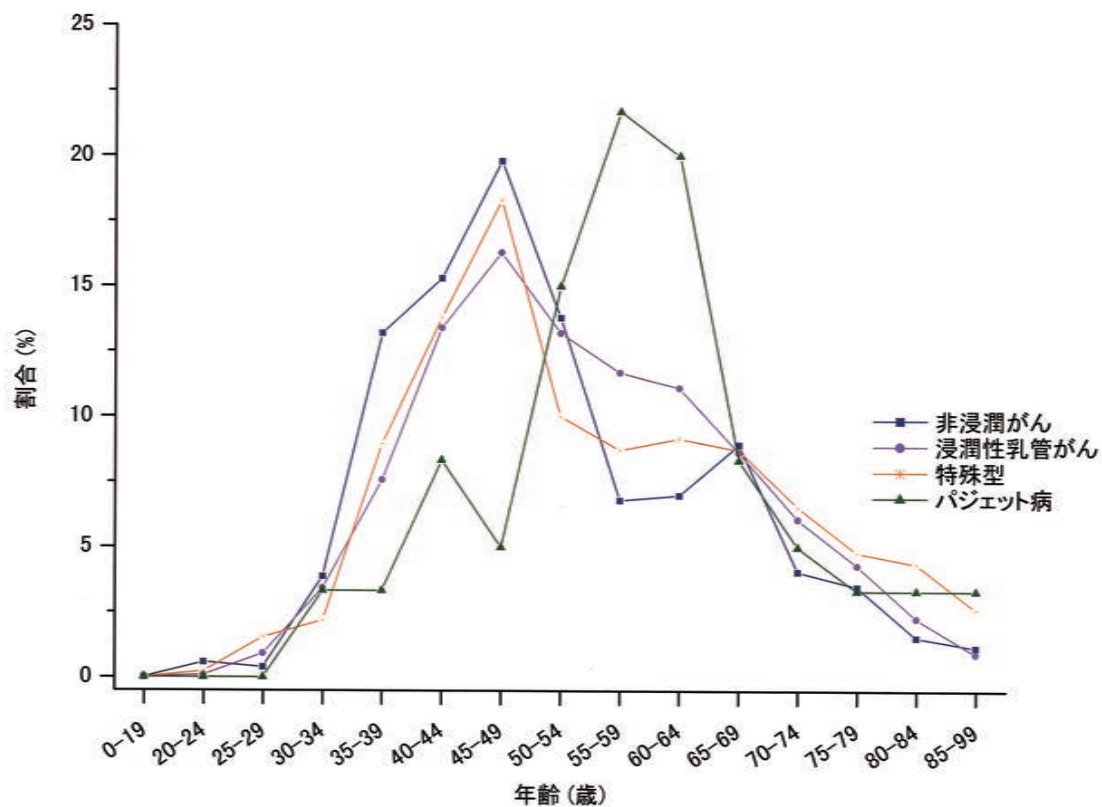
(7) 観察期間5年毎にみた女性乳腺悪性腫瘍の年齢区分別新規登録数(1年当たりの平均)



観察期間5年毎にみた女性乳腺悪性腫瘍の年齢区分別新規登録数(1年当たりの平均)

年齢 (歳)	1973-1977	1978-1982	1983-1987	1988-1992	1993-1995
0-4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5-9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10-14	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0
15-19	0.0	0.0	0.4	0.2	0.0
20-24	0.2	0.8	0.8	1.0	1.0
25-29	4.2	4.0	3.6	3.6	5.3
30-34	14.2	15.2	16.4	16.2	13.0
35-39	25.0	33.4	43.2	40.4	35.3
40-44	33.2	45.4	63.6	87.0	77.3
45-49	45.4	52.0	71.2	96.6	123
50-54	35.4	49.6	59.6	73.4	89.7
55-59	25.2	43.2	54.0	67.6	71.7
60-64	24.0	33.0	52.0	64.6	81.3
65-69	18.8	25.8	34.8	54.6	70.3
70-74	10.0	15.4	29.6	34.8	50.7
75-79	6.6	12.8	16.8	29.8	32.3
80-84	2.8	6.4	8.6	13.4	26.0
85-89	1.4	1.8	4.2	5.0	7.3
90-94	0.0	0.2	1.0	1.4	2.3
95+	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0
不明	11.2	12.4	15.8	18.8	3.7

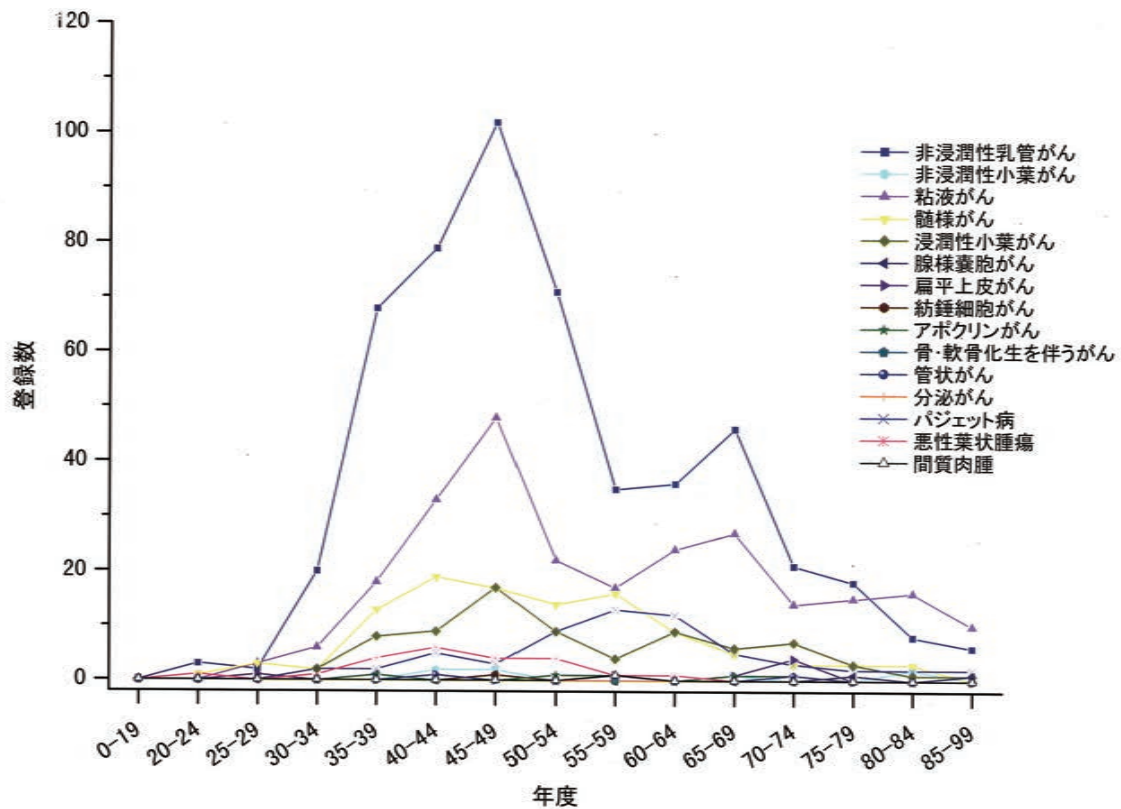
(8) 組織型別にみた女性乳腺悪性腫瘍の年齢分布



組織型別にみた女性乳腺悪性腫瘍の年齢分布

	非浸潤がん	浸潤性乳管がん	特殊型	パジエット病
0-19	0.00	0.02	0.00	0.00
20-24	0.58	0.09	0.22	0.00
25-29	0.39	0.91	1.53	0.00
30-34	3.88	3.43	2.18	3.33
35-39	13.20	7.58	8.95	3.33
40-44	15.30	13.40	13.80	8.33
45-49	19.80	16.30	18.30	5.00
50-54	13.80	13.20	10.00	15.00
55-59	6.80	11.70	8.73	21.7
60-64	6.99	11.10	9.17	20.00
65-69	8.93	8.64	8.73	8.33
70-74	4.08	6.08	6.55	5.00
75-79	3.50	4.31	4.80	3.33
80-84	1.55	2.28	4.37	3.33
85-89	0.78	0.74	1.75	3.33
90-94	0.39	0.17	0.87	0.00
95-99	0.00	0.01	0.00	0.00
合計	100	100	100	100

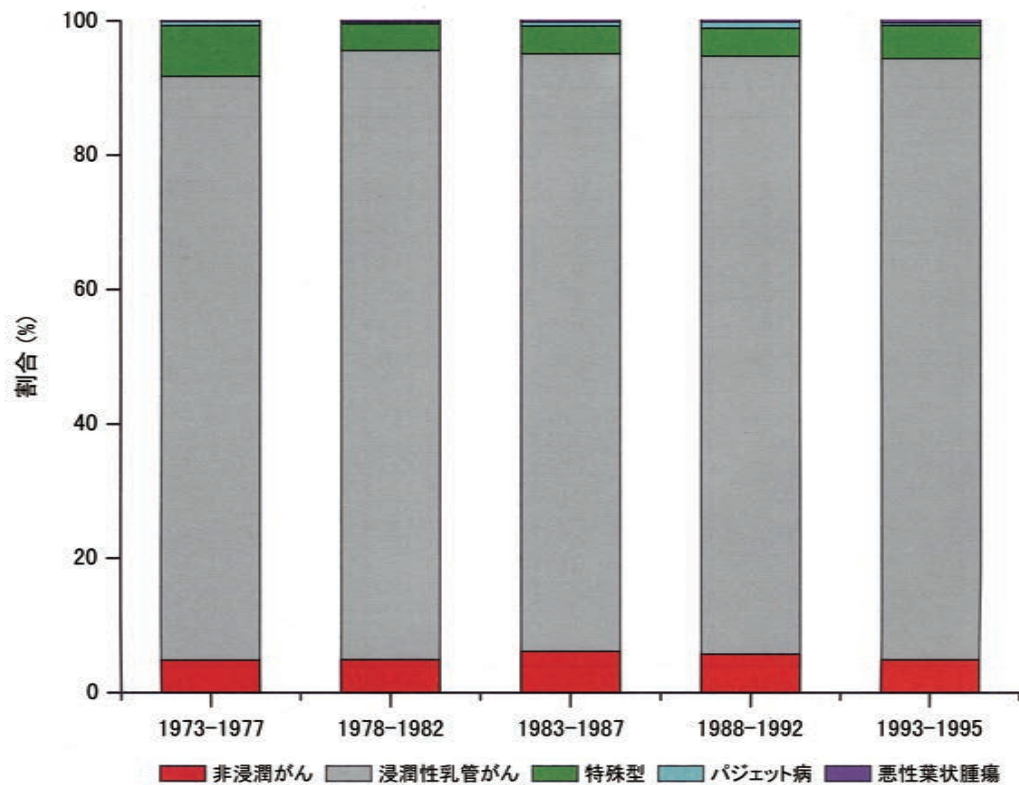
(9) 組織型別にみた女性乳腺悪性腫瘍の新規登録数(浸潤性乳管がんを除く)の年齢分布



組織型別にみた女性乳腺悪性腫瘍の新規登録数(浸潤性乳管がんを除く)の年齢分布

	非浸潤性乳管がん	非浸潤性小葉がん	粘液がん	濾過性小葉がん	浸潤性小葉がん	腺様嚢胞がん	扁平上皮がん	紡錘細胞がん	アポクリンがん	骨・軟骨化生を伴うがん	管状がん	分泌がん	パジェット病	悪性葉状腫瘍	間質肉腫
0-19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20-24	3	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
25-29	2	0	3	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
30-34	20	0	6	2	2	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0
35-39	68	0	18	13	8	1	0	0	1	0	0	0	2	4	0
40-44	79	2	33	19	9	0	1	0	0	0	1	0	5	6	0
45-49	102	2	48	17	17	1	0	1	0	0	0	0	3	4	0
50-54	71	0	22	14	9	0	0	0	1	0	0	0	9	4	0
55-59	35	0	17	16	4	0	1	0	1	0	1	0	13	1	1
60-64	36	0	24	9	9	0	0	0	0	0	0	0	12	1	0
65-69	46	1	27	5	6	0	1	0	1	0	0	0	5	0	0
70-74	21	0	14	3	7	0	4	0	1	0	1	0	3	0	0
75-79	18	0	15	3	3	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0
80-84	8	2	16	3	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
85-89	4	0	6	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0
90-94	2	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
95-99	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	515	8	253	108	76	4	8	1	5	0	3	0	60	22	1
年齢不詳	16	0	5	2	0	0	3	0	0	0	0	0	2	0	0
合計	531	8	258	110	76	4	11	1	5	0	3	0	62	22	1

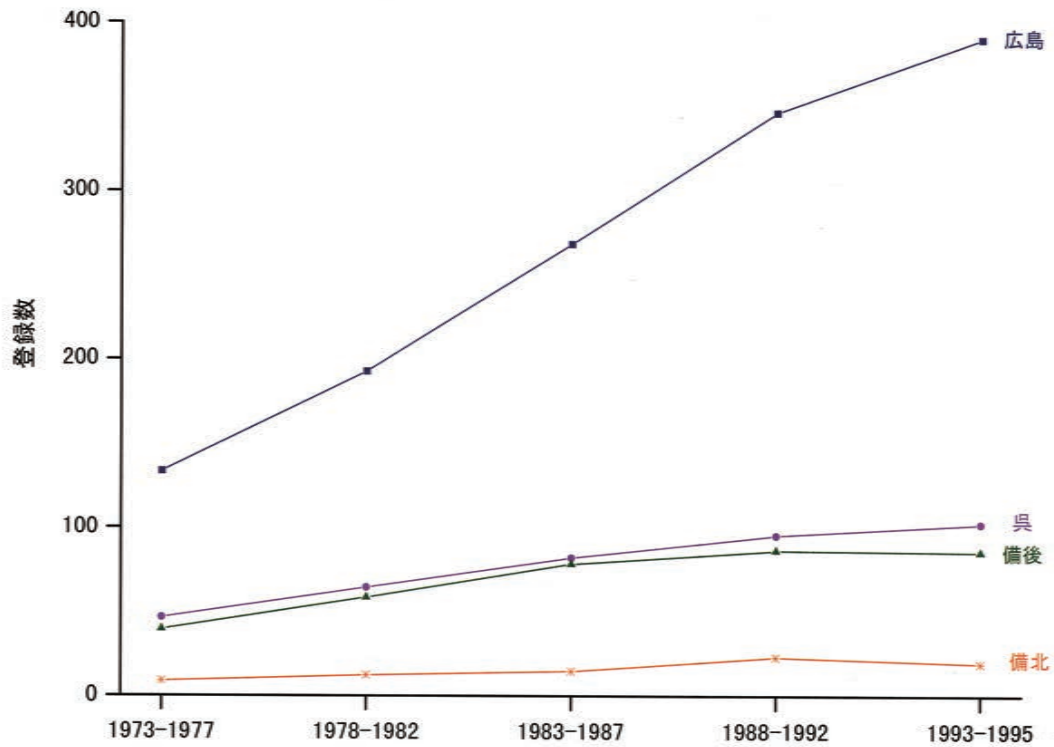
(10) 観察期間5年毎にみた女性乳腺悪性腫瘍の組織型別割合



観察期間5年毎にみた女性乳腺悪性腫瘍の組織型別割合

	1973-1977	1978-1982	1983-1987	1988-1992	1993-1995
非浸潤がん	4.83	4.92	6.16	5.73	4.89
浸潤性乳管がん	86.92	90.64	88.90	88.99	89.48
特殊型	7.55	3.97	4.12	4.12	4.89
パジェット病	0.61	0.30	0.61	0.95	0.40
悪性葉状腫瘍	0.09	0.18	0.22	0.20	0.34
合計	100	100	100	100	100

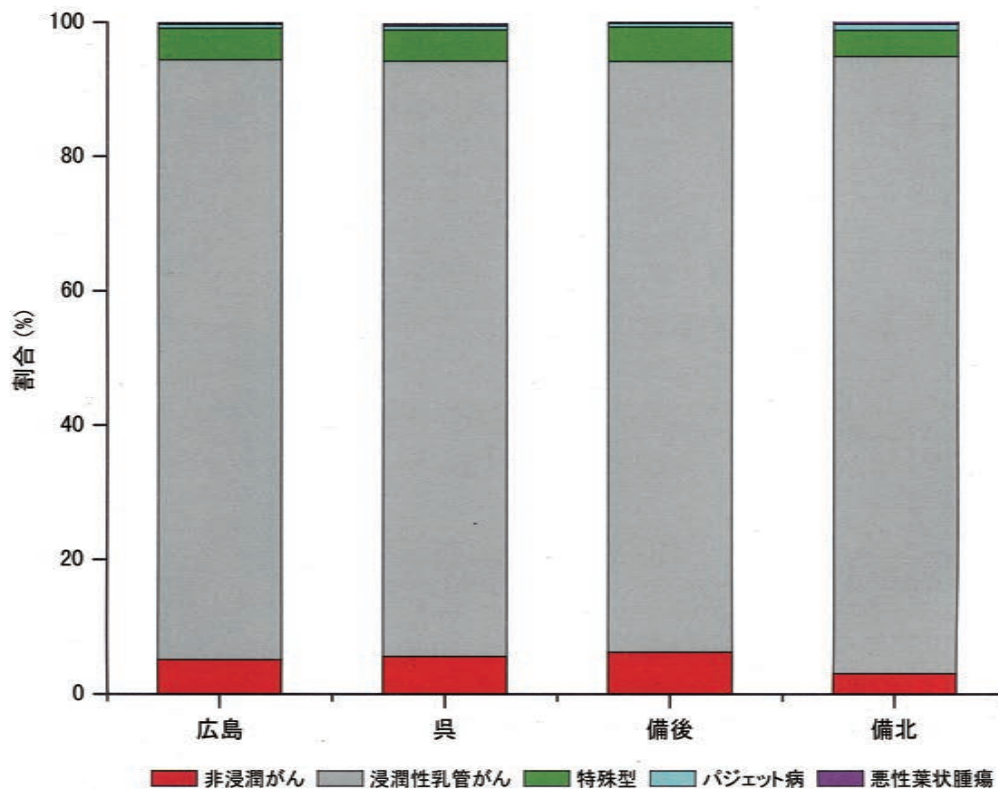
(11) 観察期間5年毎にみた女性乳腺悪性腫瘍の医療圏別新規登録数(1年当たりの平均)



観察期間5年毎にみた女性乳腺悪性腫瘍の医療圏別新規登録数(1年当たりの平均)

年度	広島	呉	備後	備北	不明
1973-1977	133.6	46.6	39.6	8.8	29.0
1978-1982	192.8	64.6	58.6	12.4	23.0
1983-1987	268.6	82.2	78.4	14.6	32.2
1988-1992	346.6	95.4	86.4	23.0	57.0
1993-1995	390.3	102.3	85.7	19.3	92.7

(12) 医療圏別にみた女性乳腺悪性腫瘍の組織型別割合



医療圏別にみた女性乳腺悪性腫瘍の組織型別割合

	広島	呉	備後	備北
非浸潤がん	5.11	5.58	6.23	3.00
浸潤性乳管がん	89.28	88.61	87.93	91.89
特殊型	4.68	4.63	5.11	3.90
パジェット病	0.60	0.59	0.53	0.90
悪性葉状腫瘍	0.21	0.30	0.13	0.30

特定臓器解析の歴史と特定臓器ごとのサマリー

| 乳腺

| 肝臓

| 胃

| 肺

| 大腸

グラフで見る1973～1996年の肝腫瘍

広島県腫瘍登録（1973－1996）における肝腫瘍の解析結果のまとめ

1. 新規に登録された肝腫瘍数（良性及び悪性）の年次推移

肝腫瘍総数（良性及び悪性）は1990年以前までは緩やかに増加を続けていたが、1990年代に入って急激な増加をみた。その後、1993年、1994年には登録数が減少、その後再び増加するという特異な推移を示している。この推移は肝細胞癌の推移と一致する。すなわち、肝腫瘍のほとんどは肝細胞癌で、肝内胆管腺癌やその他の肝腫瘍の占める割合は小さい。

2. 登録肝腫瘍の組織型別比率

1973年から1996年までに登録された肝腫瘍は、3,958例であり、悪性腫瘍が3,762例（95%）、良性腫瘍が196例（5%）である。悪性腫瘍では、原発性肝細胞癌が3,367例と最も多く、悪性腫瘍の89.5%、全腫瘍の85.0%を占めている。原発性肝内胆管腺癌は270例と2番目に多く登録されているが、悪性腫瘍の7.2%、全腫瘍の6.8%である。一方、良性腫瘍の91.4%は血管腫で、179例登録されている（全腫瘍の4.5%）

3. 登録肝腫瘍の組織型別男女比

各登録肝腫瘍の男女比を比較すると、悪性腫瘍は男性優位、良性腫瘍は女性優位であり、特に肝細胞癌は男女比3.5と男性に多い。

4. 登録肝腫瘍の組織型別・男女別平均年齢

男女別平均年齢の比較では、その他の良性腫瘍を除いた各登録肝腫瘍で、女性の平均年齢が男性の平均年齢より高い傾向が見られる。

5. 広域医療圏別の登録肝腫瘍数の推移

広域医療圏別の登録数では、広島広域医療圏が2,232例と最も多く、全体の56.4%を占めている。続いて呉広域医療圏664例（16.8%）、備後広域医療圏457例（11.5%）、備北広域医療圏164例（4.1%）である。また、1988年～1992年の5年間で広島広域医療圏での登録数の増加が目立ちこの増加がグラフ2で観察された同期間での肝細胞癌登録数の急増として反映されている。

6. 広域医療圏別にみた登録肝腫瘍の組織型別比率

各肝腫瘍の登録比率の比較では、いずれの広域医療圏でも原発性肝細胞癌が8割以上を占めている。その登録率が最も高いのは、広島広域医療圏の86.3%（1,926例）である。他の腫瘍では、備後広域医療圏での原発性肝内胆管腺癌9.6%（44例）が、他広域医療圏の比率より高い傾向が見られる。

7. 肝細胞癌および肝内胆管腺癌の登録率の年次推移

年次推移のパターンは(1)の腫瘍登録数の推移と一致する。近年の肝細胞癌登録率は、人口10万人あたり10～14（男性）、3～4（女性）で推移している。一方、肝内胆管腺癌の登録率は男女ともに人口10万人あたり1以下で経年変化は乏しい。

8. 肝細胞癌の年代別・年齢別登録率、広島県全域

男性の肝細胞癌の年齢別登録率は60～70歳台で最も高く、近年になるにつれて他の年齢での登録率との差が際立っている。一方、女性の年齢別登録率は男性よりも5歳ほど高年齢にシフトし、65～75歳で最も高い。

9. 肝細胞癌の広域医療圏別登録率の年次推移

男性では、広島広域医療圏の登録率が直近の4年間（1993～96年）で低下した。県全域でも低下をみたが、これは県全域の登録率が広島広域医療圏の率に依存しているためであろう。他の3医療圏では、登録率は増加している。女性ではいずれの医療圏でも微増を示した。

10. 肝細胞癌の二次医療圏別登録率の推移

C型肝炎が特定の地域に多発することがあることが知られている。そこで、原発性肝細胞癌の地域特異性を広域医療圏よりも狭い範囲で明確にするために、二次保健医療圏別に年齢調整平均登録率の男女別比較を行うと、通年では男女とも広島市の登録率が最も高い（人口10万人当たり、男性11.08、女性2.75）。

観察期間5年毎の年齢調整平均登録率の推移を比較すると、1988年～1992年で急増している地域（広島市、広島市以外の広島圏の男女など）と、1993年～1996年に急増している地域（廿日市医療圏の男性例）が認められる。広島県全体としては、男女とも1988年～1992年の間で急増しているが、1993年～1996年では若干減少している。登録率減少の原因は種々考えられ、新規発生数の減少を必ずしも意味するわけではない。しかし、B型、C型肝炎ウイルス感染を防ぐことにより新規肝細胞癌の

90%が消失することが予測され、新たな感染防止の努力が継続して行われていることを考えると、登録率減少は、新規肝細胞癌数の減少へとつながる可能性を示唆しているのかもしれない。一方で、登録率増加の時期や程度に地域差があることから、急増地域でのより細かな患者対応が求められると同時に、その原因究明が急務である。

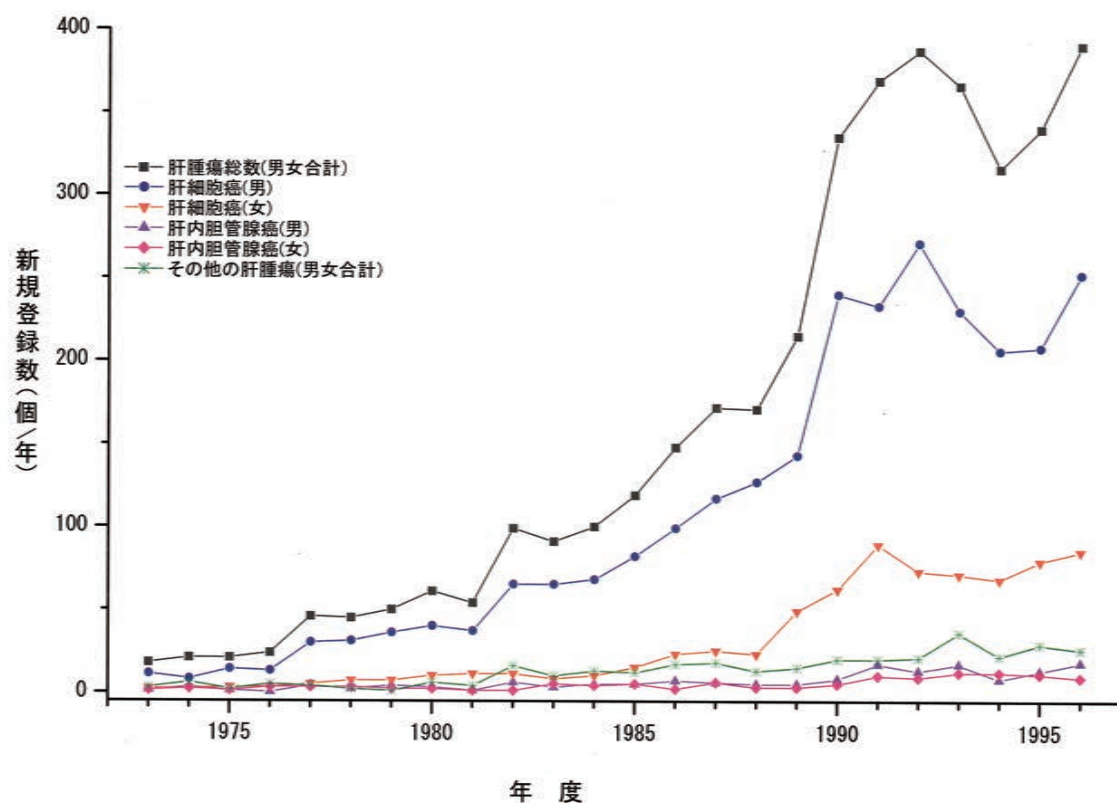
11. 肝細胞癌の出生コホート別登録率、広島県全域

肝細胞癌の登録率を罹患時年齢別・出生グループ別に算出した。男性では、同じ60～64歳時罹患でも1920～24年出生グループ、25～29年出生グループ、30～34年出生グループの順に登録率が増加している。65～69歳時罹患でも同様の傾向がみられた。このことは1925～34年に出生した集団の肝炎ウイルス感染率が他の出生グループの率よりも高いことが推測される。その理由として、この世代の多くが終戦後～1960年代にかけての低公衆衛生概念の時代に、注射針の使い回し、汚染血輸血（特に結核手術時）などによって肝炎ウイルスに罹患したものと考えられた。女性では1915～34年出生グループで同様の傾向がみられる。

12. 肝血管腫の広域医療圏別登録推移

観察期間5年毎に血管腫の登録数を比較すると、広島広域医療圏では1973年から1996年まで増加傾向が見られる。一方、他の広域医療圏では、一定の傾向は見られない。

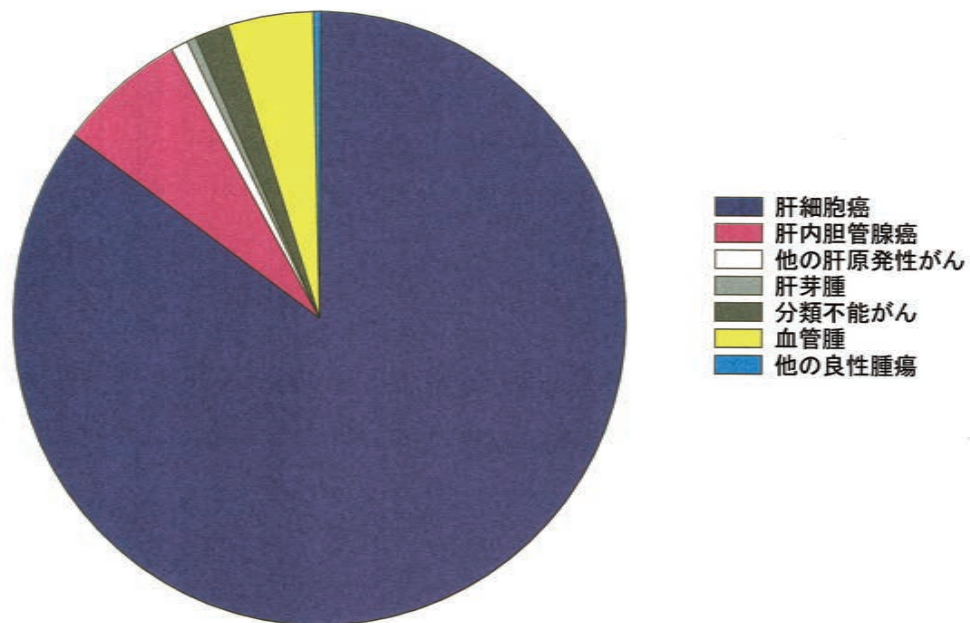
(1) 新規に登録された肝腫瘍数(良性及び悪性)の年次推移 (1973～1996年)



(1) 新規に登録された肝腫瘍数(良性及び悪性)の年次推移(1973～1996 年)

年度	肝腫瘍総数			原発性肝がん		原発性肝がん以外の肝腫瘍	
	男女	男	女	男	女	男	女
1973	18	14	4	11	2	3	2
1974	21	12	9	8	2	4	7
1975	21	17	4	14	3	3	1
1976	24	14	10	13	3	1	7
1977	46	37	9	30	5	7	4
1978	45	33	12	31	7	2	5
1979	50	41	9	36	7	5	2
1980	61	46	15	40	10	6	5
1981	54	40	14	37	11	3	3
1982	99	79	20	65	11	14	9
1983	91	73	18	65	8	8	10
1984	100	81	19	68	10	13	9
1985	119	94	25	82	15	12	10
1986	148	114	34	99	23	15	11
1987	172	132	40	117	25	15	15
1988	171	138	33	127	23	11	10
1989	215	153	62	143	49	10	13
1990	335	256	79	240	62	16	17
1991	369	260	109	233	89	27	20
1992	387	295	92	271	73	24	19
1993	366	265	101	230	71	35	30
1994	316	227	89	206	68	21	21
1995	340	239	101	208	79	31	22
1996	390	288	102	252	85	36	17
計	3,958	2,948	1,010	2,626	741	322	269

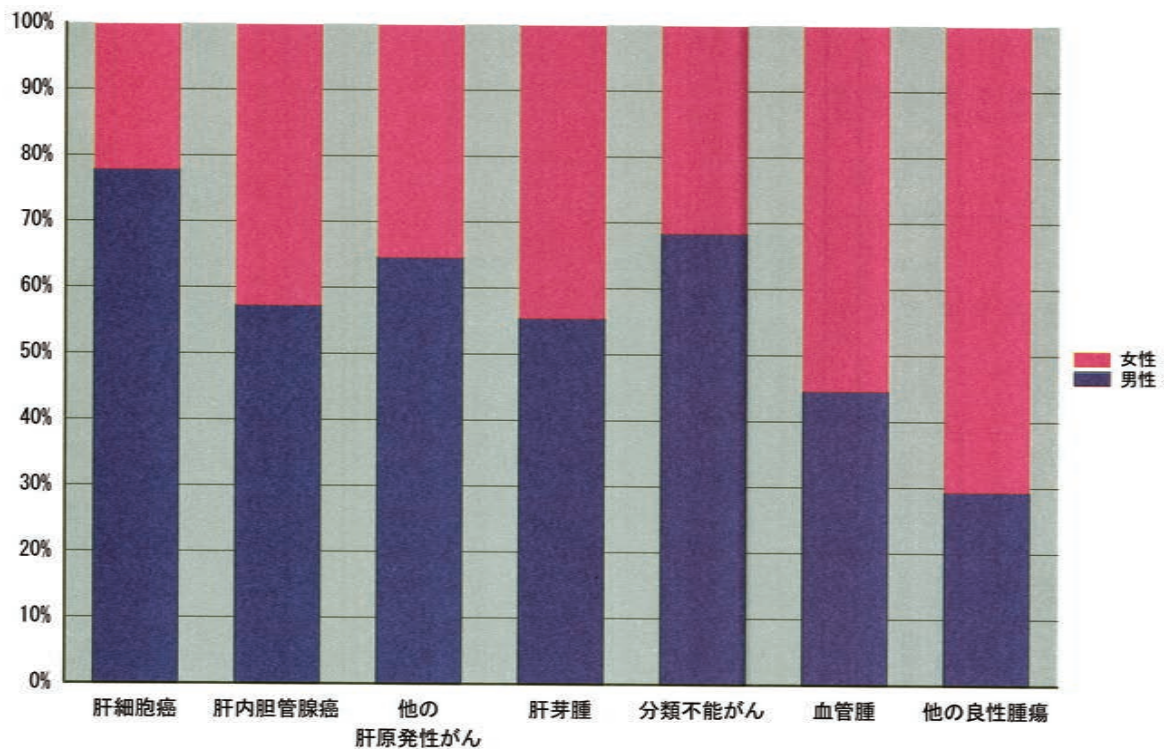
(2) 登録肝腫瘍の組織型別比率



(2) 登録肝腫瘍の組織型別比率

	症例数	頻度
1. 肝細胞癌	3,367	85.0%
2. 肝内胆管腺癌	270	6.8%
3. 他の肝原発性がん	34	0.9%
4. 肝芽腫	18	0.5%
5. 分類不能がん	73	1.8%
6. 血管腫	179	4.5%
7. 他の良性腫瘍	17	0.4%
計	3,958	100%

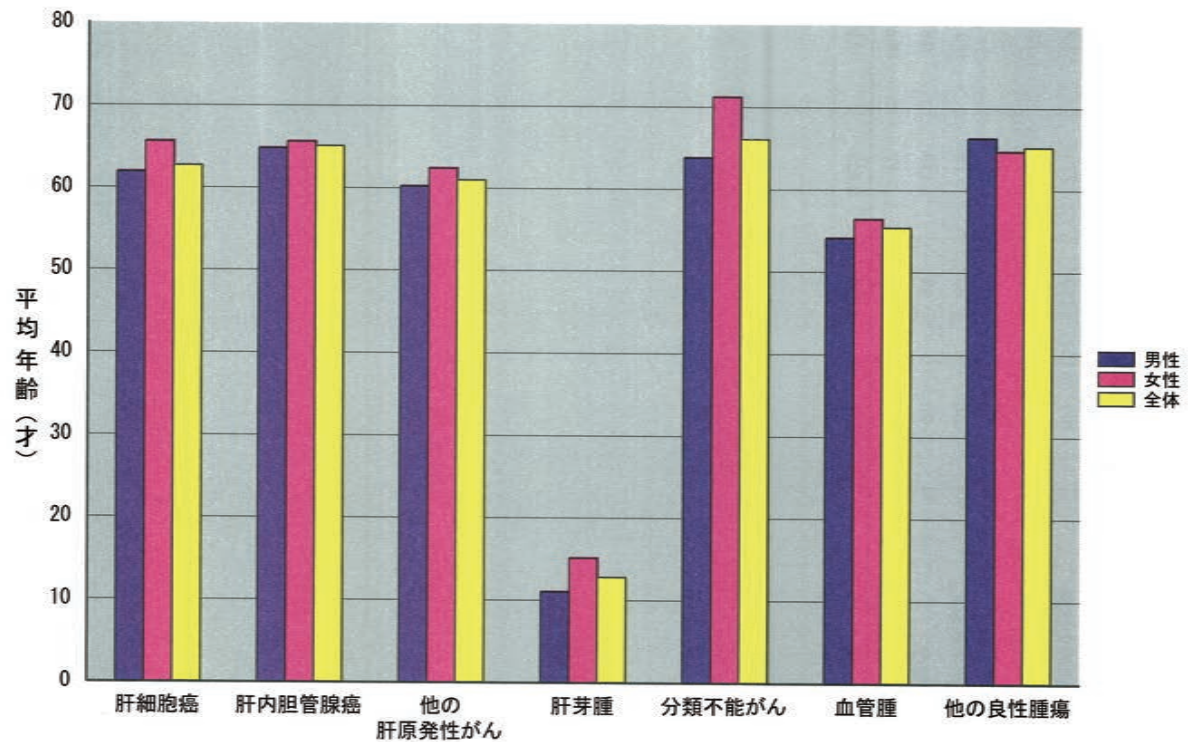
(3) 登録肝腫瘍の組織型別男女比



(3) 登録肝腫瘍の組織型別男女比

	男性例数	女性例数	合計例数	男女比
1. 肝細胞癌	2,626	741	3,367	3.5
2. 肝内胆管腺癌	155	115	270	1.3
3. 他の肝原発性がん	22	12	34	1.8
4. 肝芽腫	10	8	18	1.3
5. 分類不能がん	50	23	73	2.2
6. 血管腫	80	99	179	0.8
7. 他の良性腫瘍	5	12	17	0.4
計	2,948	1,010	3,958	2.9

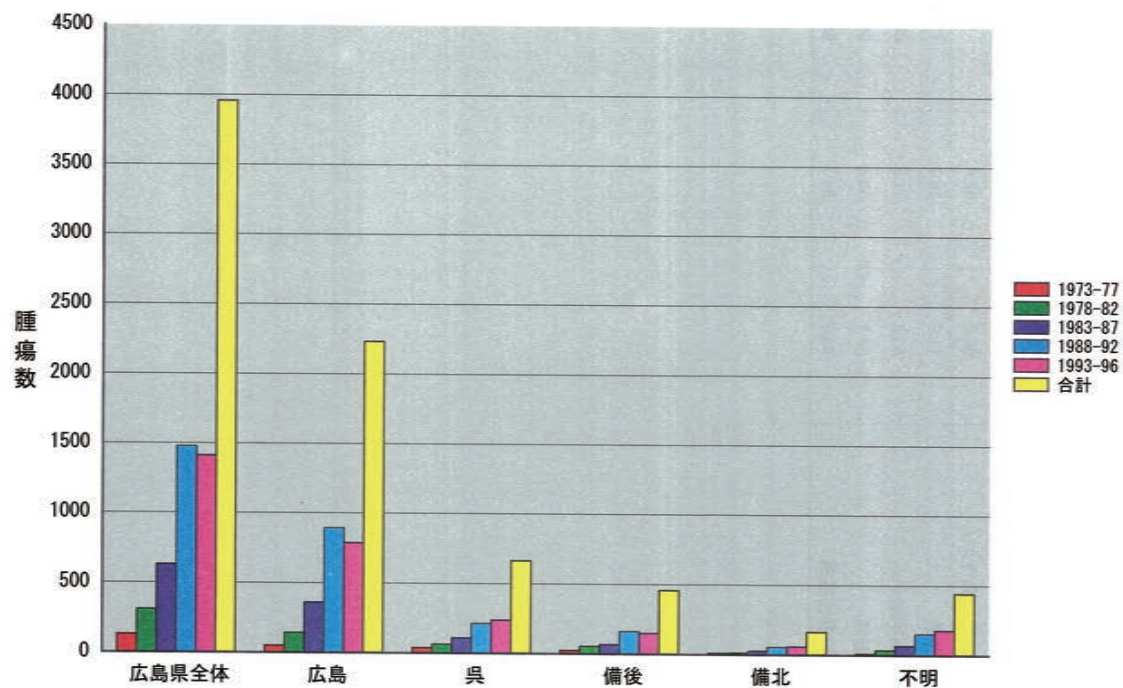
(4) 登録肝腫瘍の組織型別・男女別平均年齢



(4) 登録肝腫瘍の組織型別・男女別平均年齢

	平均年齢(歳)		
	男性	女性	全体
1. 肝細胞癌	61.9	65.6	62.7
2. 肝内胆管腺癌	64.8	65.6	65.1
3. 他の肝原発性がん	60.2	62.4	61
4. 肝芽腫	11.0	15.1	12.8
5. 分類不能がん	63.8	71.2	66.1
6. 血管腫	54.1	56.4	55.4
7. 他の良性腫瘍	66.3	64.7	65.2

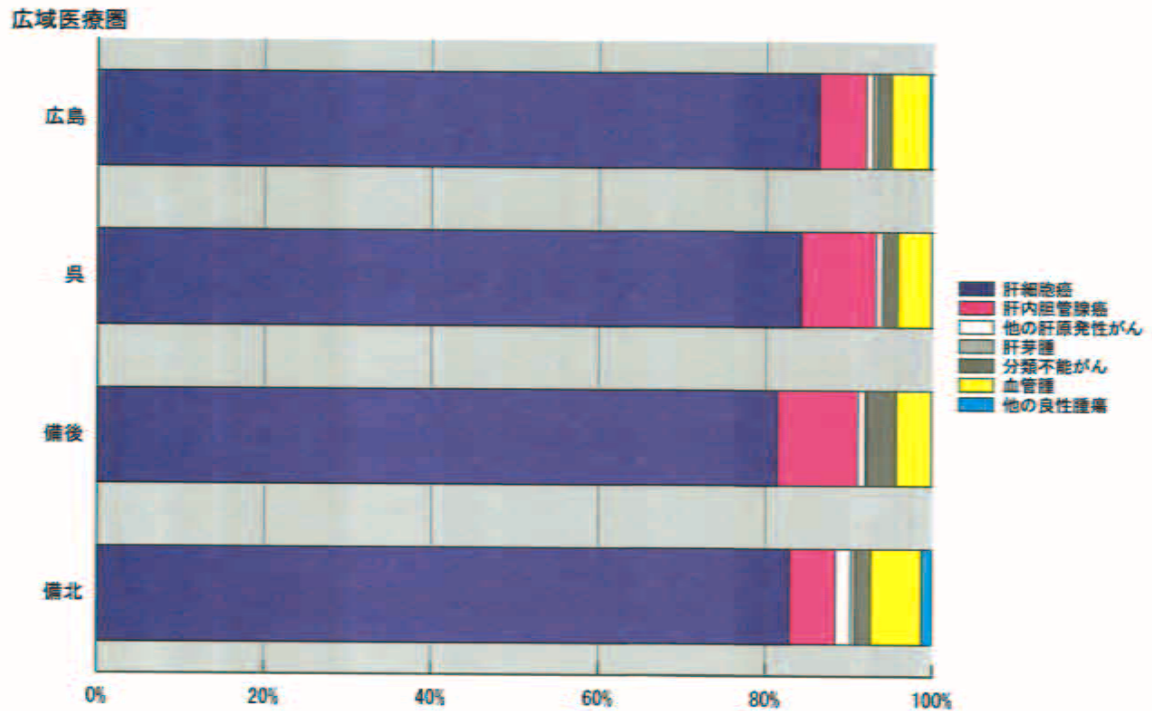
(5) 広域医療圏別の登録肝腫瘍数の推移



(5) 広域医療圏別の登録肝腫瘍数の推移

広域医療圏	1973-77	1978-82	1983-87	1988-92	1993-96	合計
広島	50	143	360	893	786	2,232 (56.4%)
呉	37	64	109	215	239	664 (16.8%)
備後	24	54	67	162	150	457 (11.5%)
備北	10	13	27	55	59	164 (4.1%)
不明	9	35	67	152	178	441 (11.1%)
広島県全体	130	309	630	1,477	1,412	3,958 (100%)

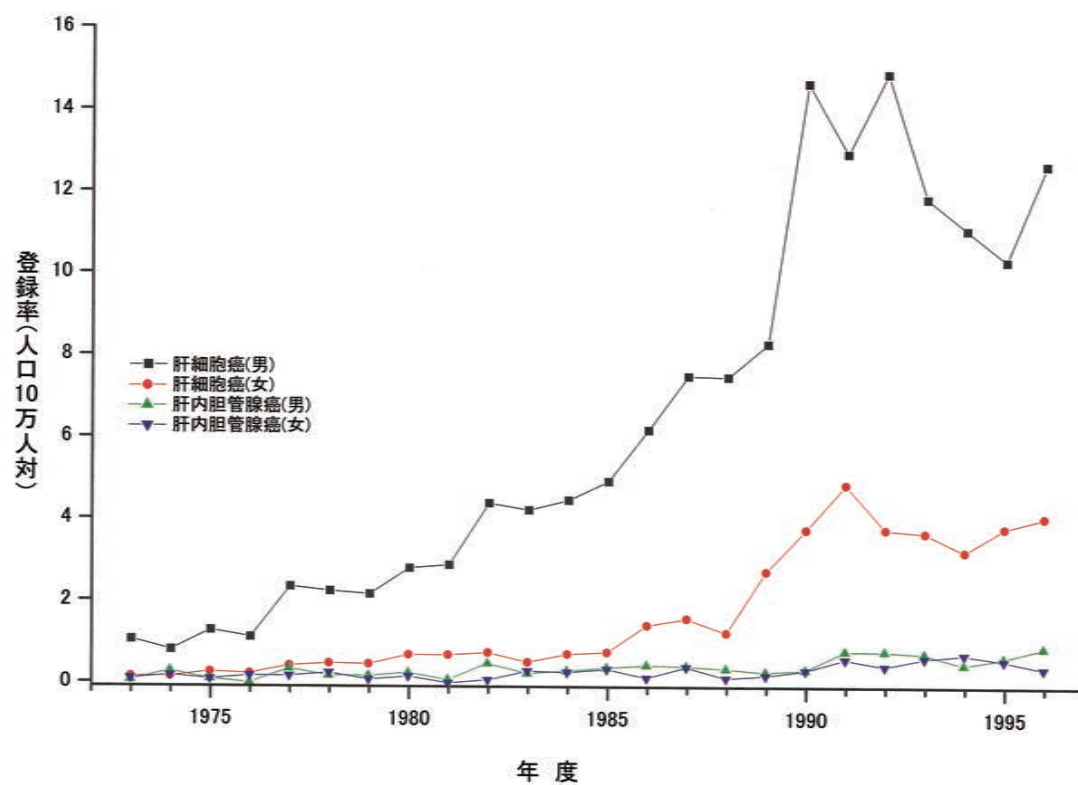
(6) 広域医療圏別にみた登録肝腫瘍の組織型別比率



(6) 広域医療圏別にみた登録肝腫瘍の組織型別比率

	広島	呉	備後	備北
1. 肝細胞癌	1,926 (86.3%)	559 (84.2%)	372 (81.4%)	136 (82.9%)
2. 肝内胆管腺癌	126 (5.6%)	59 (8.9%)	44 (9.6%)	9 (5.5%)
3. 他の肝原発性がん	18 (0.8%)	5 (0.8%)	4 (0.9%)	3 (1.8%)
4. 肝芽腫	14 (0.6%)	0 (0.0%)	1 (0.2%)	1 (0.6%)
5. 分類不能がん	35 (1.6%)	12 (1.8%)	16 (3.5%)	3 (1.8%)
6. 血管腫	102 (4.6%)	27 (4.1%)	19 (4.2%)	10 (6.1%)
7. 他の良性腫瘍	11 (0.5%)	2 (0.3%)	1 (0.2%)	2 (1.2%)
計	2,232 (100%)	664 (100%)	457 (100%)	164 (100%)

(7) 肝細胞癌および肝内胆管腺癌の登録率の推移

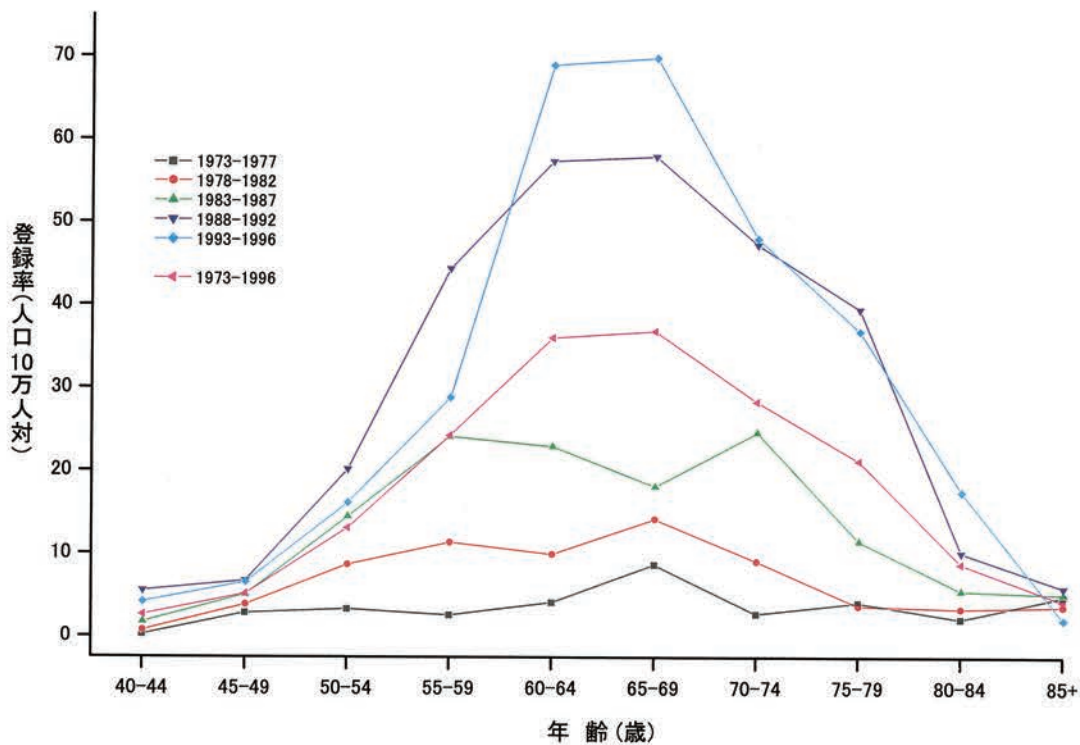


(7) 肝細胞癌および肝内胆管腺癌の登録率の年次推移

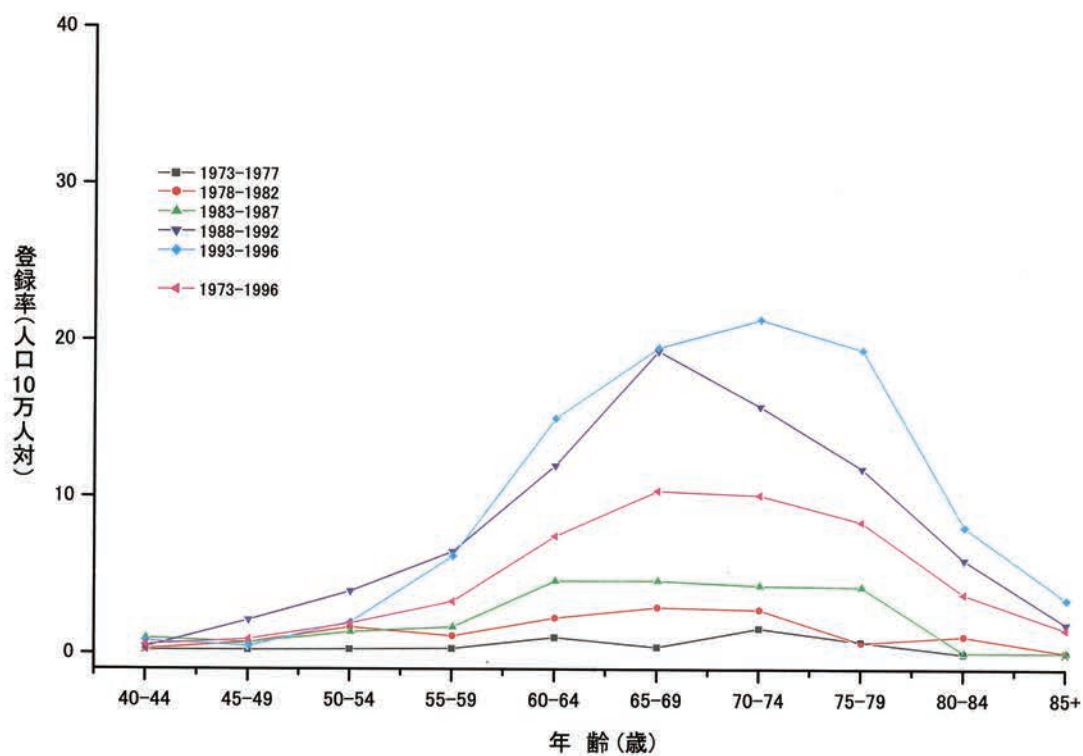
年度	肝細胞癌		肝内胆管腺癌	
	男性	女性	男性	女性
1973	1.0	0.1	0.1	0.1
1974	0.8	0.2	0.3	0.2
1975	1.3	0.3	0.1	0.1
1976	1.1	0.2	0.0	0.2
1977	2.3	0.4	0.4	0.2
1978	2.2	0.5	0.2	0.2
1979	2.2	0.5	0.2	0.1
1980	2.8	0.7	0.3	0.2
1981	2.9	0.7	0.1	0.0
1982	4.4	0.7	0.5	0.1
1983	4.2	0.5	0.2	0.3
1984	4.5	0.7	0.3	0.3
1985	4.9	0.8	0.4	0.3
1986	6.2	1.4	0.4	0.1
1987	7.5	1.6	0.4	0.4
1988	7.5	1.2	0.4	0.1
1989	8.3	2.7	0.3	0.2
1990	14.6	3.8	0.3	0.3
1991	12.9	4.9	0.8	0.6
1992	14.9	3.8	0.8	0.4
1993	11.8	3.7	0.7	0.6
1994	11.1	3.2	0.5	0.7
1995	10.3	3.8	0.6	0.6
1996	12.6	4.1	0.9	0.4

(8) 肝細胞癌の年代別・年齢別登録率、広島県全域

(男性、1996年)



(女性、1996年)



(8) 肝細胞癌の年代別・年齢別登録率、広島県全域

(男性)

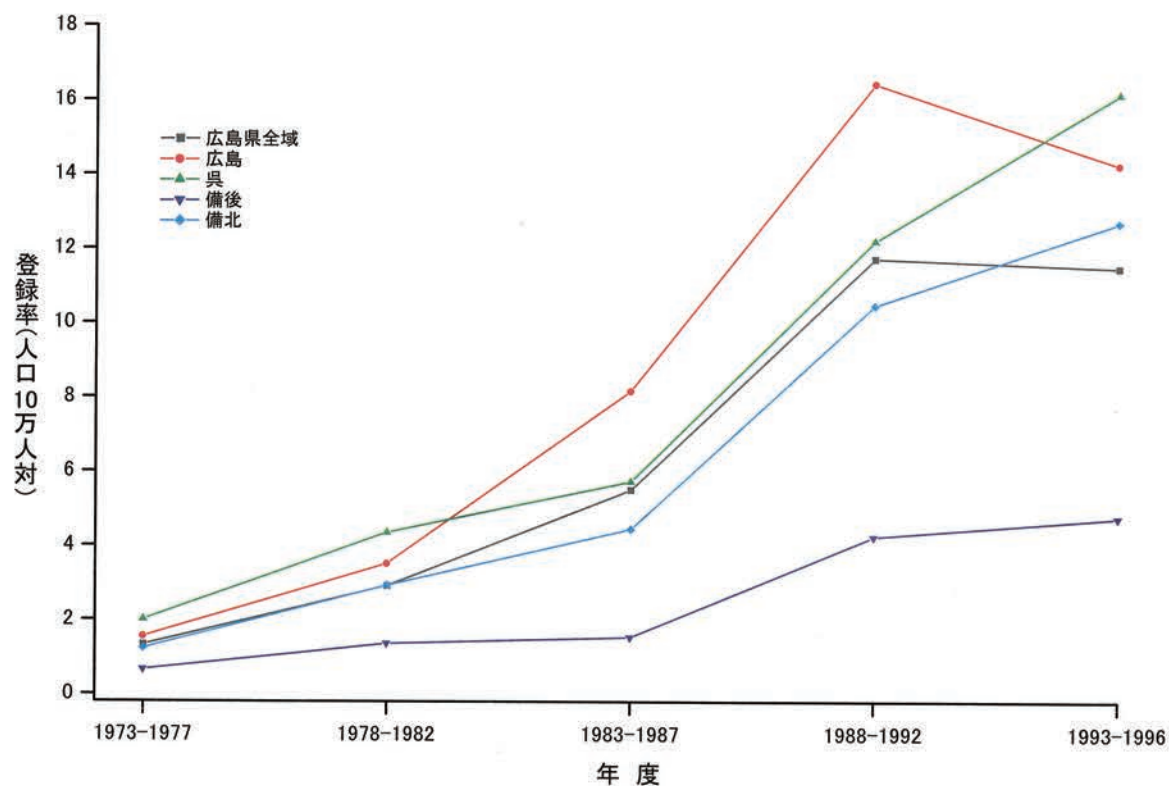
年齢(歳)	1973-1977	1978-1982	1983-1987	1988-1992	1993-1996	1973-1996
40-44	0.2	0.6	1.7	5.4	4.1	2.5
45-49	2.8	3.7	5.0	6.6	6.5	5.0
50-54	3.3	8.6	14.4	20.1	16.0	13.0
55-59	2.6	11.3	24.0	44.3	28.7	24.1
60-64	4.1	9.8	22.8	57.3	68.9	35.9
65-69	8.7	14.1	18.0	57.8	69.8	36.7
70-74	2.7	9.0	24.5	47.2	47.9	28.2
75-79	4.1	3.6	11.4	39.4	36.7	21.1
80-84	2.1	3.2	5.4	10.0	17.4	8.6
85+	4.8	3.5	5.0	5.8	1.9	4.1

(女性)

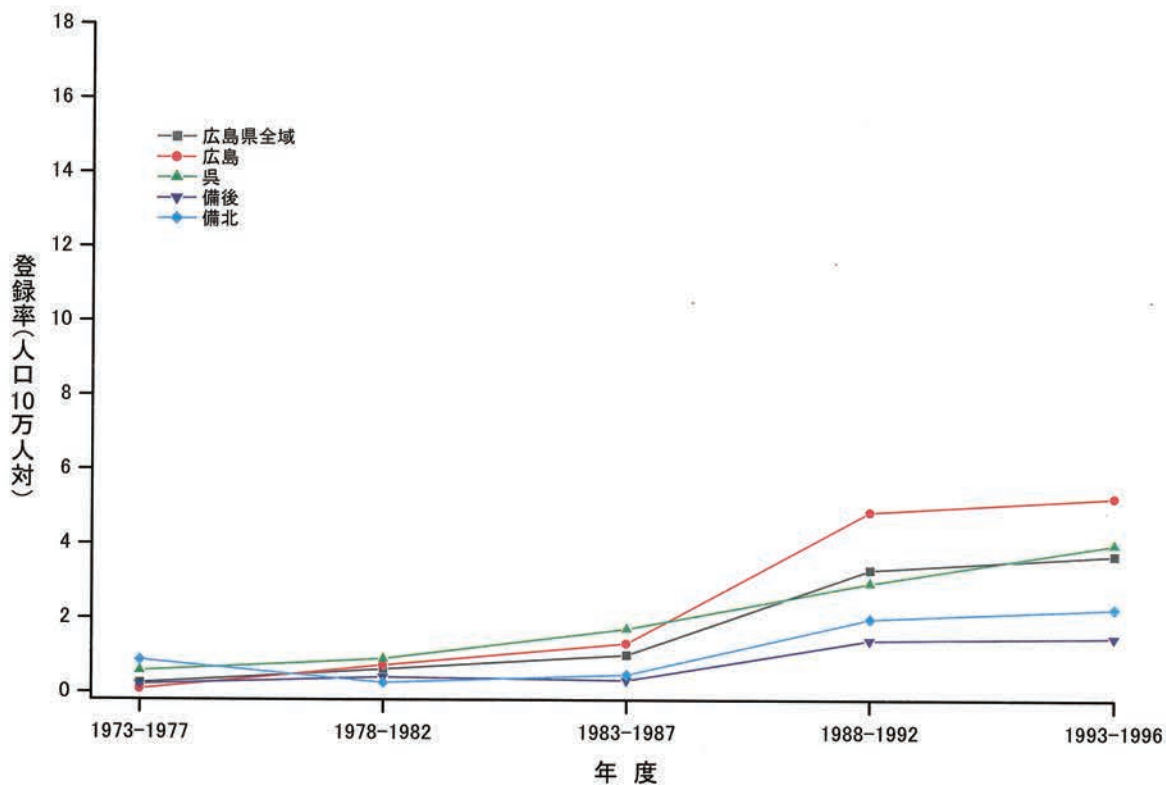
年齢(歳)	1973-1977	1978-1982	1983-1987	1988-1992	1993-1996	1973-1996
40-44	0.2	0.2	0.9	0.3	0.7	0.5
45-49	0.2	0.6	0.6	2.1	0.4	0.8
50-54	0.3	1.6	1.3	3.9	1.9	1.8
55-59	0.3	1.0	1.6	6.4	6.1	3.2
60-64	1.0	2.2	4.6	11.9	14.9	7.4
65-69	0.4	2.9	4.6	19.2	19.5	10.3
70-74	1.6	2.7	4.3	15.7	21.3	10.0
75-79	0.8	0.6	4.2	11.7	19.3	8.3
80-84	0.0	1.0	0.0	5.9	8.0	3.7
85+	0.0	0.0	0.0	1.8	3.4	1.5

(9) 肝細胞癌の広域医療圏別登録率の年次推移

(男性、1996年)



(女性、1996年)



(9) 肝細胞癌の広域医療圏別登録率の年次推移

(男性)

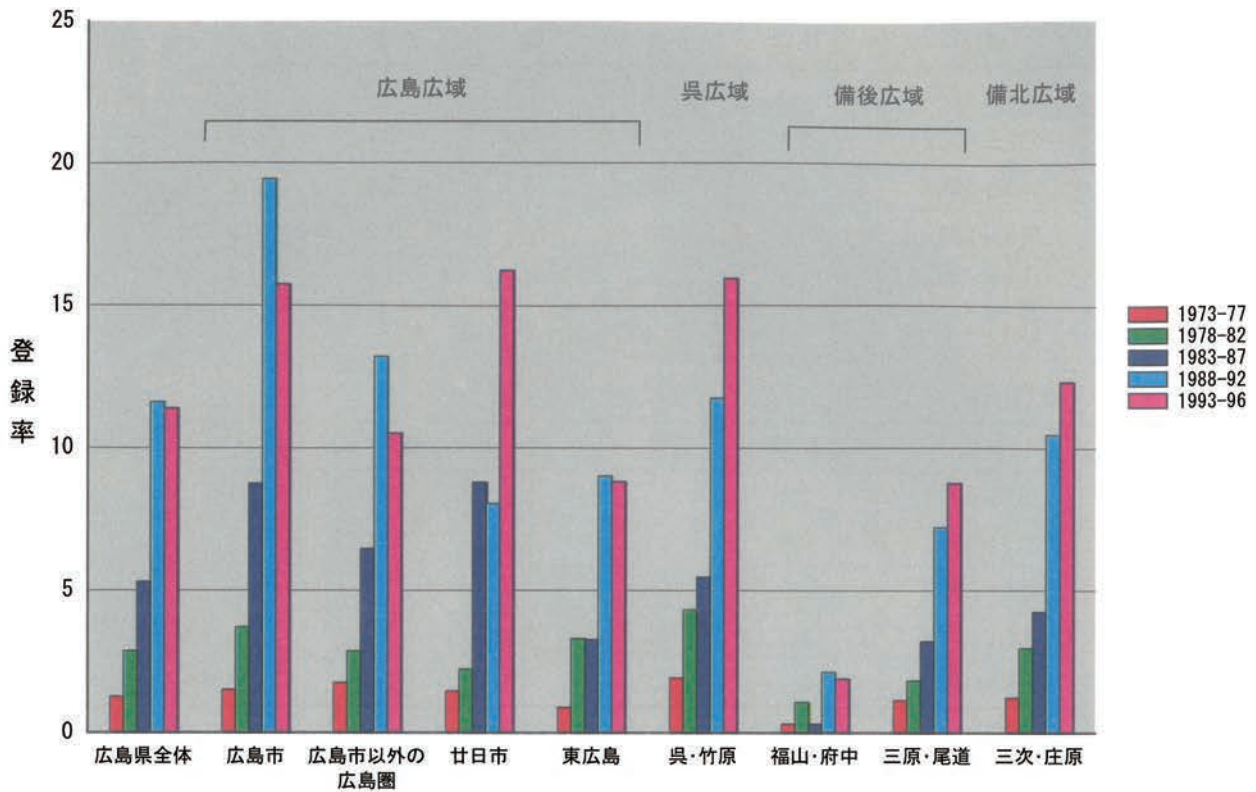
年度	広島県	広島	呉	備後	備北
1973-1977	1.3	1.6	2.0	0.7	1.2
1978-1982	2.9	3.5	4.4	1.4	2.9
1983-1987	5.5	8.2	5.7	1.5	4.4
1988-1992	11.7	16.5	12.2	4.2	10.5
1993-1996	11.5	14.3	16.2	4.8	12.7

(女性)

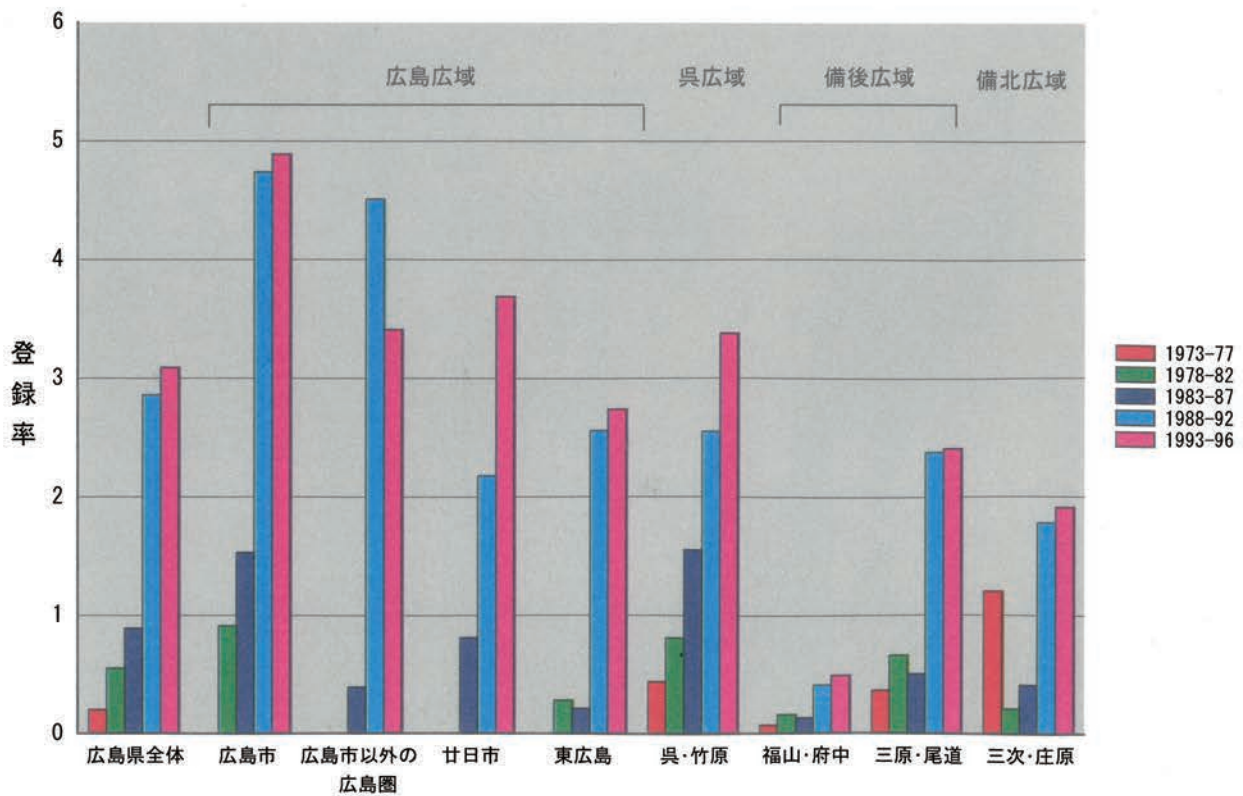
年度	広島県	広島	呉	備後	備北
1973-1977	0.3	0.1	0.6	0.2	0.9
1978-1982	0.6	0.7	0.9	0.4	0.3
1983-1987	1.0	1.3	1.7	0.3	0.5
1988-1992	3.3	4.9	2.9	1.4	2.0
1993-1996	3.7	5.2	4.0	1.5	2.2

(10) 肝細胞癌の二次医療圏別登録率の推移

(男性、1996年)



(女性、1996年)



(10) 肝細胞癌の二次医療圏別登録率の推移

(男性)

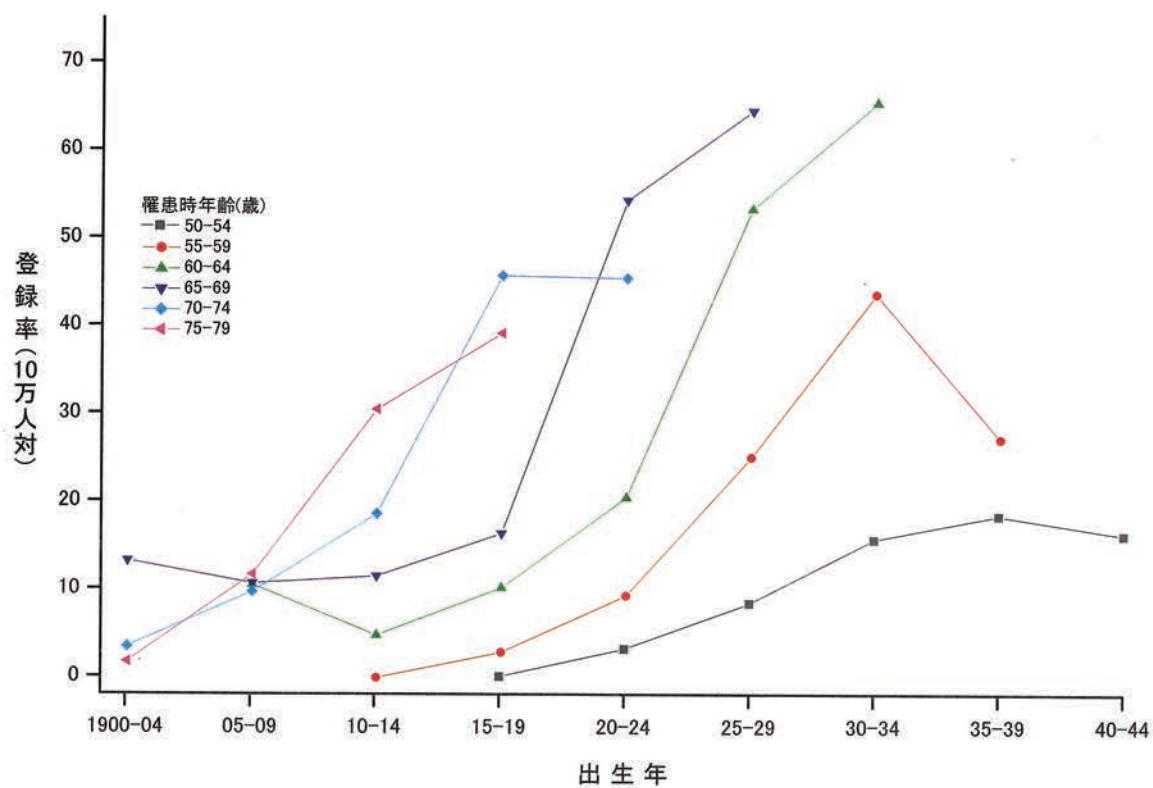
		1973-1977	1978-1982	1983-1987	1988-1992	1993-1996
	広島県全体	1.27	2.87	5.30	11.61	11.40
広島広域	広島市	1.51	3.71	8.76	19.43	15.74
	広島市以外の広島圏	1.76	2.87	6.46	13.22	10.52
	廿日市	1.47	2.23	8.79	8.04	16.24
	東広島	0.89	3.31	3.27	9.02	8.83
呉広域	呉・竹原	1.93	4.33	5.47	11.75	15.96
備後広域	福山・府中	0.31	1.07	0.31	2.13	1.90
	三原・尾道	1.14	1.83	3.21	7.21	8.77
備北広域	三次・庄原	1.23	2.97	4.25	10.48	12.35

(女性)

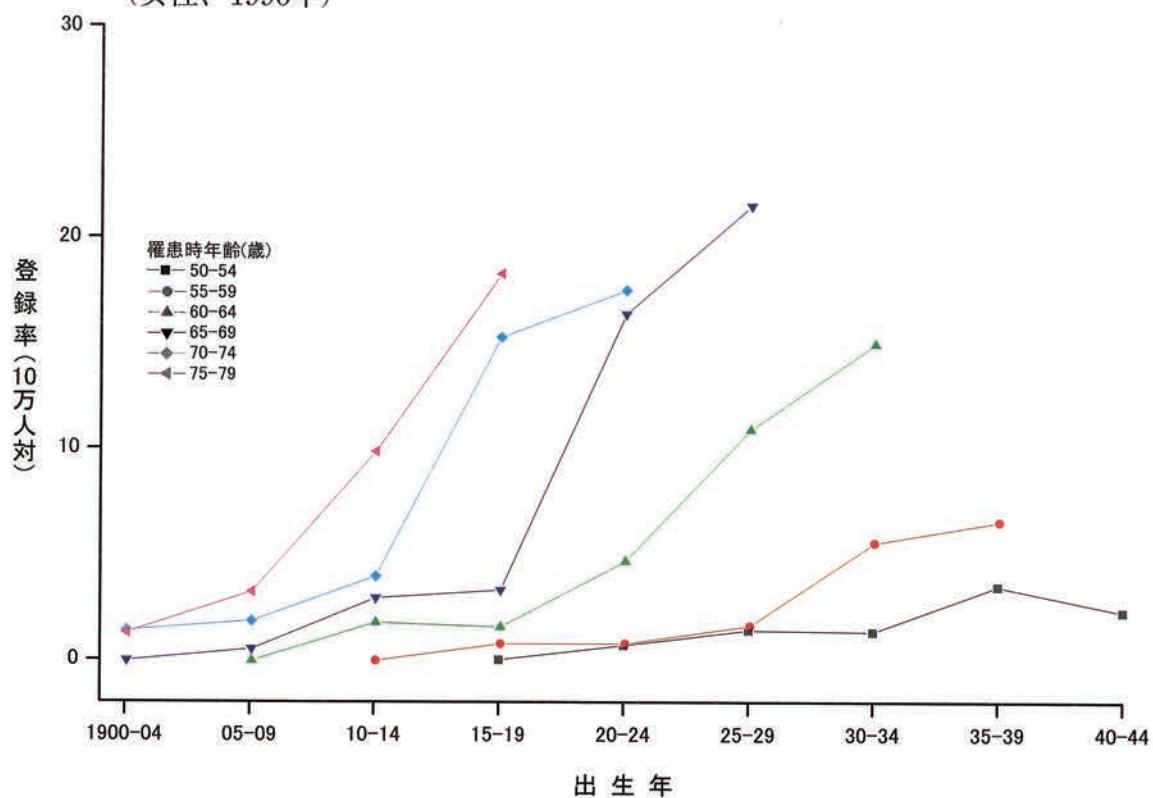
		1973-1977	1978-1982	1983-1987	1988-1992	1993-1996
	広島県全体	0.20	0.55	0.89	2.86	3.09
広島広域	広島市	0.00	0.91	1.53	4.74	4.89
	広島市以外の広島圏	0.00	0.00	0.39	4.51	3.41
	廿日市	0.00	0.00	0.81	2.18	3.69
	東広島	0.00	0.28	0.21	2.56	2.74
呉広域	呉・竹原	0.44	0.81	1.55	2.55	3.38
備後広域	福山・府中	0.07	0.16	0.13	0.41	0.49
	三原・尾道	0.36	0.66	0.50	2.38	2.41
備北広域	三次・庄原	1.20	0.21	0.41	1.78	1.91

(11) 肝細胞癌の出生コホート別登録率、広島県全域

(男性、1996年)



(女性、1996年)



(11) 肝細胞癌の出生コホート別登録率、広島県全域

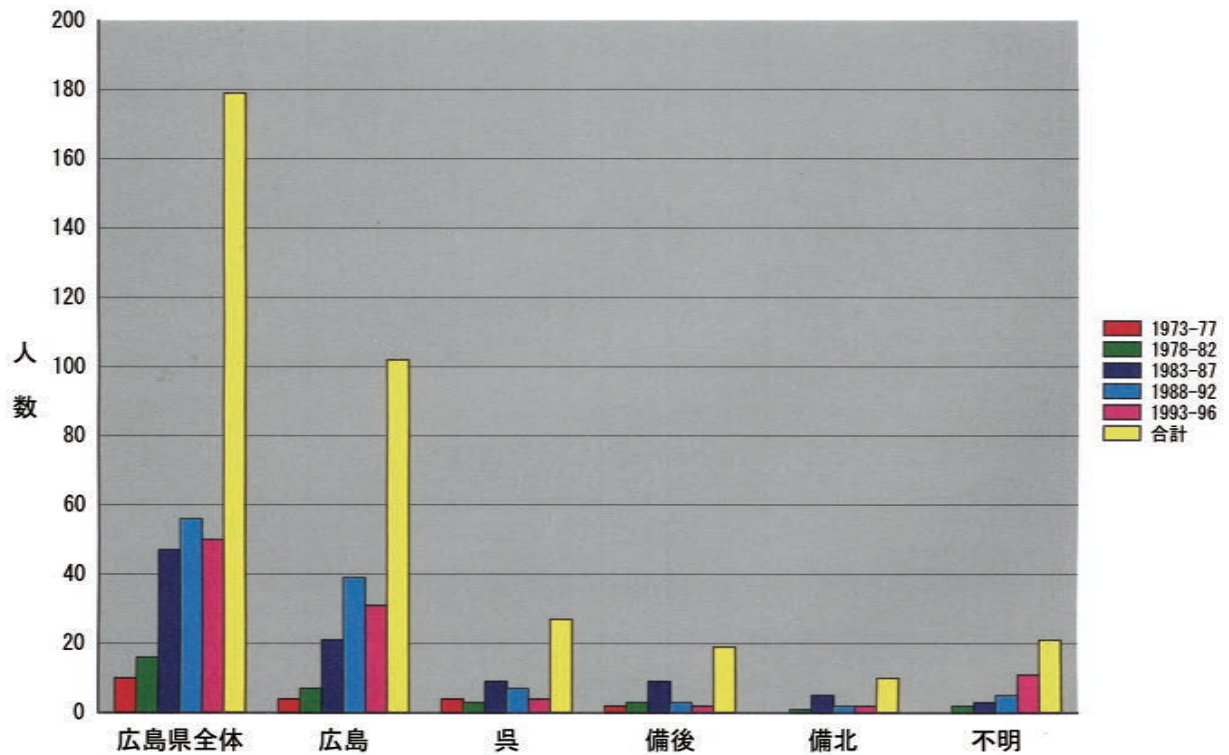
(男性)

年齢 出生年	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79
1900-04				13.4	3.6	1.8
05-09			10.6	10.8	9.8	11.8
10-14		0.0	4.9	11.6	18.7	30.6
15-19	0.0	2.9	10.3	16.5	45.9	39.3
20-24	3.2	9.4	20.6	54.5	45.6	
25-29	8.4	25.2	53.5	64.7		
30-34	15.7	43.8	65.7			
35-39	18.4	27.3				
40-44	16.2					

(女性)

年齢 出生年	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79
1900-04				0.0	1.4	1.3
05-09			0.0	0.6	1.9	3.3
10-14		0.0	1.8	3.0	4.0	9.9
15-19	0.0	0.8	1.6	3.3	15.3	18.3
20-24	0.7	0.8	4.7	16.4	17.6	
25-29	1.4	1.7	11.0	21.6		
30-34	1.3	5.6	15.0			
35-39	3.5	6.6				
40-44	2.3					

(12) 肝血管腫の広域医療圏別登録数の推移



(12) 肝血管腫の広域医療圏別登録数の推移

医療圏	1973-77	1978-82	1983-87	1988-92	1993-96	合計
広島	4	7	21	39	31	102
呉	4	3	9	7	4	27
備後	2	3	9	3	2	19
備北	0	1	5	2	2	10
不明	0	2	3	5	11	21
計	10	16	47	56	50	179

特定臓器解析の歴史と特定臓器ごとのサマリー

| 乳腺

| 肝臓

| 胃

| 肺

| 大腸

グラフで見る1973～1997年の胃腫瘍

広島県腫瘍登録（1973—1997）における胃腫瘍の解析結果のまとめ

1. 新規に登録された胃腫瘍の組織型別の割合の年次推移

1973年～1997年の間に新規に登録された胃腫瘍は、胃腺腫を除くと46,483例である。これを組織型別に5年毎の年代別にみると、いずれの年代でも腺癌の占める割合が90%をこえ圧倒的に多いが、次第にその割合は減少しており、かわって悪性リンパ腫、平滑筋肉腫、平滑筋腫などの増加を認める。

2. 胃腺腫の登録数の年次推移と男女別年齢別割合

上記1の胃腫瘍の組織型別の割合から腺腫を除いた理由は、1990年頃より以前は、腺腫はATP（異型上皮）ともよばれ腸上皮化生などの非腫瘍性病変との区別が難しいことから、腫瘍と扱われなかった。そのために、この腫瘍登録においてみられる腺腫の登録数の増加は、実際の症例数の増加を反映するものではなく、腫瘍としての概念の定着に伴って登録される例が多くなったことによると考えられる。従って、上記1の組織型別割合にこれを含めることには問題があると考え、敢えてこれを除いたものである。

登録された腺腫は8,105例であり、その男女別年齢別割合をみると、男性では60歳代、女性では70歳代に最も多く、総数では70歳代に最も多い。

3. 胃腺癌の登録数の推移と全登録例の年齢層別（10歳毎）の分布

腺癌の登録数は経年的に増加しているが、これは腫瘍登録数全体の増加などを反映している可能性があり、実態は人口10万人当りの登録数（登録率）でみる必要がある。年齢層別にみると、登録数としては、男性は60歳代に最多で、女性は70歳代が最多である。男女合計では最多な年齢層は60歳代である。

4. 胃腺癌の人口10万人当りの登録数（登録率）の推移

(1) 男女別、年代別（5年毎）、年齢層別（10歳毎）にみた腺癌の登録率の推移

- 1) 男女別に登録率を比較すると、年代、年齢層を問わず、女性の登録率は男性の約1/2から1/3である。
- 2) 男性では、年代別にみると登録率は漸増している。年齢層別にみると、1973年～1987年の間では、30歳代から70歳代まで登録率は漸増し、70歳代で登録率は最多となり、80歳以上で減少するが、1988年～1997年では、80歳以上の登録率が最多である。
- 3) 女性では年代別、年齢層別の登録率の推移は男性とほぼ同様である。すなわち、年代別にみると登録率は漸増している。年齢層別にみると、1973

年～1992年の間では、70歳代で登録率が最多であるが、1993年～1997年では80歳以上が最多である。

- (2) 男女別、年代別（5年毎）、年齢層別（10歳毎）にみた分化型腺癌（乳頭状腺癌、管状腺癌）の登録率の推移
 - 1) 男性では、年代別にみると登録率は漸増している。年齢層別にみると、1973年～1992年までは70歳代で登録率は最多であるが、1993年～1997年では80歳代の登録率が最多である。
 - 2) 女性では、年代別にみると登録率は漸増している。年齢層別にみると、1973年～1987年までは70歳代で登録率は最多であるが、1988年～1997年では80歳代の登録率が最多である。
- (3) 男女別、年代別（5年毎）、年齢層別（10歳毎）にみた低分化型腺癌（印環細胞癌を含む）の登録率の推移
 - 1) 分化型腺癌と低分化型腺癌の登録率を比べると、1988年以降、男性では、低分化型は分化型の約1/2から1/3である。女性では、低分化型と高分化型で大きな差異はない。
 - 2) 男性では、年代別にみると登録率は減少傾向にある。年齢層別にみると、全ての年代で70歳代で登録率は最多である。
 - 3) 女性では、年代別にみると男性と同様、登録率は減少傾向にある。1973年～1987年では70歳代で、1988年～1997年では80歳代で登録率は最多である。
- (4) 男女別、年代別（5年毎）、年齢層別（10歳毎）にみた粘液癌の登録率の推移
粘液癌の登録率を年代別（5年毎）にみると、男女とも次第に減少している。
- (5) 胃腺癌の男女別、年代別（5年毎）の医療圏別登録率の推移
男性では備後地区を除くと、医療圏別の登録率の推移に著しい差異はない。女性でも同様である。

5. 胃リンパ腫の登録数と人口10万人あたりの登録数（登録率）の推移

- 1) リンパ腫の登録数は経年的に増加傾向にある。これを、年代別（5年毎）の登録率でみても、値は小さいが増加傾向がある。
- 2) リンパ腫の登録数を年齢層別にみると、男女とも60歳代が最多である。これを登録率でみると、男性では1973年～1977年を除き、80歳代が最多であり、女性では1978年～1992年では70歳代が最多、1993年～1997年では60歳代が最多である。

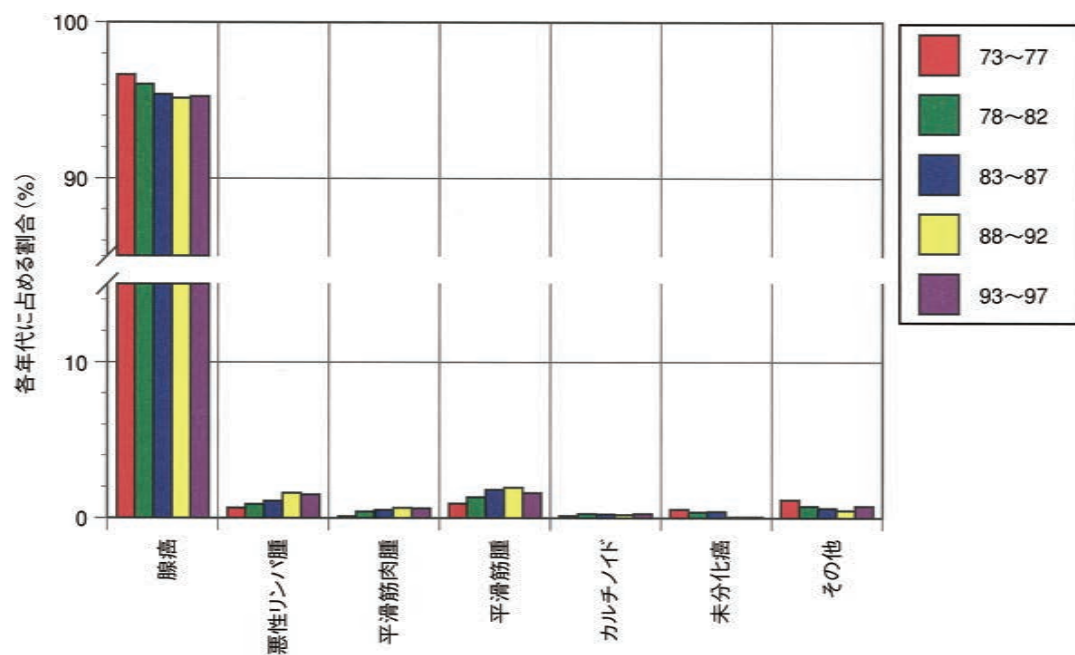
6. 胃平滑筋肉腫の登録数と人口10万人あたりの登録数（登録率）の推移

- 1) 平滑筋肉腫の登録数は年毎に変動が大きい、1984年頃からはほぼ一定の登録数である。これを年代別（5年毎）の登録率でみると、値は小さいが、男

女とも、1983年～1997年の間はほぼ一定の値を示す。

- 2) 平滑筋肉腫の登録例を年齢別にみると、男性では50歳～70歳代がほぼ一率であり、女性では60歳代が最多である。これを登録率でみると、男女とも、1983年から1997年では70歳代が最多である。

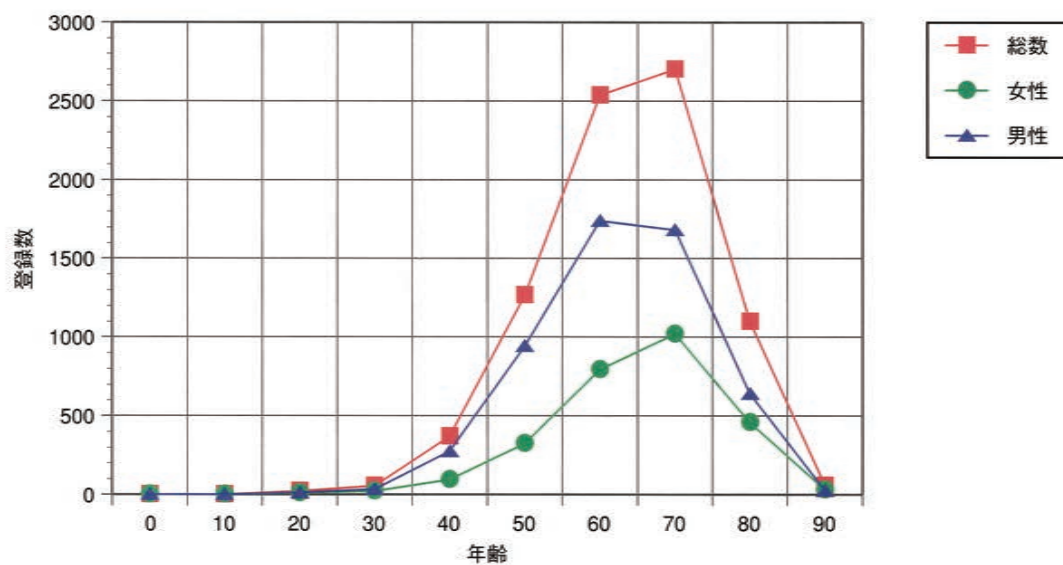
(1) 胃腫瘍の組織型別割合の年代別推移



(1) 胃腫瘍の組織型別割合の年代別推移

年	腺 癌	悪 性 リンパ腫	平滑筋 肉 腫	平滑筋腫	カルチノイド	未分化癌	その他	合 計
73～77	4,528	29	4	42	5	25	50	4,683
78～82	7,121	66	29	97	19	28	50	7,410
83～87	9,083	103	49	170	21	39	48	9,513
88～92	10,760	179	72	217	22	7	48	11,305
93～97	12,930	200	84	218	37	7	96	13,572
合 計	44,422	577	238	744	104	106	292	46,483

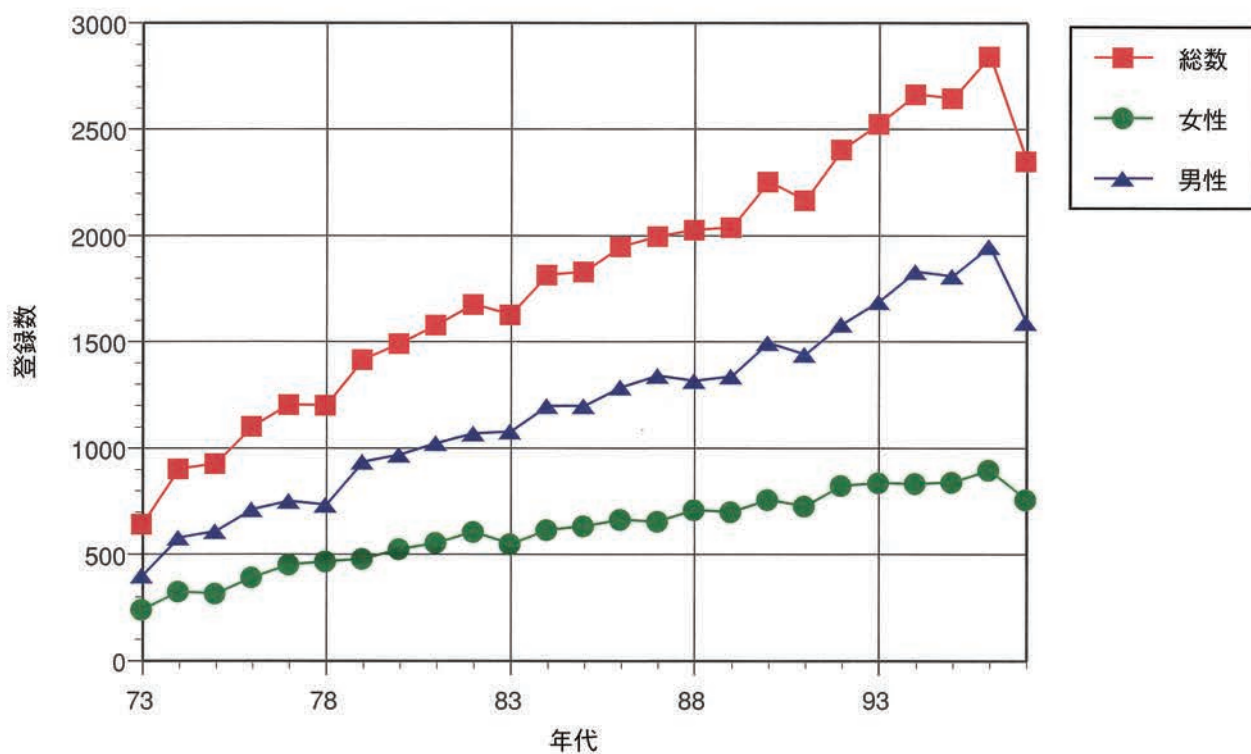
(2) 胃腺腫の年齢層別例数



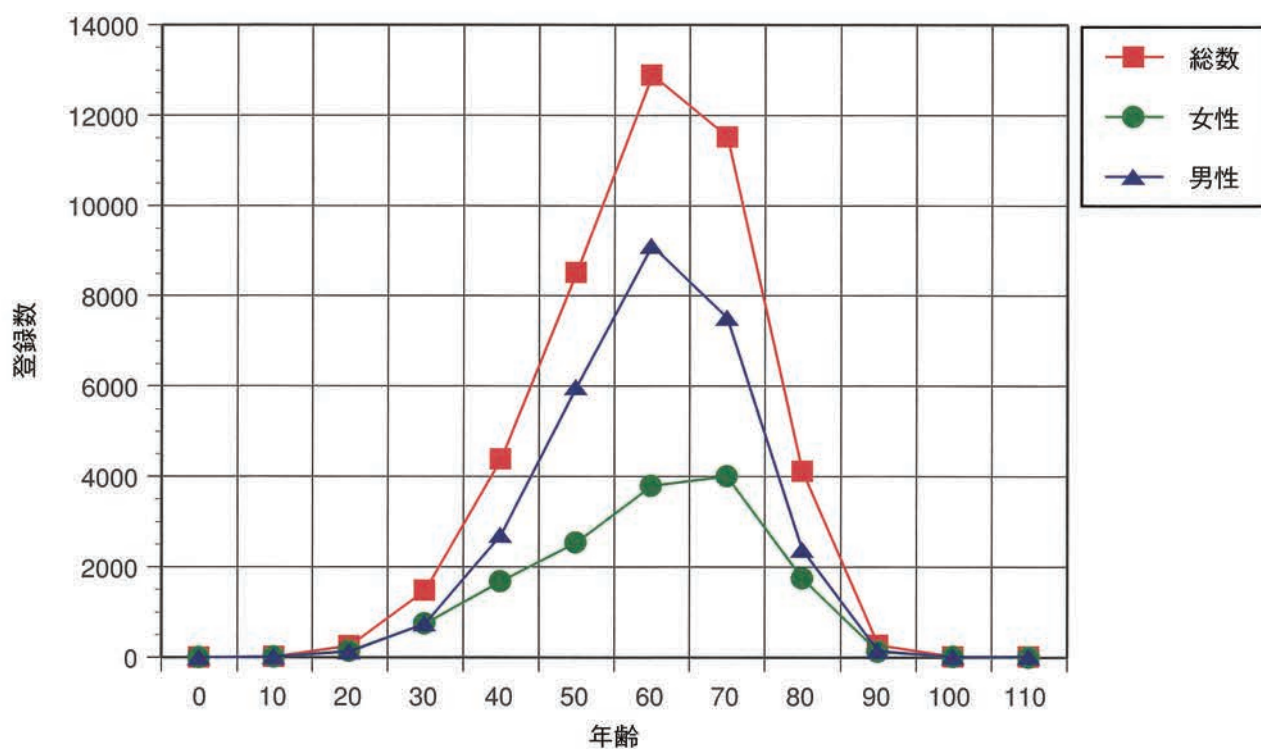
(2) 胃腺腫の年齢層別例数

年 齢	総 数	女 性	男 性
0～	0	0	0
10～	1	0	1
20～	21	10	11
30～	55	20	35
40～	369	95	274
50～	1,266	324	942
60～	2,535	795	1,740
70～	2,700	1,018	1,682
80～	1,100	458	642
90～	58	32	26
計	8,105	2,752	5,353

(3) 胃腺癌の登録数の経年的推移



胃腺癌の登録数の年齢層別分布

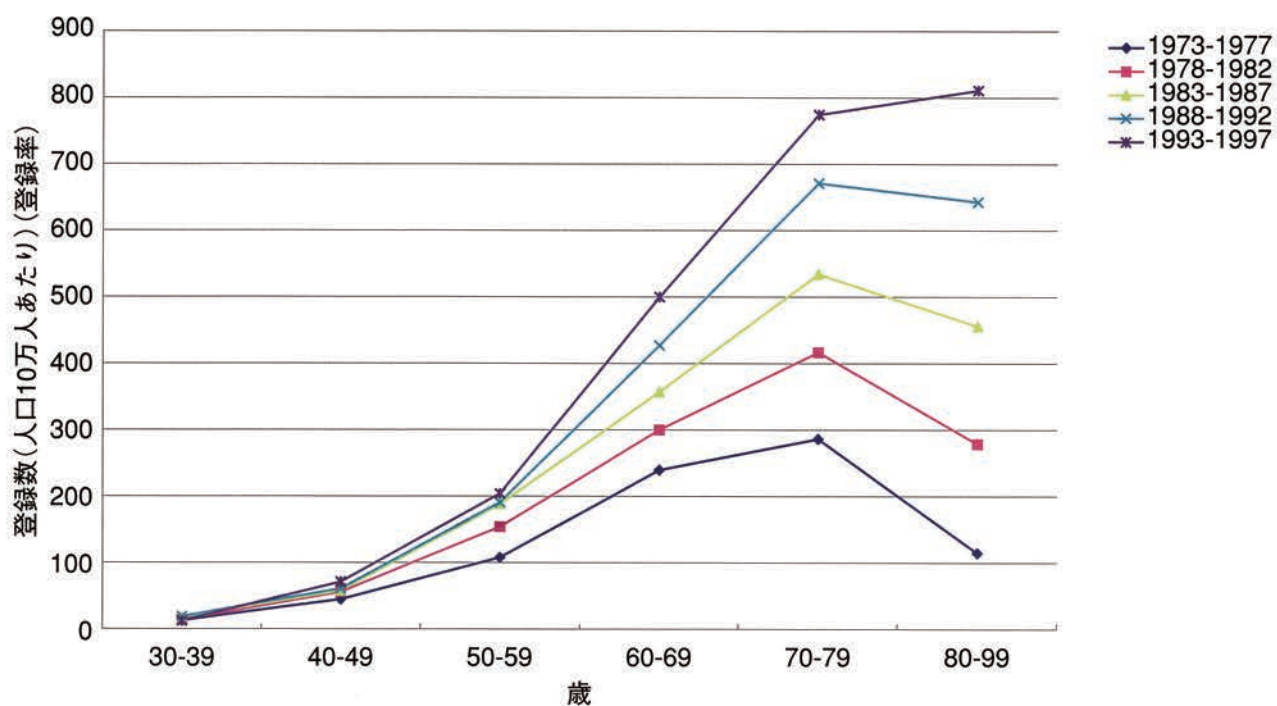


(3) 胃腺癌の登録数の経年的推移

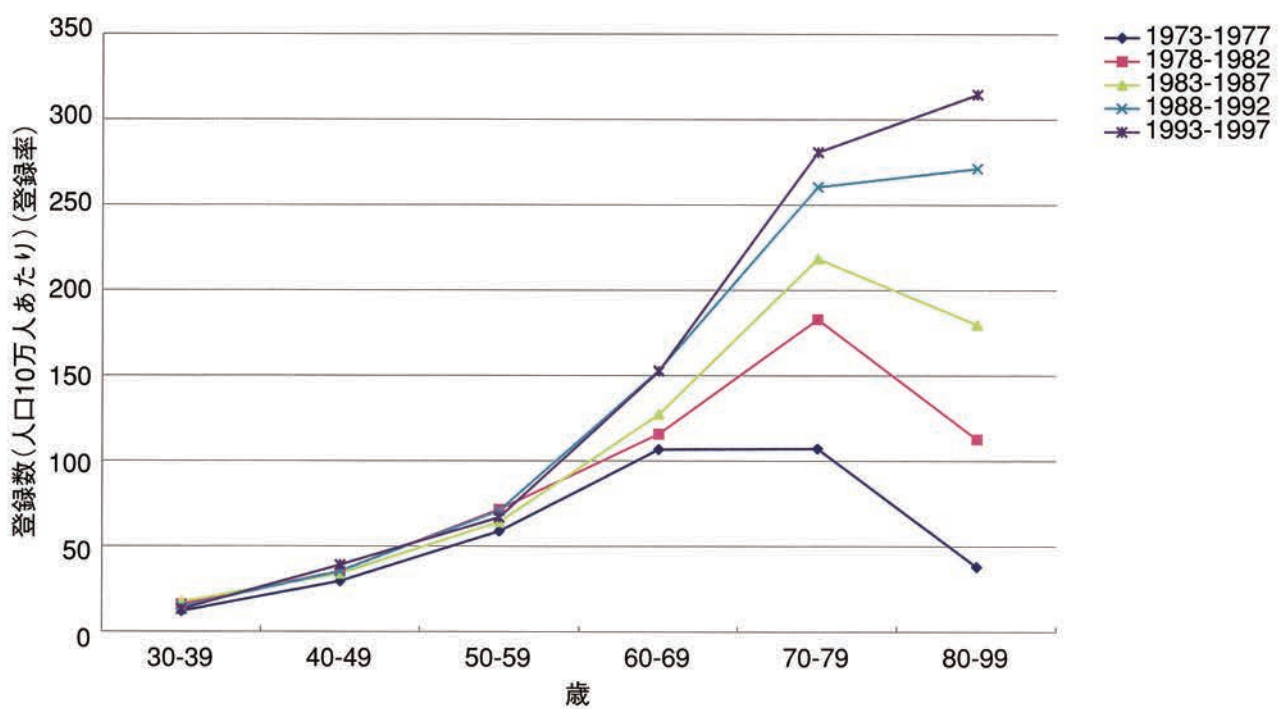
年	症 例 数	女 性	男 性
73	641	239	402
74	903	325	578
75	926	317	609
76	1,102	390	712
77	1,205	453	752
78	1,200	468	732
79	1,415	479	936
80	1,492	523	969
81	1,578	554	1,024
82	1,675	605	1,070
83	1,627	550	1,077
84	1,814	616	1,198
85	1,831	632	1,199
86	1,949	663	1,286
87	1,997	655	1,342
88	2,026	710	1,316
89	2,038	701	1,337
90	2,252	756	1,496
91	2,166	727	1,439
92	2,404	823	1,581
93	2,526	837	1,689
94	2,663	832	1,831
95	2,646	838	1,808
96	2,844	895	1,949
97	2,349	757	1,592

(4) 胃腺癌の年齢別登録数（人口10万人あたり）

(男性)



(女性)



(4) 胃腺癌の年齢別登録数と登録率

胃腺癌の登録数（男性）

年齢層 年代	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-99	計
1973-1977	0	1	39	134	400	654	1,055	701	78	3,062
1978-1982	0	1	36	161	518	1,124	1,426	1,162	251	4,679
1983-1987	0	0	24	202	584	1,563	1,914	1,728	519	6,534
1988-1992	0	0	18	179	693	1,657	2,770	2,418	910	8,645
1993-1997	0	4	18	110	794	1,943	3,699	3,211	1,433	11,212

胃腺癌の登録数（女性）

年齢層 年代	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-99	計
1973-1977	0	0	37	125	272	422	566	340	44	1,806
1978-1982	0	2	35	186	334	587	690	690	171	2,695
1983-1987	0	1	25	198	345	572	863	982	360	3,346
1988-1992	0	2	28	139	401	647	1,191	1,345	710	4,463
1993-1997	0	1	19	117	432	657	1,295	1,681	1,081	5,283

胃腺癌の人口10万人あたりの登録数（登録率）（男性）

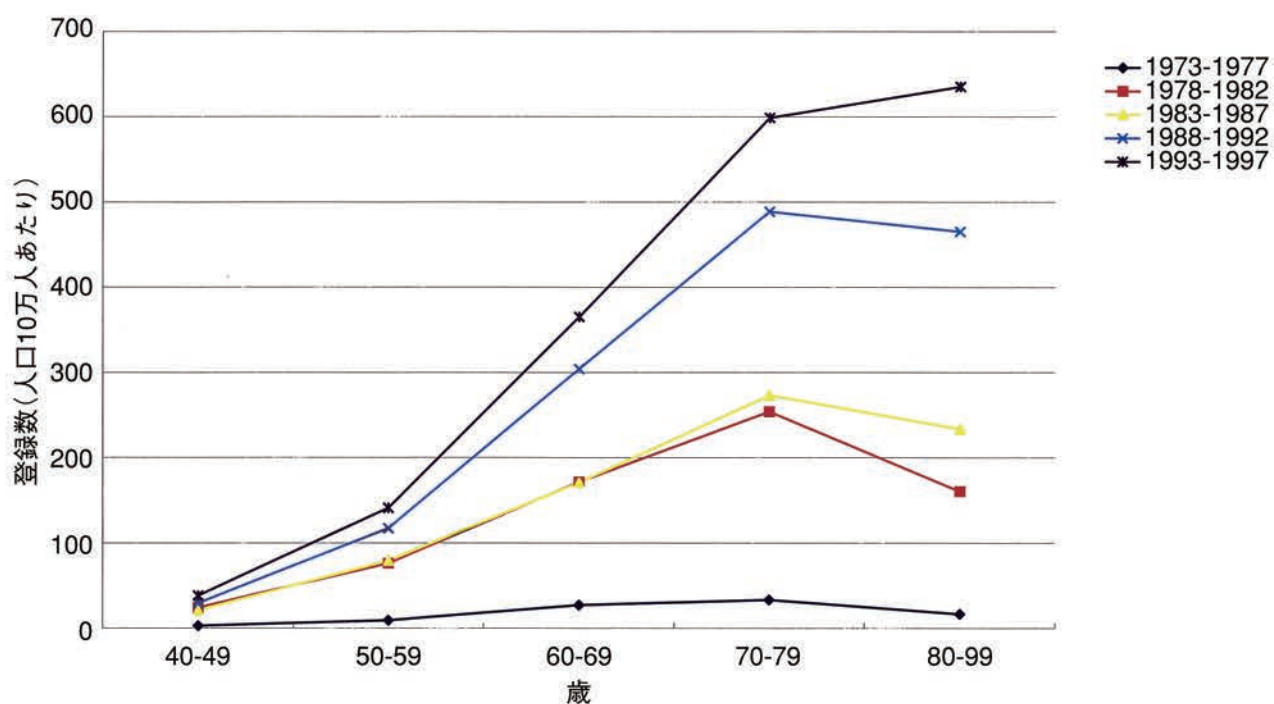
年齢層 年代	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-99	年齢調整率
1973-1977	0.00	0.11	3.56	12.97	44.84	107.83	239.73	286.41	114.75	58.20
1978-1982	0.00	0.10	3.93	13.84	55.90	154.17	300.06	416.95	279.13	79.98
1983-1987	0.00	0.00	2.85	17.85	58.25	188.38	357.46	534.62	456.25	98.62
1988-1992	0.00	0.00	2.07	18.74	61.00	190.79	427.19	671.20	643.09	115.29
1993-1997	0.00	0.42	1.82	12.54	71.15	204.32	500.21	774.64	811.30	131.74

胃腺癌の人口10万人あたりの登録数（登録率）（女性）

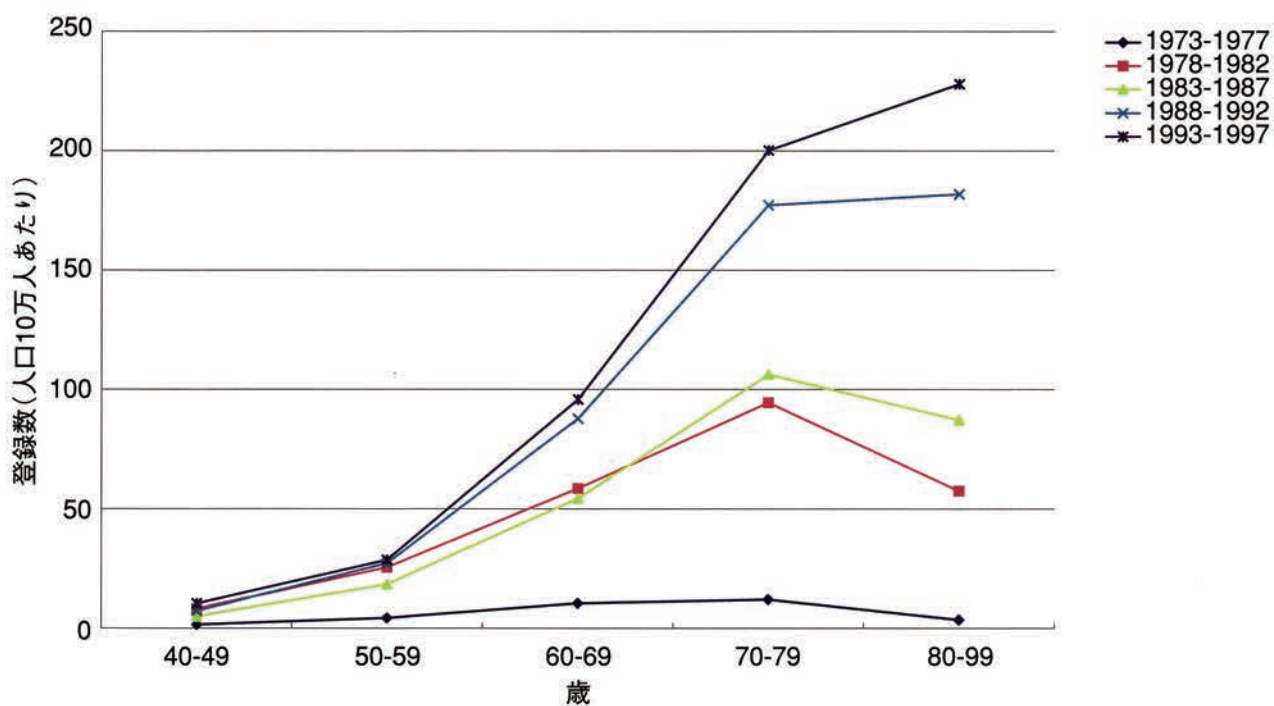
年齢層 年代	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-99	年齢調整率
1973-1977	0.00	0.00	3.32	12.07	29.60	58.76	106.70	107.23	38.11	28.61
1978-1982	0.00	0.21	3.69	16.04	35.38	71.61	115.77	182.98	112.72	37.53
1983-1987	0.00	0.09	2.84	17.60	34.10	64.32	127.34	218.44	179.91	40.53
1988-1992	0.00	0.19	3.07	14.48	35.40	70.82	153.02	260.42	271.25	46.91
1993-1997	0.00	0.11	1.88	13.17	39.11	66.89	152.59	280.85	314.61	48.38

(5) 胃分化型腺癌の年齢別登録数（人口10万人あたり）

(男性)



(女性)



(5) 胃分化型腺癌の年齢別登録数と登録率（人口10万人あたり）

胃分化型腺癌の登録数（男性）

年齢層 年代	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-99	計
1973-1977	0	0	0	7	24	54	118	81	11	295
1978-1982	0	0	11	38	221	553	814	707	144	2,488
1983-1987	0	0	2	34	208	654	914	882	265	2,959
1988-1992	0	0	8	47	332	1,016	1,971	1,760	658	5,792
1993-1997	0	2	8	46	423	1,340	2,699	2,482	1,122	8,122

胃分化型腺癌の登録数（女性）

年齢層 年代	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-99	計
1973-1977	0	0	1	4	13	30	55	38	4	145
1978-1982	0	0	9	26	76	208	348	356	87	1,110
1983-1987	0	0	3	16	49	162	367	477	174	1,248
1988-1992	0	1	4	25	82	248	683	915	476	2,434
1993-1997	0	0	7	20	114	280	812	1,198	783	3,214

胃分化型腺癌の人口10万人あたりの登録数（登録率）（男性）

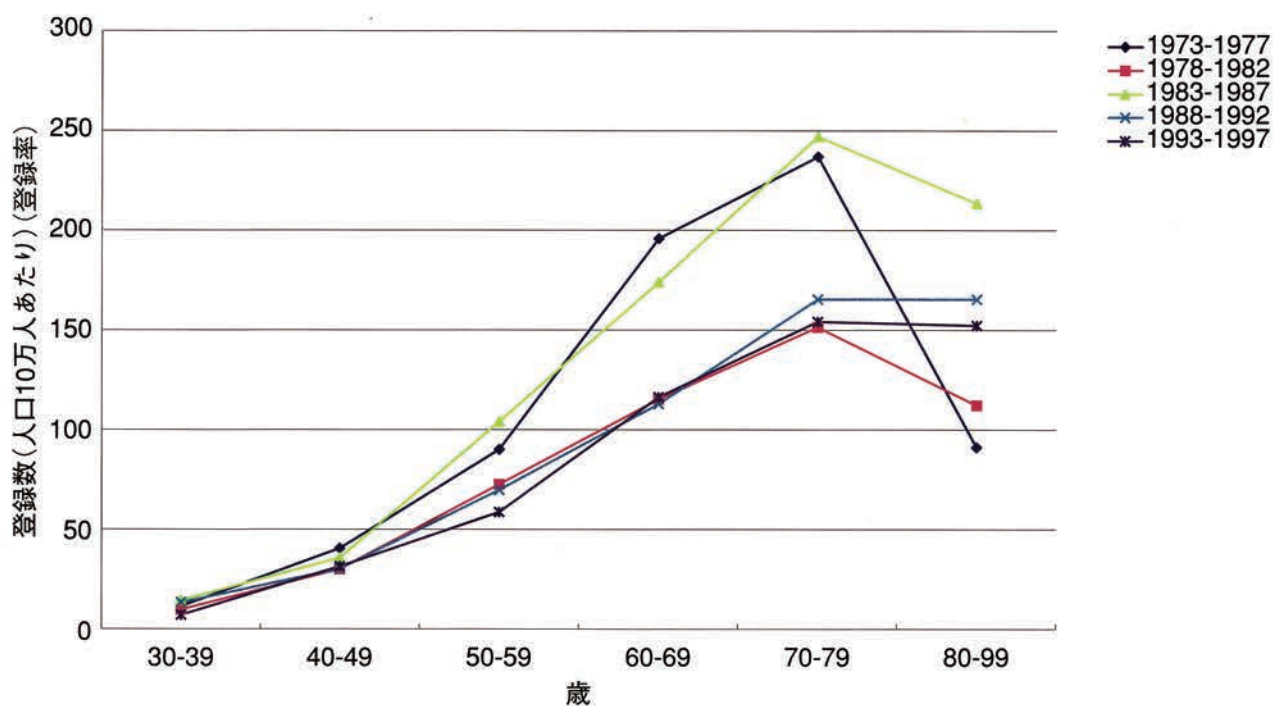
年齢層 年代	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-99	年齢調整率
1973-1977	0.00	0.00	0.00	0.68	2.69	8.90	26.81	33.09	16.18	5.72
1978-1982	0.00	0.00	1.20	3.27	23.85	75.85	171.28	253.69	160.14	42.92
1983-1987	0.00	0.00	0.24	3.00	20.75	78.82	170.70	272.88	232.96	44.85
1988-1992	0.00	0.00	0.92	4.92	29.22	116.98	303.97	488.55	465.00	76.99
1993-1997	0.00	0.21	0.81	5.24	37.90	140.91	364.98	598.77	635.22	94.81

胃分化型腺癌の人口10万人あたりの登録数（登録率）（女性）

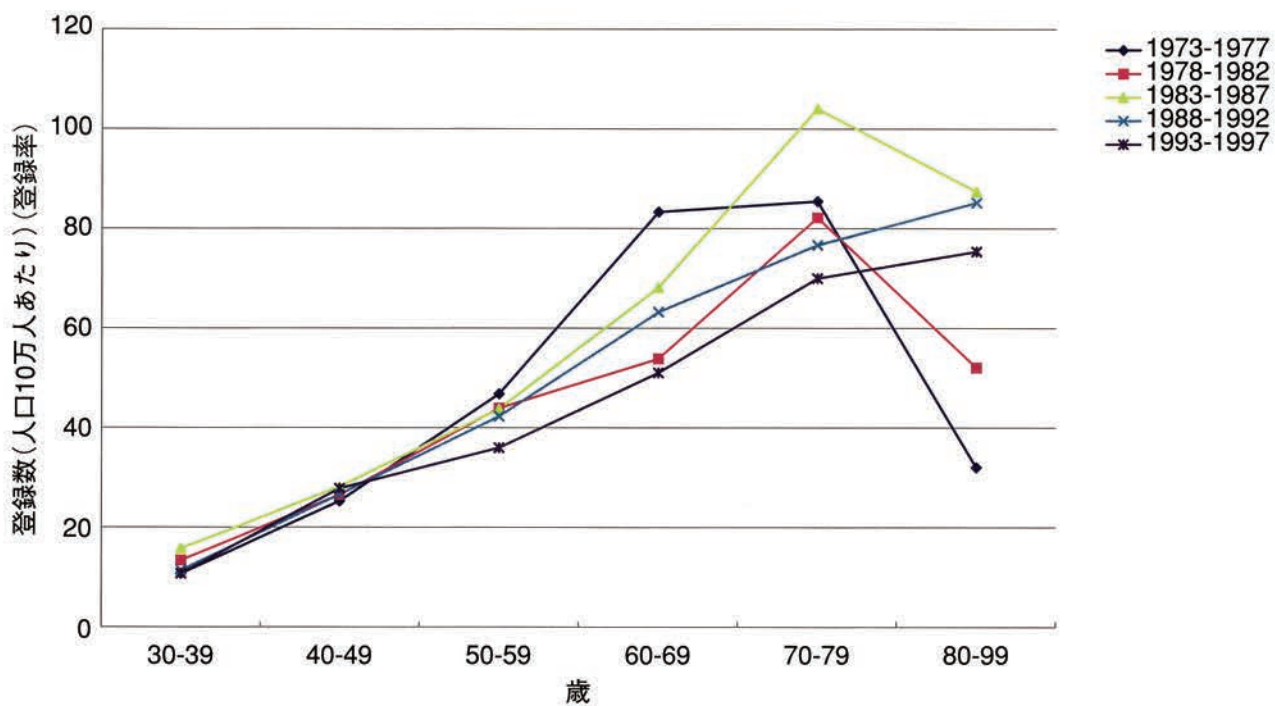
年齢層 年代	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-99	年齢調整率
1973-1977	0.00	0.00	0.09	0.39	1.41	4.18	10.37	11.99	3.46	2.30
1978-1982	0.00	0.00	0.95	2.24	8.05	25.38	58.39	94.41	57.35	15.26
1983-1987	0.00	0.00	0.34	1.42	4.84	18.22	54.15	106.11	86.95	14.48
1988-1992	0.00	0.10	0.44	2.60	7.24	27.15	87.75	177.16	181.86	24.13
1993-1997	0.00	0.00	0.69	2.25	10.32	28.51	95.68	200.15	227.88	27.35

(6) 胃低分化型腺癌の年齢別登録数（人口10万人あたり）

(男性)



(女性)



(6) 胃低分化型腺癌の年齢別登録数と登録率（人口10万人あたり）

胃低分化型腺癌の登録数（男性）

年齢層 年代	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-99	計
1973-1977	0	0	34	118	361	546	862	580	62	2,563
1978-1982	0	1	25	114	279	529	548	422	101	2,019
1983-1987	0	0	21	165	358	864	932	799	243	3,382
1988-1992	0	0	10	127	343	606	732	596	234	2,648
1993-1997	0	2	10	62	351	558	860	639	269	2,751

胃低分化型腺癌の登録数（女性）

年齢層 年代	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-99	計
1973-1977	0	0	33	111	232	336	442	271	37	1,462
1978-1982	0	2	26	155	250	360	321	310	79	1,503
1983-1987	0	1	22	177	285	389	462	468	175	1,979
1988-1992	0	1	24	109	301	386	492	396	223	1,932
1993-1997	0	1	12	95	307	353	433	419	259	1,879

胃低分化型腺癌の人口10万人あたりの登録数（登録率）（男性）

年齢層 年代	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-99	年齢調整率
1973-1977	0.00	0.00	3.10	11.42	40.46	90.02	195.88	236.97	91.21	48.60
1978-1982	0.00	0.10	2.73	9.80	30.11	72.56	115.31	151.42	112.32	34.14
1983-1987	0.00	0.00	2.49	14.58	35.71	104.13	174.06	247.20	213.62	50.85
1988-1992	0.00	0.00	1.15	13.29	30.19	69.78	112.89	165.44	165.37	35.56
1993-1997	0.00	0.21	1.01	7.07	31.45	58.68	116.30	154.16	152.30	32.99

胃低分化型腺癌の人口10万人あたりの登録数（登録率）（女性）

年齢層 年代	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-99	年齢調整率
1973-1977	0.00	0.00	2.96	10.71	25.25	46.78	83.33	85.47	32.04	23.14
1978-1982	0.00	0.21	2.74	13.36	26.49	43.92	53.86	82.21	52.08	21.13
1983-1987	0.00	0.09	2.50	15.74	28.17	43.74	68.17	104.11	87.45	24.60
1988-1992	0.00	0.10	2.63	11.35	26.57	42.25	63.21	76.67	85.20	21.72
1993-1997	0.00	0.11	1.19	10.69	27.79	35.94	51.02	70.00	75.38	19.32

(7) 胃粘液癌の登録数と登録率の経年的推移

胃粘液癌の登録数（男性）

年齢層 年代	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-99	計
1973-1977	0	0	4	6	10	30	53	17	4	124
1978-1982	0	0	0	7	16	26	48	28	3	128
1983-1987	0	0	0	1	11	32	37	33	6	120
1988-1992	0	0	0	5	13	16	41	35	9	119
1993-1997	0	0	0	1	8	23	47	24	13	116

胃粘液癌の登録数（女性）

年齢層 年代	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-99	計
1973-1977	0	0	3	8	19	25	33	14	1	103
1978-1982	0	0	0	4	4	10	13	18	2	51
1983-1987	0	0	0	4	7	11	23	19	6	70
1988-1992	0	0	0	5	14	8	6	21	3	57
1993-1997	0	0	0	2	7	12	16	12	13	62

胃粘液癌の人口10万人あたりの登録数（登録率）（男性）

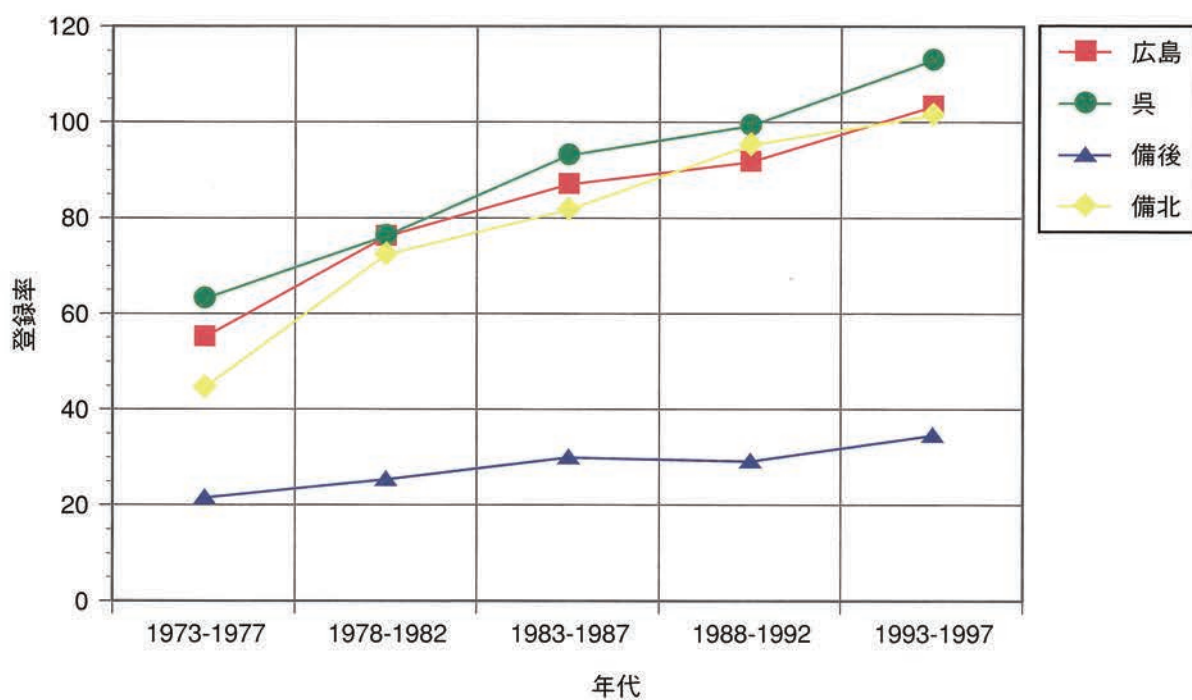
年齢層 年代	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-99	年 齢 調整率
1973-1977	0.00	0.00	0.36	0.58	1.12	4.95	12.04	6.95	5.88	2.35
1978-1982	0.00	0.00	0.00	0.60	1.73	3.57	10.10	10.05	3.34	2.17
1983-1987	0.00	0.00	0.00	0.09	1.10	3.86	6.91	10.21	5.27	1.81
1988-1992	0.00	0.00	0.00	0.52	1.14	1.84	6.32	9.72	6.36	1.59
1993-1997	0.00	0.00	0.00	0.11	0.72	2.42	6.36	5.79	7.36	1.36

胃粘液癌の人口10万人あたりの登録数（登録率）（女性）

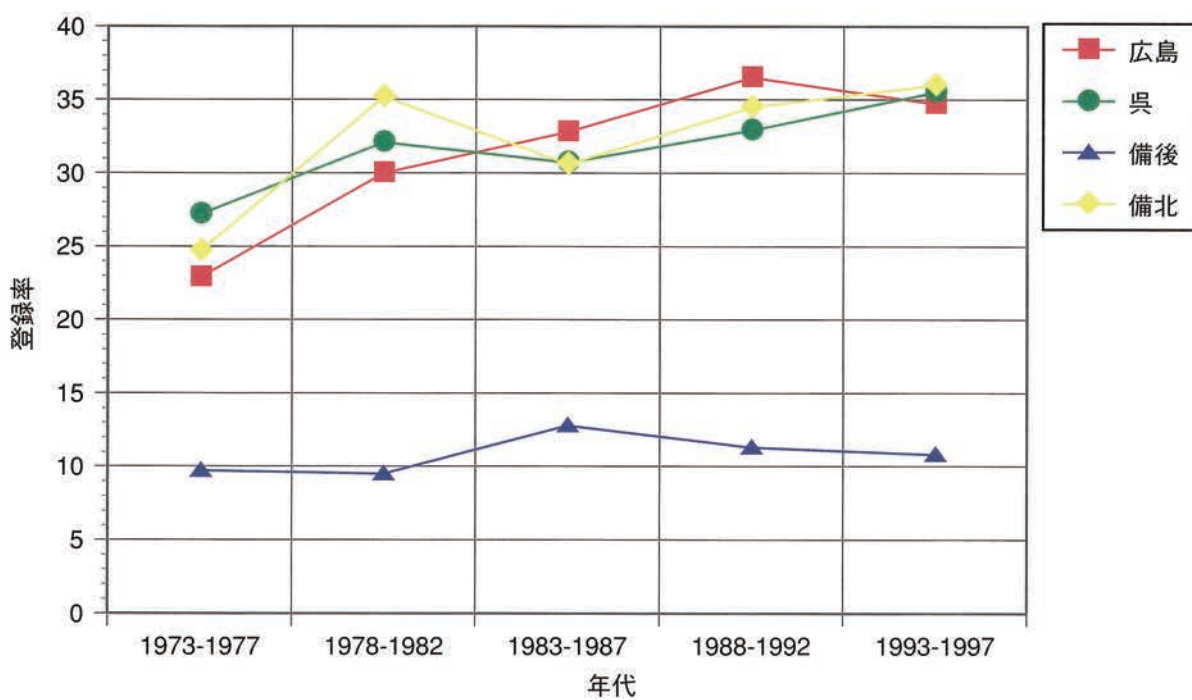
年齢層 年代	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-99	年 齢 調整率
1973-1977	0.00	0.00	0.27	0.77	2.07	3.48	6.22	4.42	0.87	1.63
1978-1982	0.00	0.00	0.00	0.34	0.42	1.22	2.18	4.77	1.32	0.70
1983-1987	0.00	0.00	0.00	0.36	0.69	1.24	3.39	4.23	3.00	0.85
1988-1992	0.00	0.00	0.00	0.52	1.24	0.88	0.77	4.07	1.15	0.65
1993-1997	0.00	0.00	0.00	0.23	0.63	1.22	1.89	2.00	3.78	0.60

(8) 胃腺癌の広域医療圏別登録率の経年的推移

(男性)



(女性)



(8) 胃腺癌の広域医療圏別登録率（人口10万人あたりの登録数）の経年的推移

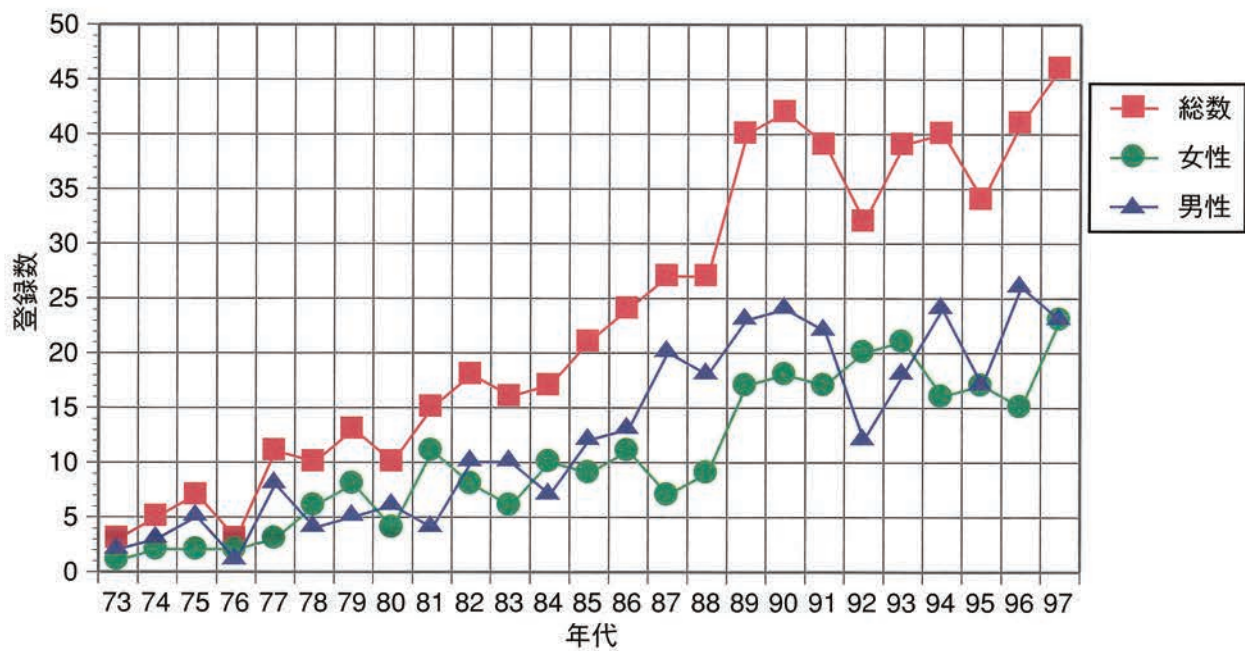
(男性)

医療圏 年 代	広 島	呉	備 後	備 北
73-77	55.1	63.1	21.5	44.5
78-82	76.0	76.2	25.3	72.3
83-87	86.9	93.0	29.9	81.7
88-92	91.6	99.2	29.1	95.2
93-97	103.3	112.9	34.5	101.4

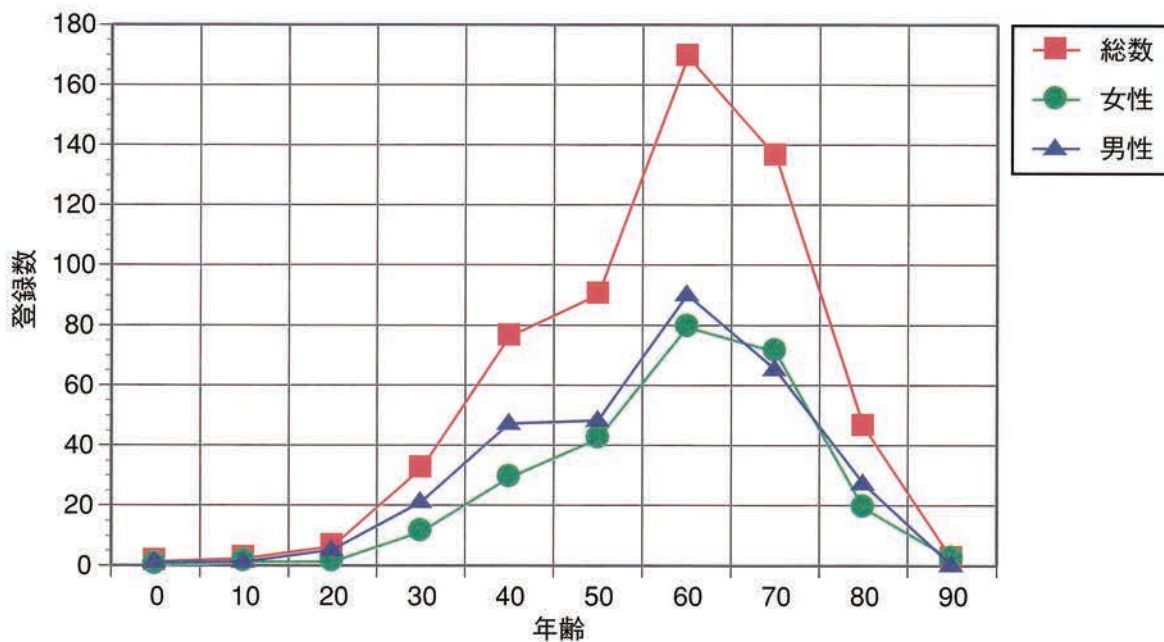
(女性)

医療圏 年 代	広 島	呉	備 後	備 北
73-77	22.9	27.2	9.7	24.7
78-82	30.0	32.1	9.5	35.2
83-87	32.8	30.7	12.8	30.6
88-92	36.5	32.9	11.3	34.5
93-97	34.7	35.5	10.8	36.0

(9) 胃リンパ腫の登録数の経年的推移



胃リンパ腫登録数の年齢層別分布



(9) 胃リンパ腫の登録数および登録率の経年的推移

胃リンパ腫の登録数（男性）

年齢層 年代	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-99	計
1973-1977	0	0	0	2	2	4	7	4	0	19
1978-1982	0	0	0	4	3	8	8	5	2	30
1983-1987	1	1	1	4	5	8	16	15	7	58
1988-1992	0	1	1	4	13	15	32	21	9	96
1993-1997	0	0	3	7	24	14	28	21	9	106

胃リンパ腫の登録数（女性）

年齢層 年代	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-99	計
1973-1977	0	0	0	0	2	2	3	2	1	10
1978-1982	0	0	1	4	1	11	8	10	0	35
1983-1987	0	0	0	2	9	7	10	12	3	43
1988-1992	0	0	0	3	14	8	23	24	6	78
1993-1997	0	1	0	2	4	14	36	25	11	93

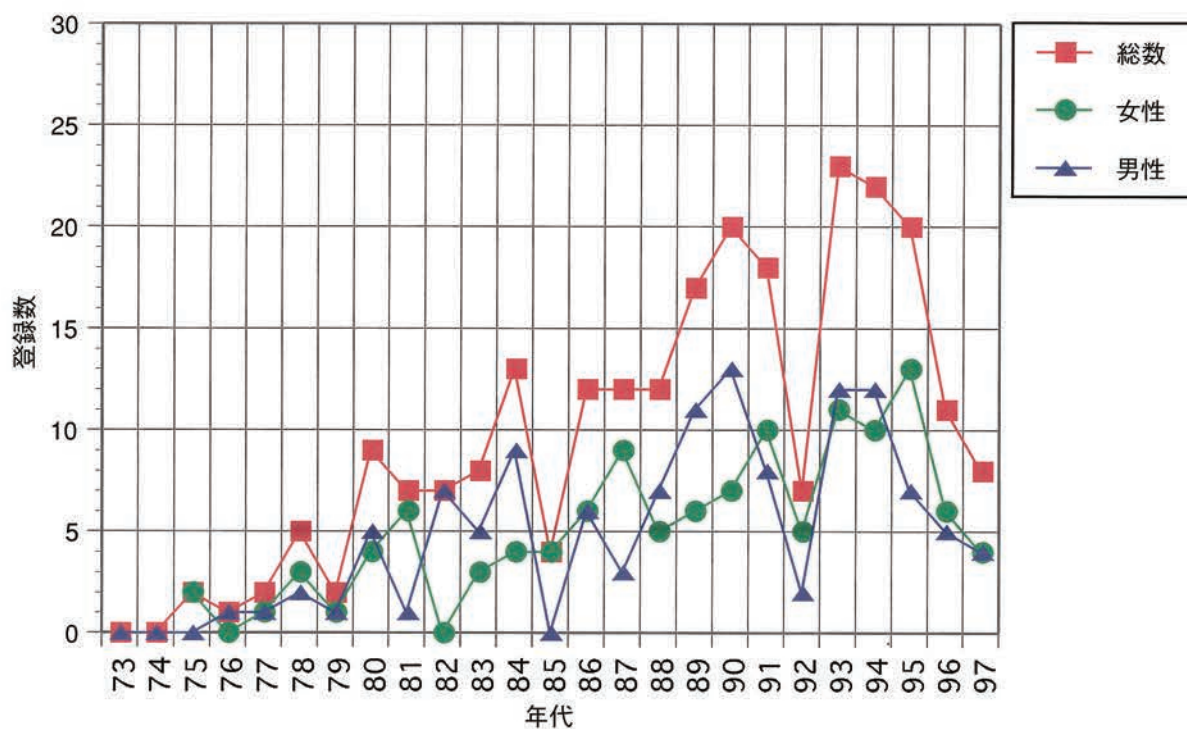
胃リンパ腫の10万人あたりの登録数（登録率）（男性）

年齢層 年代	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-99	年齢調整率
1973-1977	0.00	0.00	0.00	0.19	0.22	0.66	1.59	1.63	0.00	0.35
1978-1982	0.00	0.00	0.00	0.34	0.32	1.10	1.68	1.79	2.22	0.50
1983-1987	0.10	0.09	0.12	0.35	0.50	0.96	2.99	4.64	6.15	0.88
1988-1992	0.00	0.09	0.11	0.42	1.14	1.73	4.94	5.83	6.36	1.28
1993-1997	0.00	0.00	0.30	0.80	2.15	1.47	3.79	5.07	5.10	1.32

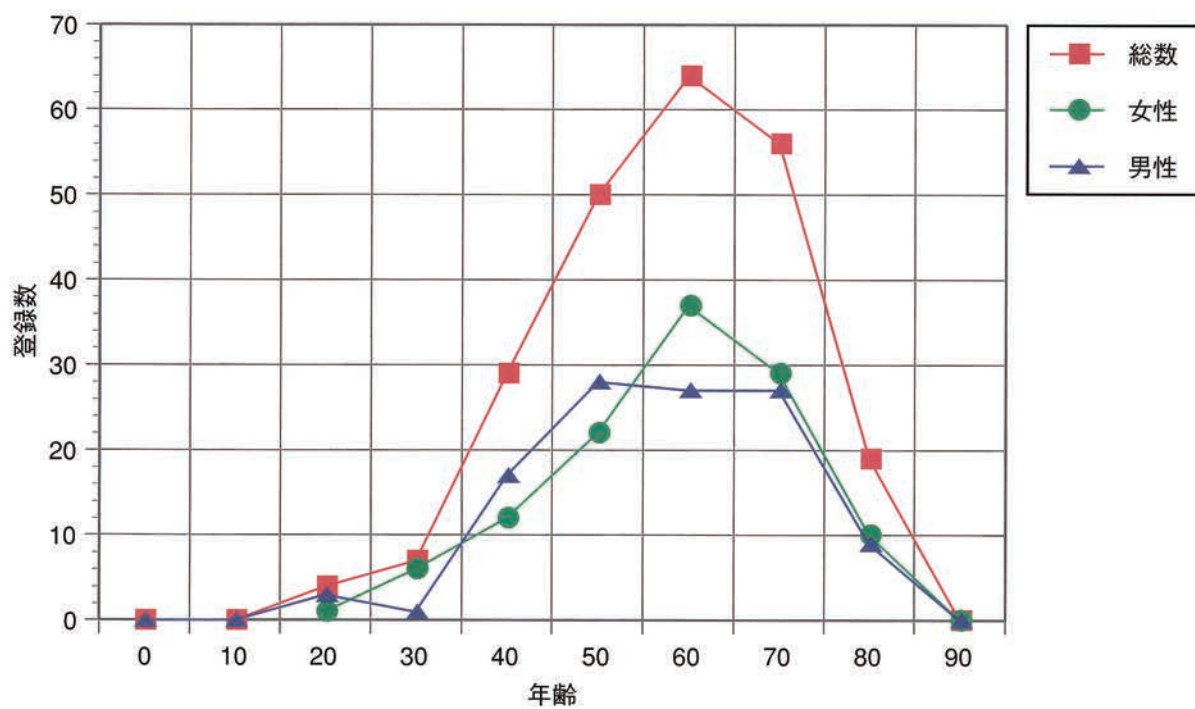
胃リンパ腫の10万人あたりの登録数（登録率）（女性）

年齢層 年代	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-99	年齢調整率
1973-1977	0.00	0.00	0.00	0.00	0.22	0.28	0.57	0.63	0.87	0.16
1978-1982	0.00	0.00	0.11	0.34	0.11	1.34	1.34	2.65	0.00	0.49
1983-1987	0.00	0.00	0.00	0.18	0.89	0.79	1.48	2.67	1.50	0.54
1988-1992	0.00	0.00	0.00	0.31	1.24	0.88	2.96	4.65	2.29	0.85
1993-1997	0.00	0.11	0.00	0.23	0.36	1.43	4.24	4.18	3.20	0.89

(10) 胃平滑筋肉腫の登録数の経年的推移



胃平滑筋肉腫の登録数の年齢層別分布



(10) 胃平滑筋肉腫の登録数および登録率の経年的推移

胃平滑筋肉腫の登録数（男性）

年齢層 年代	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-99	計
1973-1977	0	0	0	0	0	1	2	3	1	7
1978-1982	0	1	0	3	11	16	22	12	3	68
1983-1987	0	0	3	3	12	23	33	32	7	113
1988-1992	0	0	1	4	18	25	49	42	9	148
1993-1997	0	0	1	2	14	36	57	40	15	165

胃平滑筋肉腫の登録数（女性）

年齢層 年代	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-99	計
1973-1977	0	0	0	0	0	2	3	2	0	7
1978-1982	0	0	0	4	5	6	19	9	2	45
1983-1987	0	0	1	6	8	15	25	29	7	91
1988-1992	0	0	1	7	12	25	37	32	16	130
1993-1997	0	0	0	1	11	32	27	45	11	127

胃平滑筋肉腫の10万人あたりの登録数（登録率）（男性）

年齢層 年代	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-99	年齢調整率
1973-1977	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.16	0.45	1.23	1.47	0.14
1978-1982	0.00	0.10	0.00	0.26	1.19	2.19	4.63	4.31	3.34	1.15
1983-1987	0.00	0.00	0.36	0.27	1.20	2.77	6.16	9.90	6.15	1.71
1988-1992	0.00	0.00	0.11	0.42	1.58	2.88	7.56	11.66	6.36	1.98
1993-1997	0.00	0.00	0.10	0.23	1.25	3.79	7.71	9.05	8.47	1.96

胃平滑筋肉腫の10万人あたりの登録数（登録率）（女性）

年齢層 年代	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-99	年齢調整率
1973-1977	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.28	0.57	0.63	0.00	0.11
1978-1982	0.00	0.00	0.00	0.34	0.53	0.73	3.19	2.39	1.32	0.63
1983-1987	0.00	0.00	0.11	0.53	0.79	1.69	3.69	6.45	3.50	1.11
1988-1992	0.00	0.00	0.11	0.73	1.06	2.74	4.75	6.20	6.11	1.42
1993-1997	0.00	0.00	0.00	0.11	1.00	3.26	3.18	7.52	3.20	1.25

特定臓器解析の歴史と特定臓器ごとのサマリー

| 乳腺

| 肝臓

| 胃

| 肺

| 大腸

グラフで見る1973～1998年の肺腫瘍

広島県腫瘍登録における肺腫瘍（1973－1998）の解析結果のまとめ

1. 新規に登録された肺腫瘍数の年次推移（表1、図1）

肺腫瘍の登録数は1973年の登録開始から1998年までに9,743例が登録されている。この内、悪性腫瘍は一貫して増加傾向がみられ、登録開始の1973年と比較して1998年の登録数は10倍以上の増加を示している。この傾向は男女ともに見られるが、男性の増加率が女性より高い傾向がある。良性腫瘍は悪性腫瘍と比較すると極めて登録数が少なく（悪性の1/100以下）、年次的な増減に一定の傾向を認めない。

2. 肺腫瘍の組織型別比率、組織型別男女比、および平均年齢（表2、図2a, 2b, 2c）

登録された全腫瘍の組織型別の比率は、男性では扁平上皮癌（40.3%）、腺癌（33.3%）、小細胞癌（13.3%）の順に高い。女性では腺癌（63.9%）、扁平上皮癌（13.7%）、小細胞癌（9.0%）の順となっているが、特に腺癌の占める割合が、男性例の2倍以上を占める点が特徴的である。

また平均年齢は、扁平上皮癌、小細胞癌、大細胞癌は約68歳、腺癌は約65歳、カルチノイドは約55歳と、組織型による発症年齢に差がある。肺腫瘍の組織型別男女比を見ると、良性腫瘍を除くいずれの組織型でも、男性の登録数の占める割合が高い。その傾向は特に扁平上皮癌、小細胞癌、大細胞癌で顕著であるが、腺癌では、他の組織型と比較すると女性の占める割合が若干高い。

「その他のがん」とした例の内訳を表2aに示す。表2aの如く、「その他のがん」は、悪性リンパ腫（34例）、粘表皮癌（22例）、癌肉腫（13例）、ツモレット（8例）の順の登録数となっている。また良性腫瘍の内訳は表2bに示す。

3. 広域医療圏別の肺腫瘍の年次推移（表3、4、図3、4）

広島・呉・備後・備北の4つの広域医療圏別の年齢調整登録率を見ると、いずれの医療圏でも経年的に登録率が増加していることがわかる。また医療圏の内、呉地区は他の医療圏と比較して登録率が高かったが、1993年から1998年の登録率では、広島地区が呉地区より高くなっている。

備後地区は、この期間、他地区と比較して一貫して低い登録率を示したが、登録症例の捕捉率の問題があるため、他地区の登録率と単純に比較できないと思われる。

4. 広域医療圏別に見た肺腫瘍の組織型別比率（表5、図5）

扁平上皮癌と腺癌が全肺腫瘍に占める割合は、4つの医療圏でほぼ同率（約75%）であるが、備北地区では他地区と比較して扁平上皮癌の占める割合が若干高い傾向がある。小細胞癌は4つの広域医療圏で約12%とほぼ一定している。

5. 組織型別の肺悪性腫瘍の年次推移（表6，図6a，図6b）

肺癌の4大組織型（扁平上皮癌、腺癌、小細胞癌、大細胞癌）の登録率の年次推移は、男性では、扁平上皮癌は1983～1987年をピークとして漸減傾向を示す。腺癌は一貫して増加傾向を示す。小細胞癌は年次ごとに漸増傾向がある。

女性では、腺癌は年次ごとに一貫して増加傾向があるが、増加率は男性と比較すると低い。また扁平上皮癌、小細胞癌、大細胞癌では増減傾向に乏しい。このことから、最近の女性の肺癌の登録率の増加は、腺癌の増加によるところが大きいと考えられる。

6. 組織型別の肺悪性腫瘍の年齢別分布（表7，図7a，図7b）

男性では4つの組織型のいずれにおいても70歳代に登録率のピークを示し、60歳代以降では、扁平上皮癌、腺癌、小細胞癌、大細胞癌の順の登録率は不変である。女性でもいずれの組織型においても70歳代にピークを示す。

図1 肺悪性腫瘍数の年次推移

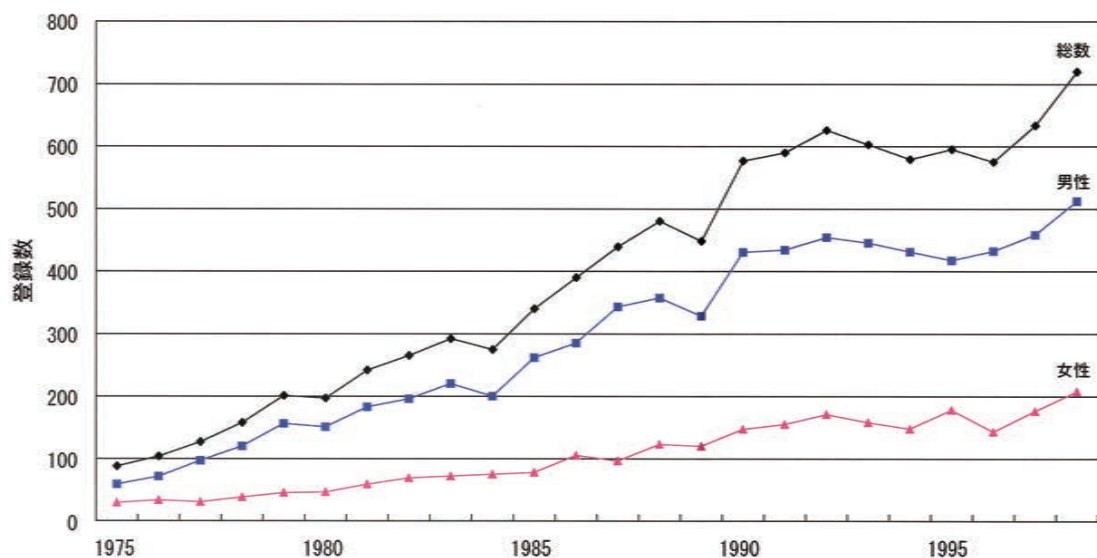


表1 新規登録された肺腫瘍数の年次推移 (1973-1998年)

年 度	肺腫瘍総数			肺悪性腫瘍総数			肺良性腫瘍総数	
	男女	男	女	男	女	性別不詳	男	女
1973	57	16	16	40	16	0	1	0
1974	73	59	14	58	14	0	1	0
1975	90	60	30	59	29	0	1	1
1976	106	73	33	71	33	0	2	0
1977	128	97	31	97	30	0	0	1
1978	164	124	40	120	38	0	4	2
1979	202	156	46	156	45	0	0	1
1980	197	151	46	151	46	0	0	0
1981	242	183	59	183	59	0	0	0
1982	268	197	71	196	69	0	1	2
1983	294	221	73	220	72	0	1	1
1984	276	201	75	200	75	0	1	0
1985	343	264	79	262	78	0	2	1
1986	392	286	106	285	105	0	1	1
1987	443	344	99	343	96	0	1	3
1988	483	359	124	357	123	0	2	1
1989	449	328	121	328	120	0	0	1
1990	578	430	148	430	147	0	0	1
1991	593	434	159	434	155	1	0	3
1992	630	455	175	454	171	1	1	3
1993	606	447	159	445	158	0	2	1
1994	585	433	152	431	148	0	2	4
1995	597	418	179	417	178	0	1	1
1996	582	434	148	432	143	0	2	5
1997	640	461	179	458	176	0	3	3
1998	725	515	210	512	208	0	3	2
計	9,743	7,171	2,570	7139	2532	2	32	38

図 2 a 肺腫瘍の組織型別比率

(男性)

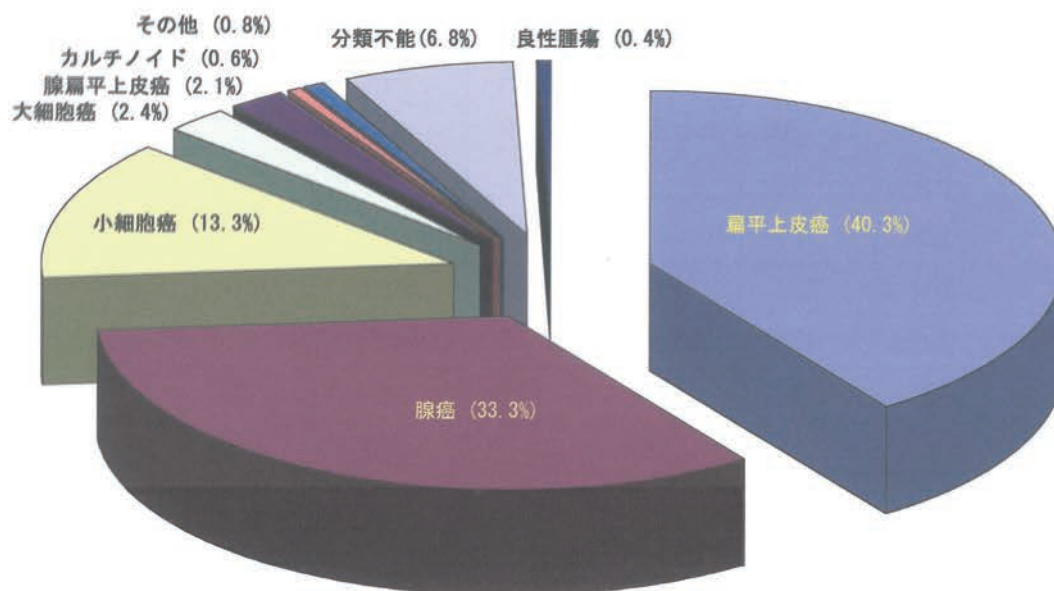


図 2 b 肺腫瘍の組織型別比率

(女性)

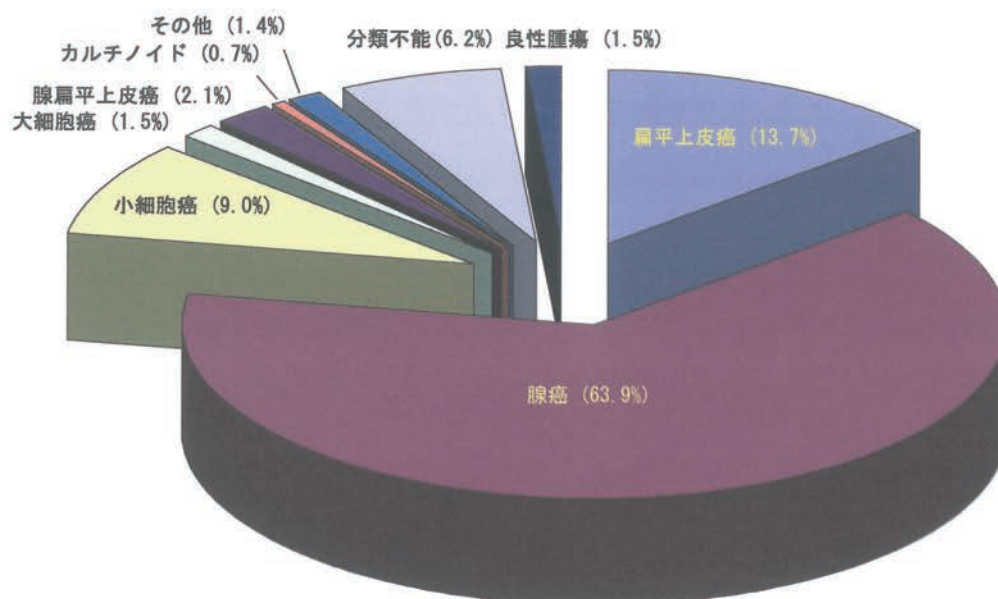


表 2 a その他のがんの内訳

組 織 型	総計	男性	女性
ツ モ レ ッ ト	8	2	6
粘 表 皮 癌	22	12	10
悪 性 黒 色 腫	3	2	1
線 維 肉 腫	2	1	1
悪性線維性組織球腫	2	2	0
平 滑 筋 肉 腫	3	2	1
癌 肉 腫	13	13	0
胎 児 性 癌	1	1	0
リンパ管筋腫症	1	0	1
軟 骨 肉 腫	1	0	1
悪 性 神 経 鞘 腫	1	0	1
類上皮血管内皮腫	1	1	0
悪 性 血 管 周 皮 腫	1	1	0
悪 性 リ ン パ 腫	34	20	14
合 計	93	57	36

表 2 b 良性腫瘍の内訳

組 織 型	総計	男性	女性
乳 頭 腫	3	3	0
腺 腫	6	1	5
線 維 腫	2	2	0
硬 化 性 血 管 腫	6	2	4
多 形 腺 腫	1	1	0
奇 形 腫	1	1	0
血 管 腫	12	1	11
神 経 線 維 腫	1	0	1
そ の 他	38	21	17
計	70	32	38

図 2c 肺腫瘍の組織型別男女比

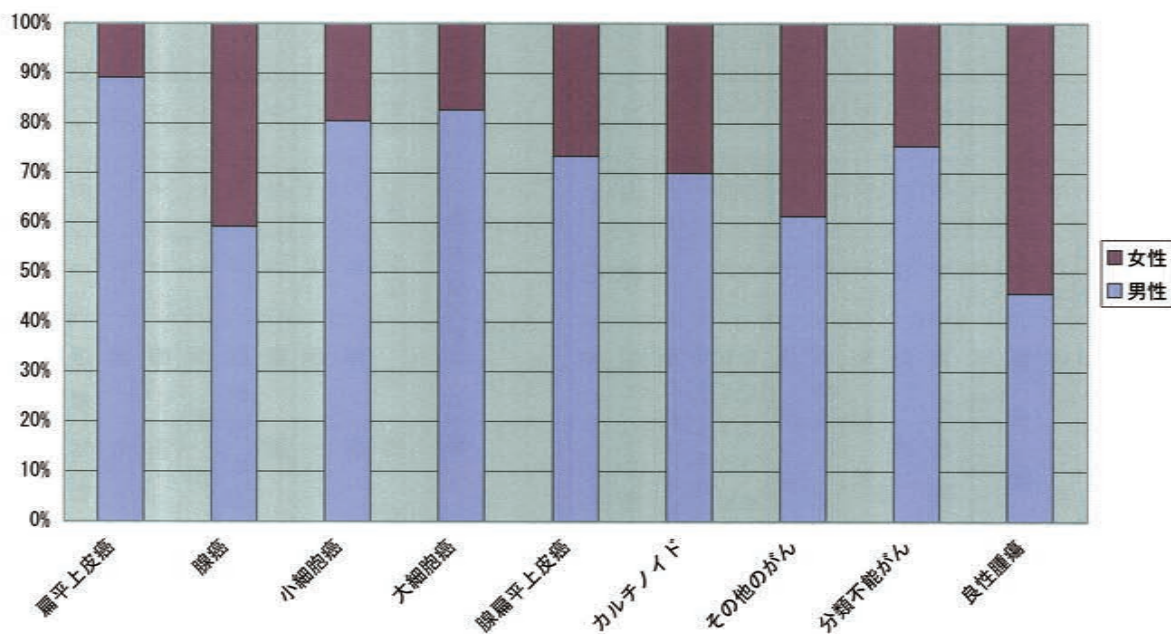


表 2 肺腫瘍の男女別・組織型別比率、および平均年齢

	肺腫瘍登録数 ¹⁾				平均年齢 ²⁾		
	男性	(%)	女性	(%)	男性	女性	総数
扁平上皮癌	2,887	(40.3)	353	(13.7)	68.3	69.5	68.4
腺癌	2,386	(33.3)	1,643	(63.9)	65.3	64.7	65.1
小細胞癌	951	(13.3)	231	(9.0)	68.0	69.1	68.2
大細胞癌	176	(2.4)	37	(1.5)	63.3	67.2	64.0
腺扁平上皮癌	149	(2.1)	54	(2.1)	66.7	63.3	65.8
カルチノイド	42	(0.6)	18	(0.7)	53.8	58.3	55.1
その他のがん	57	(0.8)	36	(1.4)	63.0	61.1	62.3
分類不能がん	491	(6.8)	160	(6.2)	65.3	66.7	65.7
良性腫瘍	32	(0.4)	38	(1.5)	51.3	52.0	51.7
総数	7,171	(100)	2,570	(100)	66.7	65.6	66.4

1) 性別不詳の2件を除外

2) 399件は生年月日不詳のため、平均年齢の計算から除外

図3 広域医療圏別の肺腫瘍数の年次推移

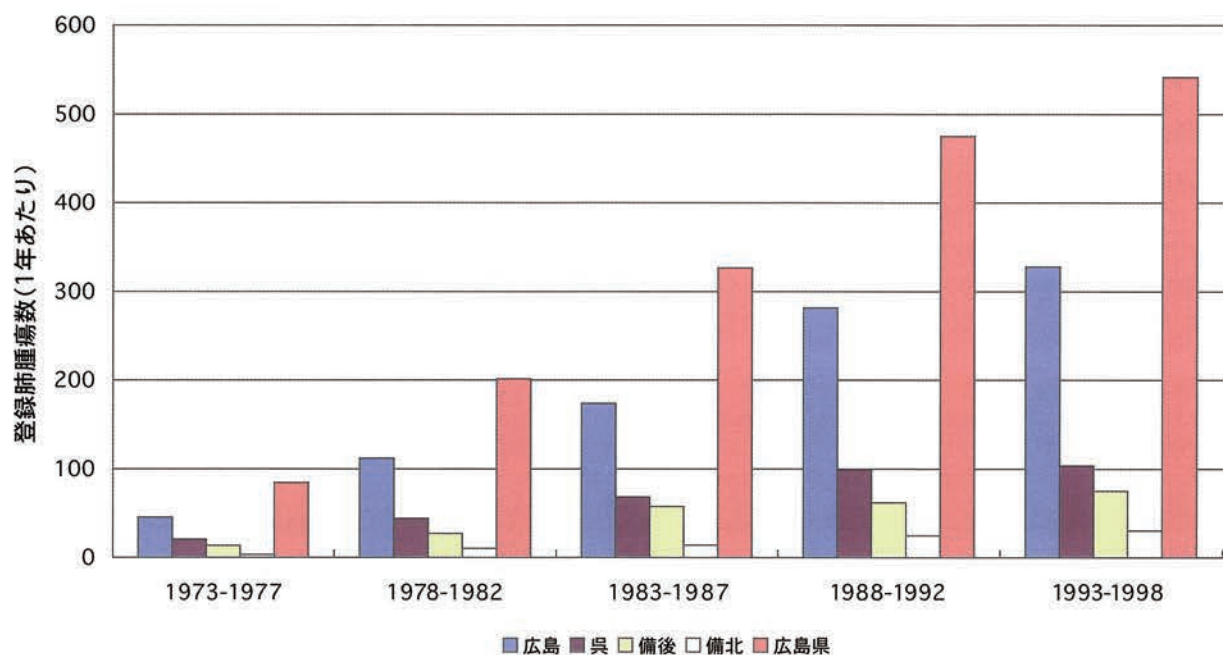


図4 広域医療圏別の肺腫瘍の年次推移

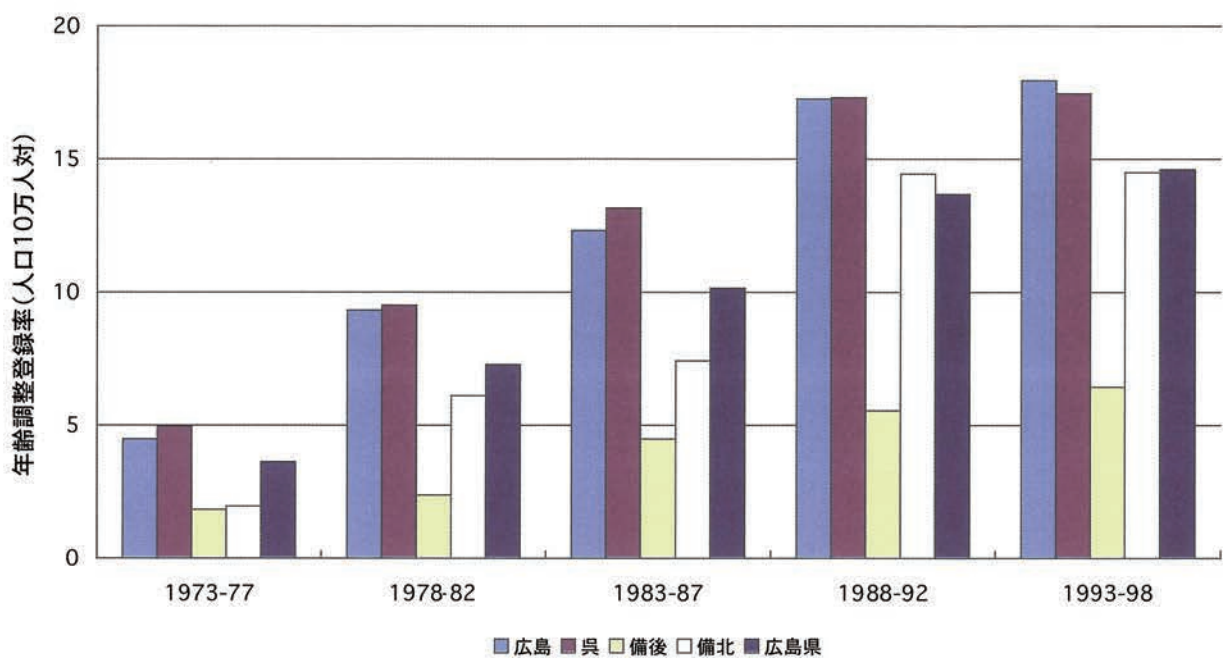


表3 広域医療圏別の肺腫瘍数の推移¹⁾

医療圏 年次	広島広域	呉 広 域	備後広域	備北広域	県内不詳	広島県総数
1973-1977	45.6	20.6	13.6	3.2	1.4	84.4
1978-1982	111.8	44.2	27.2	10.2	7.8	201.2
1983-1987	173.8	68.6	57.8	14.0	12.2	326.4
1988-1992	281.4	99.2	61.8	25.0	7.4	474.8
1993-1998	327.7	103.3	75.0	30.5	5.2	541.7

1) 1年あたりの登録

表4 広域医療圏別の肺腫瘍登録率の推移²⁾

医療圏 年次	広島広域	呉 広 域	備後広域	備北広域	広 島 県
1973-1977	4.5	5.0	1.8	2.0	3.6
1978-1982	9.3	9.5	2.4	6.1	7.3
1983-1987	12.3	13.2	4.5	7.4	10.1
1988-1992	17.3	17.3	5.5	14.4	13.7
1993-1998	18.0	17.5	6.4	14.5	14.6

2) 1985年日本モデル人口で調整、人口10万人あたり

図5 広域医療圏別にみた肺腫瘍の組織型別比率

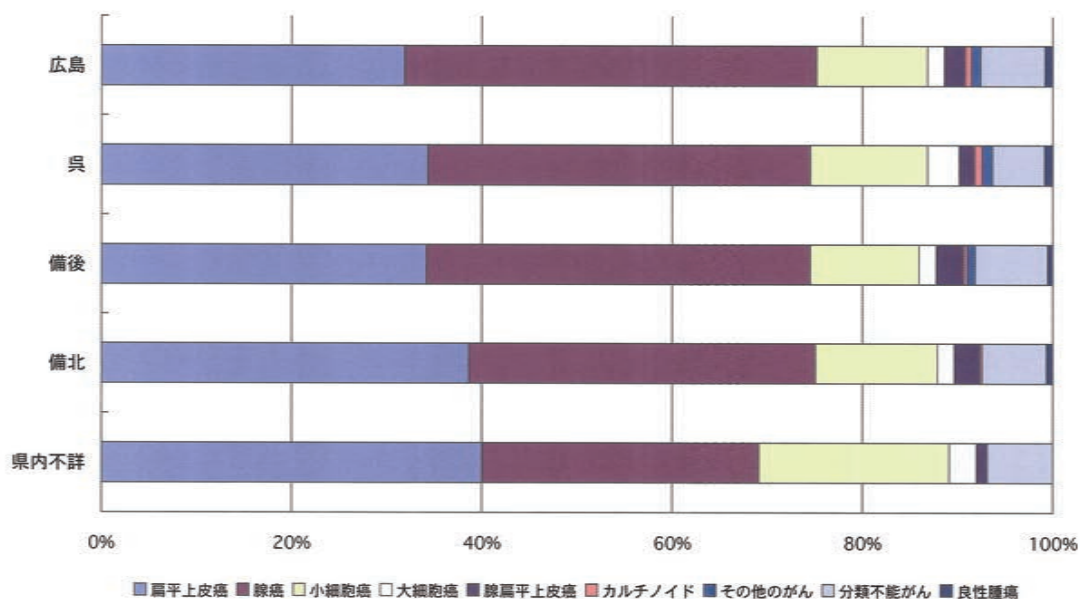


表5 広域医療圏別にみた肺腫瘍の組織型別比率

医療圏 年次	広島広域	(%)	呉広域	(%)	備後広域	(%)	備北広域	(%)	広島広域	(%)
扁平上皮癌	1603	31.9	612	34.3	428	34.2	172	38.7	70	40.0
腺癌	2179	43.3	717	40.2	505	40.3	162	36.4	51	29.1
小細胞癌	584	11.6	219	12.3	143	11.4	57	12.8	35	20.0
大細胞癌	91	1.8	60	3.4	23	1.8	8	1.8	5	2.9
腺扁平上皮癌	109	2.2	28	1.6	36	2.9	12	2.7	2	1.1
カルチノイド	33	0.7	15	0.8	4	0.3	1	0.2	0	0.0
その他のがん	49	1.0	19	1.1	11	0.9	0	0	0	0.0
分類不能がん	340	6.8	98	5.5	95	7.6	30	6.7	12	6.9
良性腫瘍	41	0.8	15	0.8	7	0.6	3	0.7	0	0.0

図 6 a 組織型別の肺悪性腫瘍の年次推移

(男性)

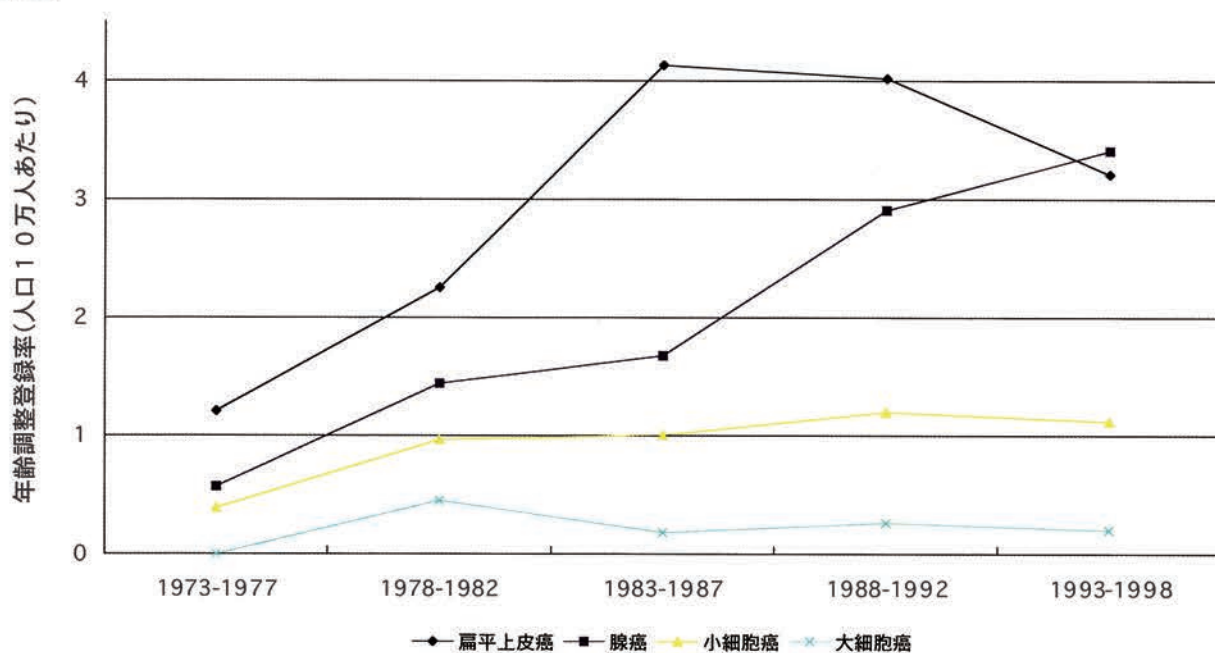


図 6 b 組織型別の肺悪性腫瘍の年次推移

(女性)

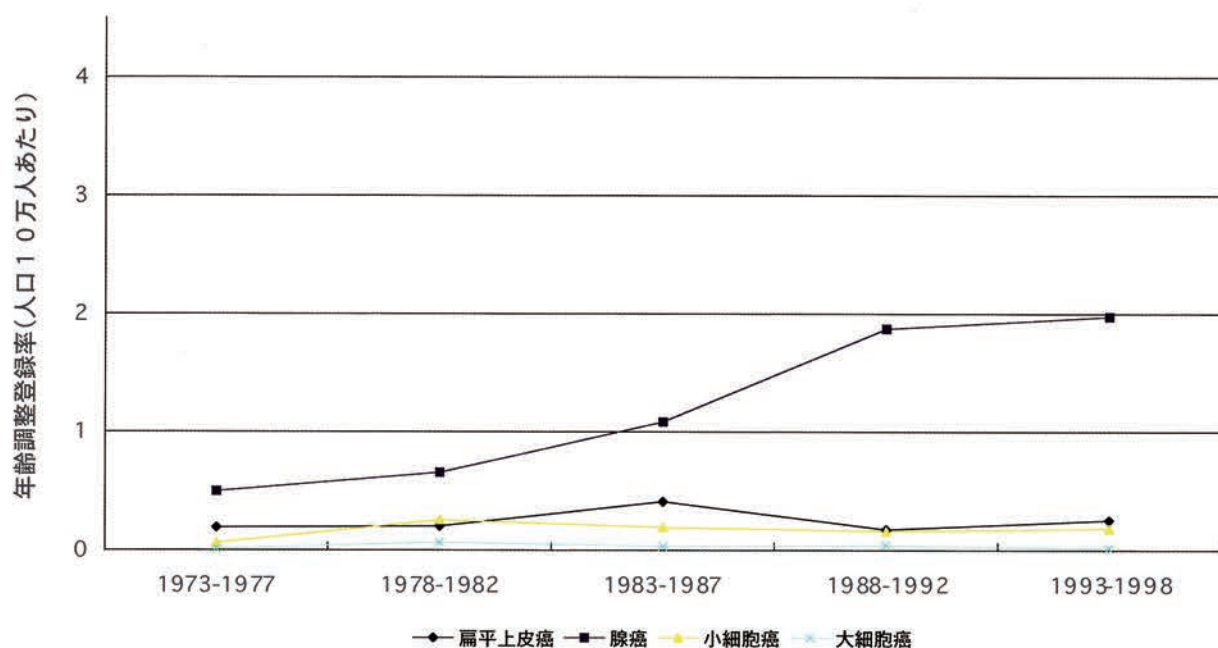


表 6 組織型別の肺悪性腫瘍の年次推移¹⁾

男 性	1973-1977	1978-1982	1983-1987	1988-1992	1993-1997
扁平上皮癌	1.2	2.3	4.1	4.0	3.2
腺 癌	0.6	1.4	1.7	2.9	3.4
小 細 胞 癌	0.4	1.0	1.0	1.2	1.1
大 細 胞 癌	0.0	0.0	0.2	0.3	0.2
女 性					
扁平上皮癌	0.2	0.2	0.4	0.2	0.3
腺 癌	0.5	0.7	1.1	1.9	2.0
小 細 胞 癌	0.1	0.3	0.2	0.2	0.2
大 細 胞 癌	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0

1) 年齢調整登録率、1985年日本モデル人口で調整、人口10万人あたり

図7a 組織型別の肺悪性腫瘍の年齢別分布

(男性)

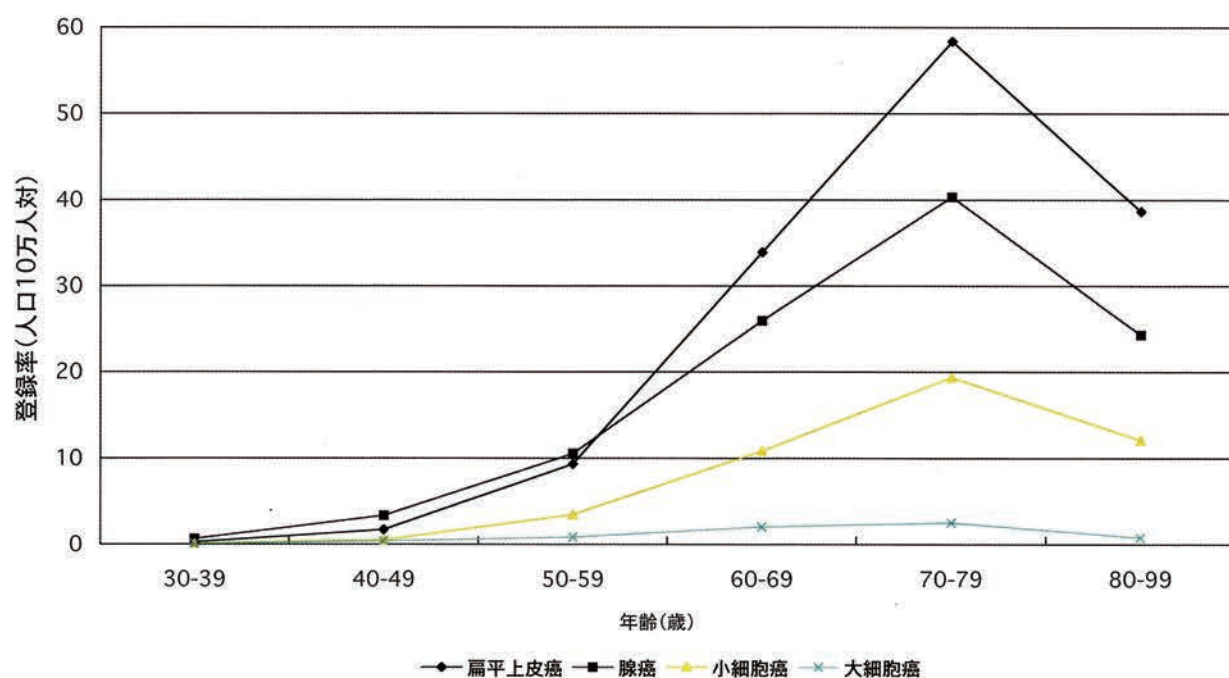


図7b 組織型別の肺悪性腫瘍の年齢別分布

(女性)

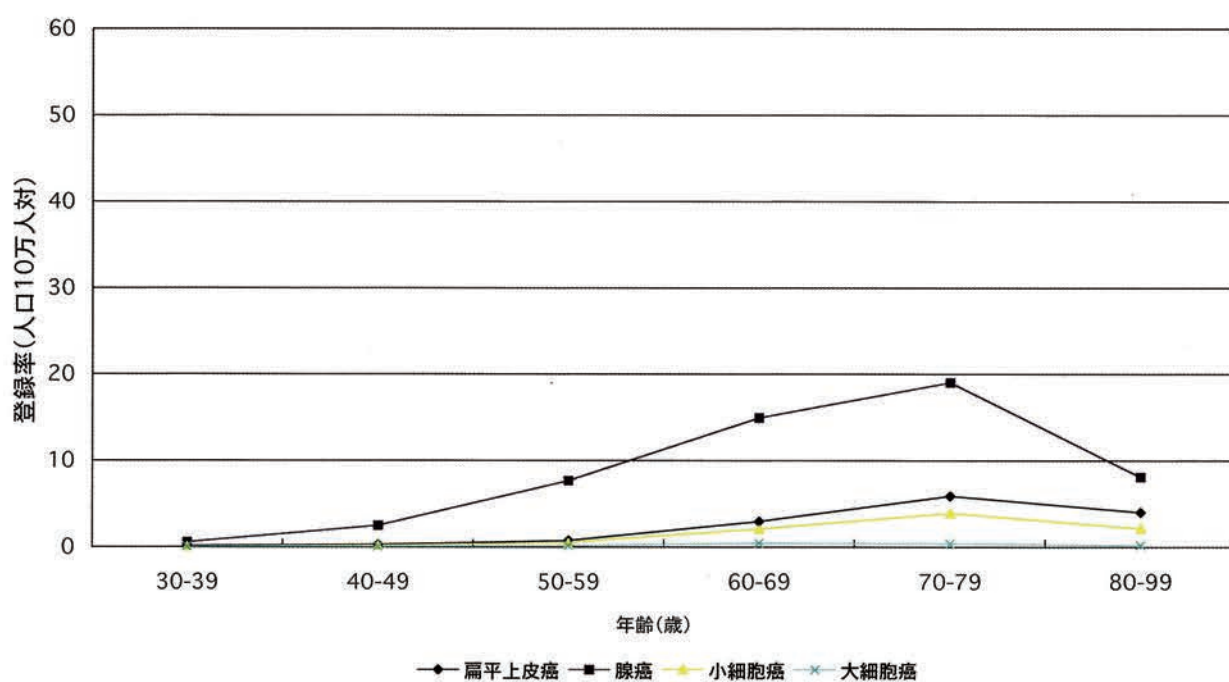


表 7 組織型別の肺悪性腫瘍の年齢別分布¹⁾

男性	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-
扁平上皮癌	0.2	1.7	9.3	33.9	58.4	38.6
腺癌	0.6	3.3	10.5	25.9	40.3	24.3
小細胞癌	0.1	0.5	3.4	10.8	19.4	12.1
大細胞癌	0.1	0.4	0.8	2.0	2.5	0.8
女性						
扁平上皮癌	0.1	0.2	0.7	2.9	5.9	4.0
腺癌	0.5	2.4	7.7	14.9	19.0	8.1
小細胞癌	0.1	0.2	0.5	2.0	3.8	2.1
大細胞癌	0.0	0.0	0.2	0.4	0.4	0.2

1) 登録率、人口10万人対

特定臓器解析の歴史と特定臓器ごとのサマリー

| 乳腺

| 肝臓

| 胃

| 肺

| 大腸

グラフで見る1973～1999年の大腸腫瘍

広島県腫瘍登録（1973－1999年）における大腸腫瘍の解析結果のまとめ

1. 新規に登録された大腸腫瘍（良性および悪性）登録数の年次推移（表1、図1）

1973年から1999年の間に新規に登録された大腸腫瘍は117,215例である。うち、良性腫瘍が94,458例、悪性腫瘍が22,757例である。これらを年代別にみると、良性腫瘍悪性腫瘍ともに1993～1994年まで増加の一途をたどっており、1996年以降横ばいとなっている。特筆すべきことは1985年に良性腫瘍登録数が悪性腫瘍登録数をこえ、1995年以降、良性腫瘍が悪性腫瘍よりも約3倍となっていることである。

大腸腫瘍の症例数の増加には、全大腸内視鏡の進歩および普及によって病変の発見が容易になったことが関与していると考えられる。

男女別にみると、良性腫瘍は男性が女性の約2倍、悪性腫瘍は男性が女性の約1.5倍であり、いずれも27年間を通じて男性に多い。

2. 大腸腫瘍（良性および悪性）の組織型分類割合（表2、図2）

良性腫瘍では、男性女性ともほとんどが腺腫（単発性腺腫あるいは多発性腺腫）である。腺腫のうち、男性では多発性腺腫が51.4%であるが、女性では男性に比しやや少なく、37.0%である点は注目に値する。

悪性腫瘍では、腺癌と腺腫内腺癌が男女とも96%前後を占め、その他の組織型はきわめて少ない。ただし、腺腫内腺癌は、男性31.7%、女性20.6%で、男性に多い傾向にある。

3. 大腸腫瘍（良性および悪性）の詳細部位分類割合（表3、図3）

良性腫瘍では、多い順に男性女性とも、結腸 NOS（詳細部位の不明のものに加えて、病変が異なる部位に多発するものを結腸 NOS と呼んでおり、多発腺腫の多くはここに含まれる）が最も多く、以下、S 状結腸、直腸、横行結腸、上行結腸、下行結腸、盲腸の順である。

悪性腫瘍では、男性女性とも、直腸が最も多く、S 状結腸が続き、以下、男性では、上行結腸、横行結腸、下行結腸、盲腸の順、女性では、上行結腸、盲腸、横行結腸、下行結腸の順である。男性では、直腸と S 状結腸をあわせて66.6%、女性では61.7%であり、性別にかかわらず60%以上を占めている。

4. 大腸腫瘍（良性および悪性）の広域医療圏別登録率の年次推移（表4、図4）

良性腫瘍と悪性腫瘍いずれも備後広域医療圏の登録率が圧倒的に低い。これは登録医療機関が少ないためであり、今回の検討結果をもって、備後広域医療圏で大腸腫瘍が少ないとはいえないと考えられる。

5. 大腸腫瘍（良性および悪性）の年齢階級別登録数の年次推移（表5、図5）

良性悪性ともに年次とともにいずれの年齢層においても著しく増加している。年齢の

ピークも年次をこえて一致しており、良性腫瘍は男性では70～74歳、女性とも80～84歳である。

6. 大腸腫瘍（良性および悪性）の組織型分類割合の年次推移（表6、図6）

- (1) 良性腫瘍では、単発性腺腫が1973～77年では79.1%に対し、減少傾向を示し、1993～1999年では50.1%である。一方、多発性腺腫は1973～77年の15.1%から1993～99年では49.1%に増加している。多発性腺腫の症例数の増加には、全大腸内視鏡の進歩および普及によって腺腫の発見が容易になったことが関与している可能性がある。
- (2) 悪性腫瘍では、腺癌が全体に占める割合は、1973～77年の90.3%から1993～1999年の57.5%に減少し、腺腫内腺癌が全体に占める割合が1973～1977年の2.7%から38.2%に上昇している。全大腸内視鏡の進歩および普及によって早期大腸癌の発見が容易になったことが関与している可能性がある。

7. 大腸腫瘍（良性および悪性）の詳細部位別組織型分類割合（表7、図7）

- (1) 良性腫瘍では、いずれの部位においても腺腫が最も多い。結腸 NOS は90%以上が多発性腺腫症例である。部位が結腸 NOS の腺腫とは、検体採取部位が結腸か直腸か、結腸内のいずれの部位のいずれの部位からの材料か不明の単発性腺腫である。
- (2) 悪性腫瘍では、虫垂ではカルチノイドが23.0%を占める、最多は腺癌で29%。その他部位では盲腸から直腸に至るまで、腺癌が60～74%で最多、続いて腺腫内腺癌が17～36%で続く。直腸ではカルチノイドが腺腫内腺癌に続いており、3.2%で3番目に多い。

8. 大腸腫瘍数（良性および悪性、結腸 NOS を除く）の詳細部位別分類割合の年次推移（表8、図8）

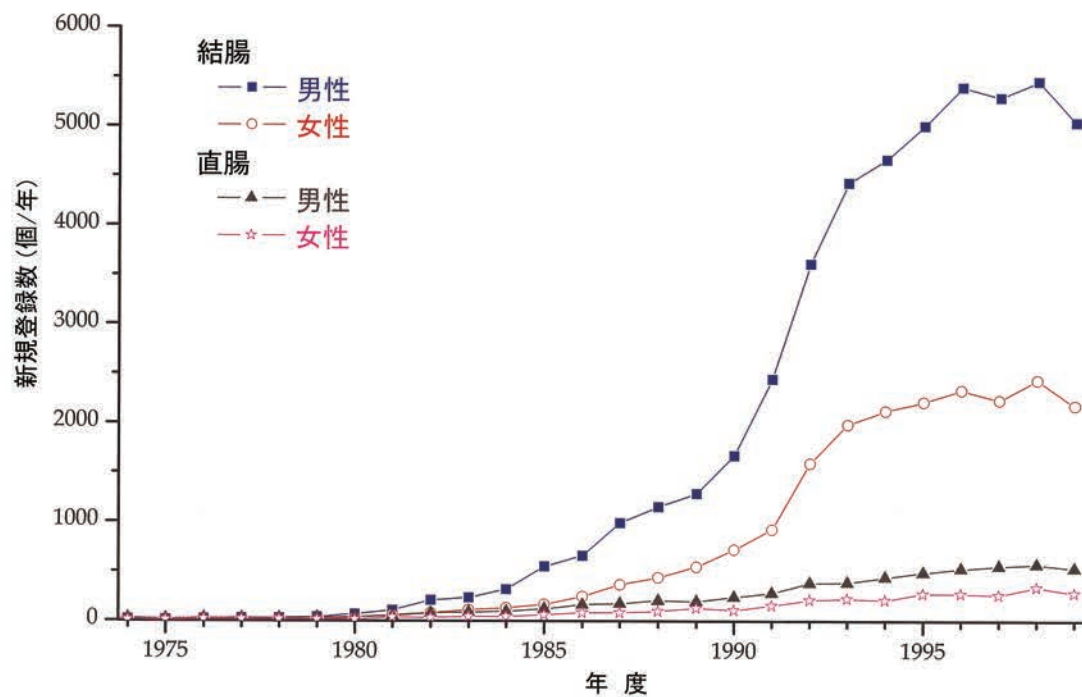
- (1) 良性腫瘍では、1973～77年は直腸が68.4%を占めていたが、1993～99年では15.7%に減少しているのに対し、結腸が31.6%から84.1%に増加している。
- (2) 悪性腫瘍では、1973～77年は直腸が48.0%を占めていたが、1993～99年では31.0%に減少しているのに対し、他総計は増加している。

9. 大腸腫瘍（良性および悪性）の詳細部位別登録数と年齢調整登録率（表9、図9）

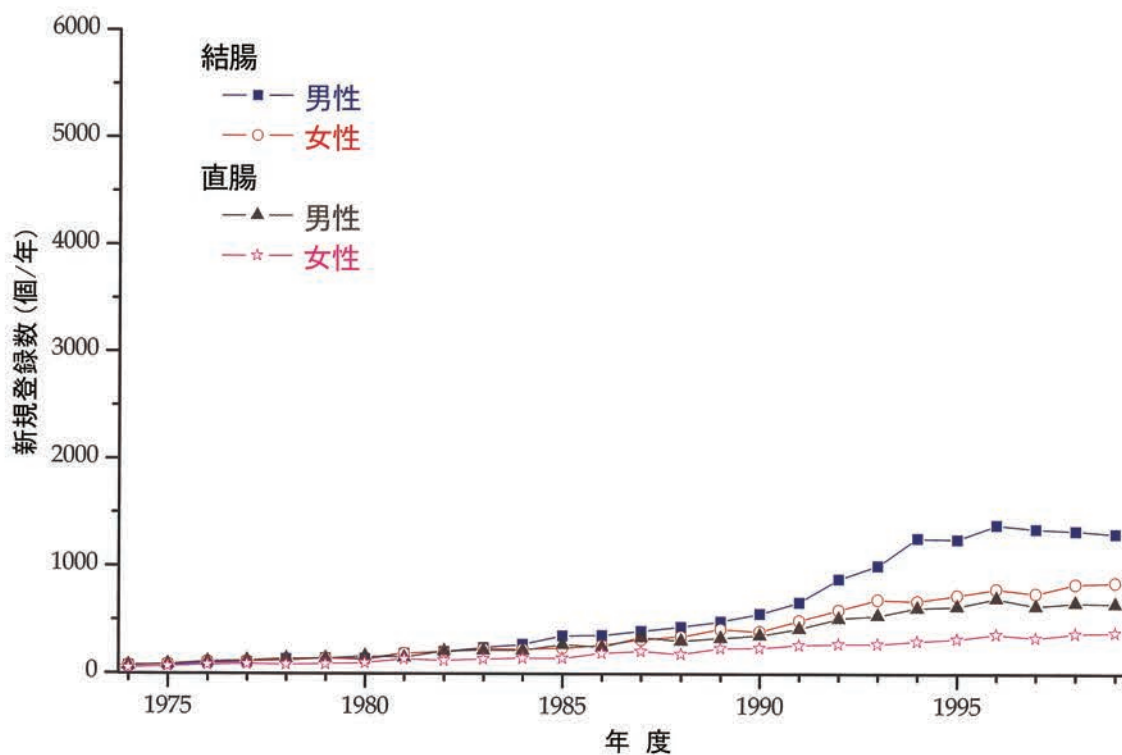
- (1) 良性腫瘍では、結腸 NOS、すなわち多部位に多発性腺腫が断然多い。多部位に発生する多発性腺腫を除くと、男性女性ともS状結腸が最多である。以下、男性では直腸、横行結腸、上行結腸、下行結腸と続き、女性では直腸、上行結腸、横行結腸、下行結腸と続く。
- (2) 悪性腫瘍では、男女とも直腸が最多で、以下は男性ではS状結腸、上行結腸、横行結腸、下行結腸、盲腸と続き、女性ではS状結腸、上行結腸、横行結腸、盲腸、下行結腸と続く。

(1) 新規に登録された大腸腫瘍（良性および悪性）登録数の年次推移 （1973-1999年）

（良性腫瘍）



（悪性腫瘍）



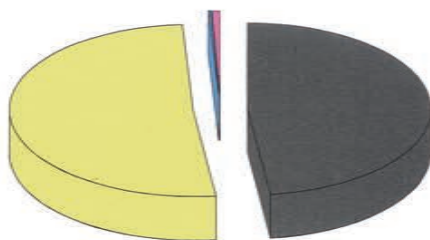
(1) 新規に登録された大腸腫瘍（良性および悪性）登録数の年次推移（1973-1999年）

	良 性 腫 瘍				悪 性 腫 瘍			
	結 腸		直 腸		結 腸		直 腸	
	男	女	男	女	男	女	男	女
1973	5	8	11	12	64	48	75	41
1974	15	8	24	9	72	74	73	51
1975	13	3	17	8	78	84	83	63
1976	18	8	25	17	97	107	107	80
1977	27	11	23	16	104	110	117	84
1978	29	17	24	17	134	118	136	82
1979	39	15	33	12	140	139	135	86
1980	67	30	34	14	135	127	159	96
1981	109	59	50	36	183	184	149	134
1982	211	80	75	31	203	197	206	119
1983	234	111	84	41	237	226	214	134
1984	319	129	93	41	272	225	213	142
1985	552	165	120	61	352	235	267	140
1986	661	246	161	82	354	260	247	186
1987	989	365	172	81	396	316	333	207
1988	1,152	439	201	97	436	342	303	181
1989	1,287	547	194	128	485	412	329	233
1990	1,673	721	239	107	558	392	353	237
1991	2,447	925	277	155	663	494	416	262
1992	3,611	1,594	381	208	881	590	511	276
1993	4,431	1,986	382	222	1,005	687	538	273
1994	4,666	2,124	439	208	1,261	675	609	299
1995	5,008	2,215	486	273	1,252	728	624	322
1996	5,400	2,333	525	276	1,385	787	699	365
1997	5,295	2,232	549	261	1,348	748	625	333
1998	5,459	2,433	568	340	1,332	832	659	372
1999	5,045	2,176	527	282	1,304	848	648	382
計	48,762	20,980	5,714	3,035	14,731	9,985	8,828	5,180

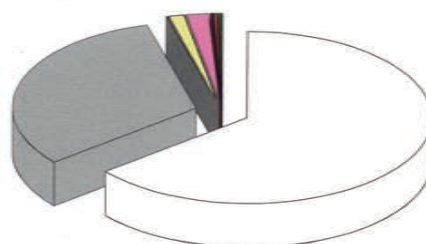
性別不詳の8例（良性結腸腫瘍6例、悪性結腸腫瘍2例）を除く

(2) 大腸腫瘍（良性および悪性）の組織型分類割合

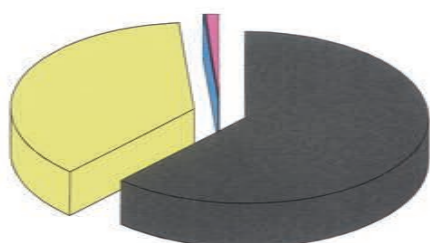
(良性、男性)



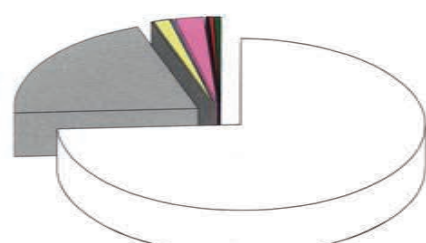
(悪性、男性)



(良性、女性)



(悪性、女性)



■ 腺腫
■ 多発性腺腫
■ 腺腫FAP
■ その他

■ 腺癌
■ 腺癌FAP
■ のう胞腺癌
■ 印環細胞癌
■ 悪性リンパ腫
■ 腺腫内腺癌
■ カルチノイド
■ 粘液腺癌
■ 腺扁平上皮癌
■ その他

(2) 大腸腫瘍（良性および悪性）の組織型分類割合

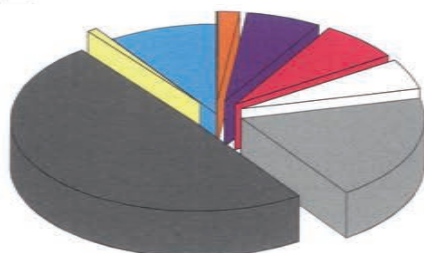
	良 性 腫 瘍			
	男性	(%)	女性	(%)
腺 腫	26,126	(48.0)	14,832	(61.8)
多 発 性 腺 腫	27,823	(51.1)	8,874	(37.0)
腺 腫 F A P	128	(0.2)	35	(0.1)
そ の 他	399	(0.7)	274	(1.1)
総 数	54,476	(100)	24,015	(100)

	悪 性 腫 瘍			
	男性	(%)	女性	(%)
腺 癌	15,078	(64.0)	11,227	(74.0)
腺 腫 内 腺 癌	7,474	(31.7)	3,130	(20.6)
腺 癌 F A P	22	(0.1)	19	(0.1)
カルチノイド	298	(1.3)	205	(1.4)
の う 胞 腺 癌	10	(0.0)	24	(0.2)
粘 液 腺 癌	440	(1.9)	383	(2.5)
印 環 細 胞 癌	46	(0.2)	21	(0.1)
腺 扁 平 上 皮 癌	13	(0.1)	14	(0.1)
悪 性 リ ン パ 腫	82	(0.3)	55	(0.4)
そ の 他	96	(0.4)	87	(0.6)
総 数	23,559	(100)	15,165	(100)

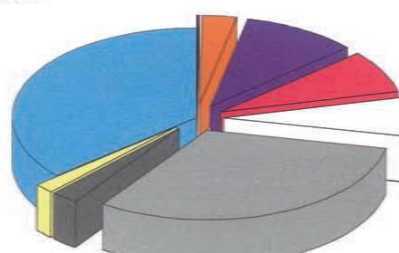
性別不詳の8例（良性腫瘍6例、悪性腫瘍2例）を除く

(3) 大腸腫瘍（良性および悪性）の詳細部位分類割合

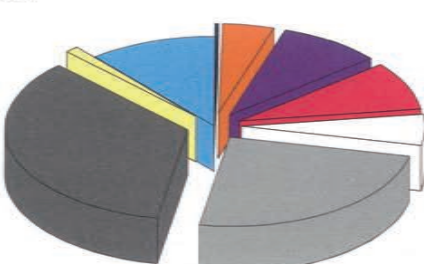
(良性、男性)



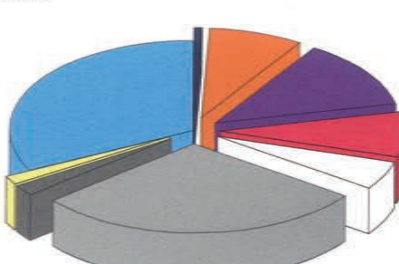
(悪性、男性)



(良性、女性)



(悪性、女性)



(3) 大腸腫瘍（良性および悪性）の詳細部位分類割合

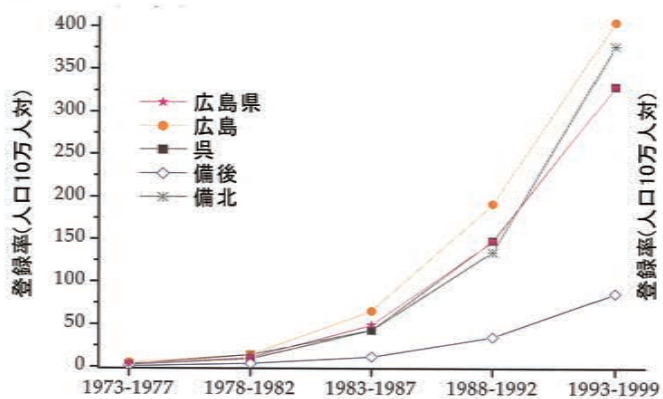
	良 性 腫 瘍			
	男性	(%)	女性	(%)
虫 垂	27	(0.0)	47	(0.2)
盲 腸	1,025	(1.9)	731	(3.1)
上 行 結 腸	3,574	(6.6)	2,211	(9.2)
横 行 結 腸	3,926	(7.2)	2,128	(8.9)
下 行 結 腸	2,975	(5.5)	1,371	(5.7)
S 状 結 腸	10,409	(19.1)	5,956	(24.8)
結 腸 N O S	26,826	(49.2)	8,536	(35.5)
直腸S状結腸移行部	479	(0.9)	290	(1.2)
直 腸	5,235	(9.6)	2,745	(11.4)
総 数	54,476	(100)	24,015	(100)

	悪 性 腫 瘍			
	男性	(%)	女性	(%)
虫 垂	73	(0.3)	105	(0.7)
盲 腸	1,086	(4.6)	1,262	(8.3)
上 行 結 腸	2,349	(10.0)	1,883	(12.4)
横 行 結 腸	1,769	(7.5)	1,237	(8.2)
下 行 結 腸	1,614	(6.9)	781	(5.1)
S 状 結 腸	7,264	(30.8)	4,411	(29.1)
結 腸 N O S	576	(2.4)	306	(2.0)
直腸S状結腸移行部	403	(1.7)	238	(1.6)
直 腸	8,425	(35.8)	4,942	(32.6)
総 数	23,559	(100)	24,015	(100)

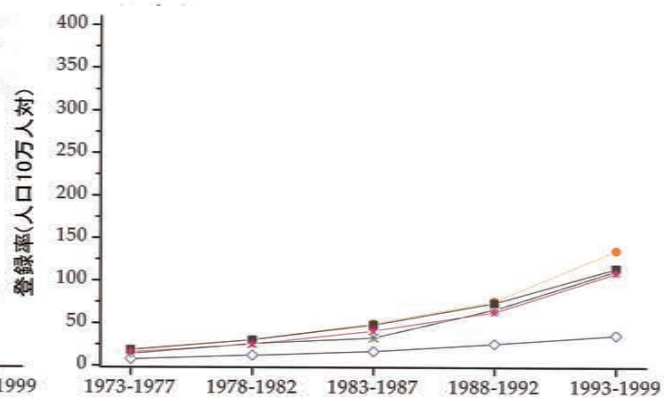
性別不詳の8例（良性腫瘍6例、悪性腫瘍2例）を除く

(4) 大腸腫瘍（良性および悪性）の広域医療圏別登録率の年次推移

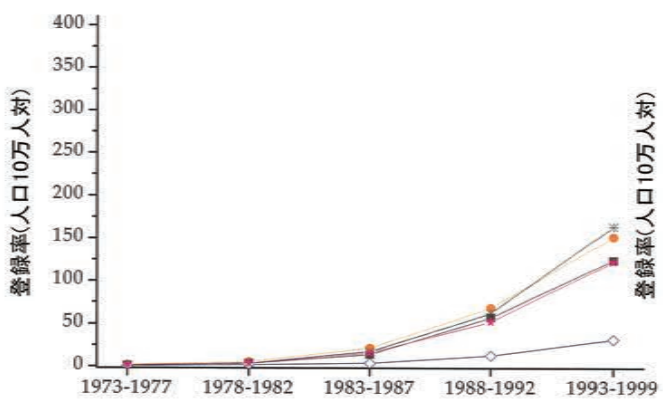
(良性、男性)



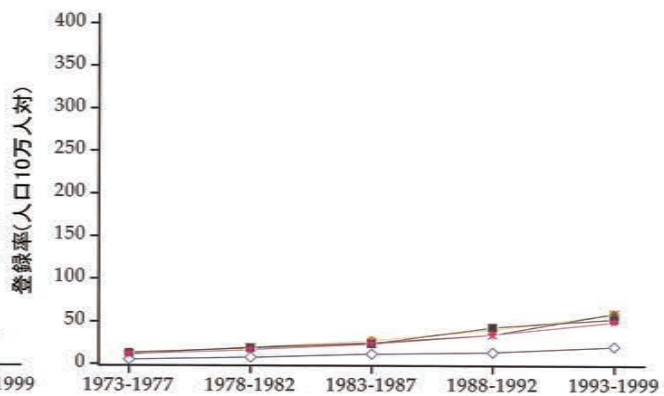
(悪性、男性)



(良性、女性)



(悪性、女性)

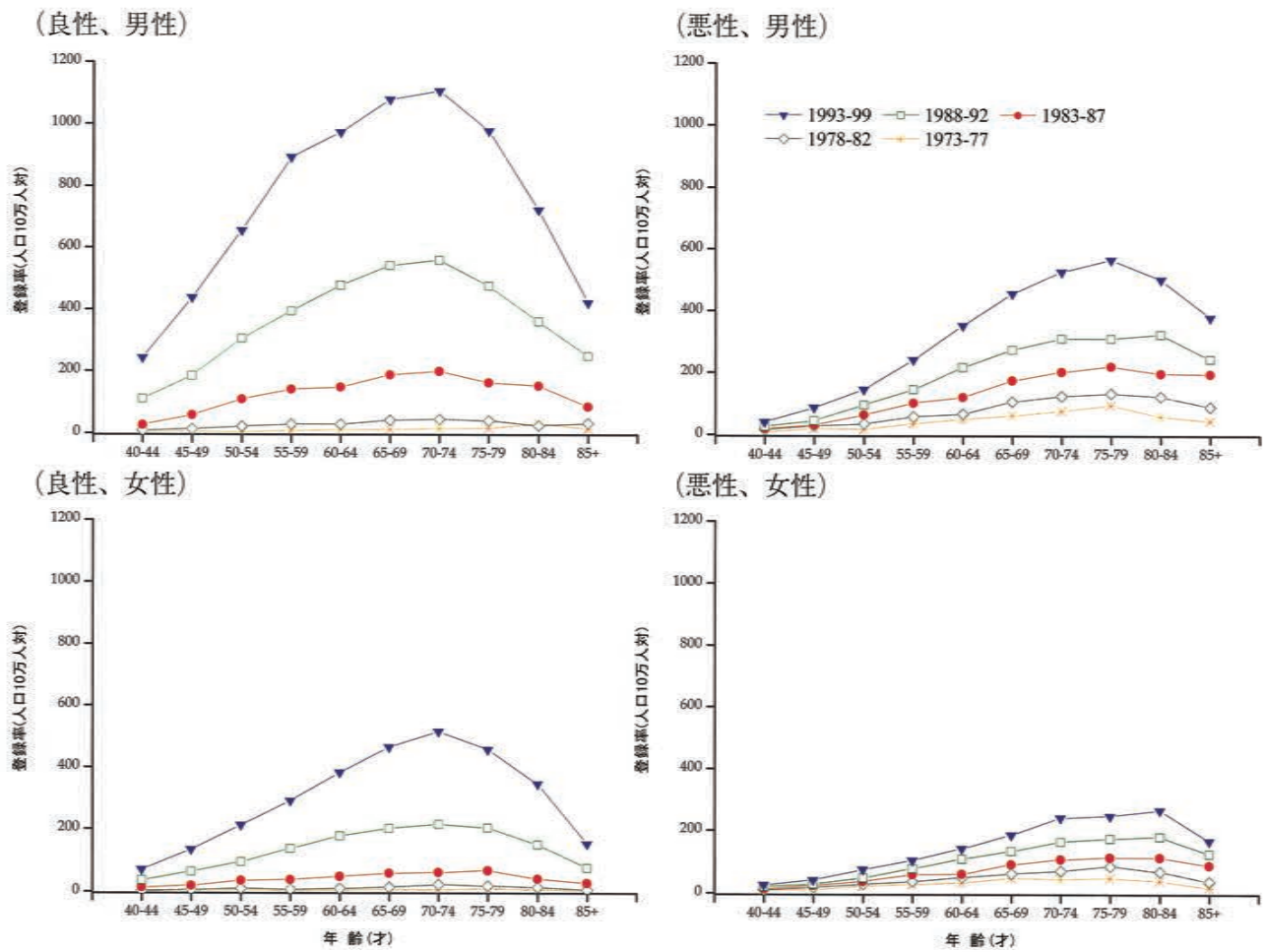


(4) 大腸腫瘍（良性および悪性）の広域医療圏別登録数と年齢調整登録率の年次推移

医療圏 年次	広島広域	呉 広 域	備後広域	備北広域	広 島 県
(良性、男性)					
1973-1977	118 5.1	18 2.0	18 1.0	11 3.2	174 3.3
1978-1982	405 14.6	97 9.6	70 3.8	44 13.9	649 10.9
1983-1987	2,089 65.9	461 42.7	247 12.1	160 43.2	3,291 49.3
1988-1992	7,106 191.9	1,704 148.2	781 34.7	515 134.5	11,019 147.3
1993-1999	24,548 404.9	5,510 329.4	3,025 86.2	2,000 376.6	38,627 329.4
(良性、女性)					
1973-1977	63 2.2	10 0.9	12 0.6	3 0.7	99 1.6
1978-1982	181 5.5	44 3.7	39 1.8	13 4.1	300 4.2
1983-1987	828 21.7	187 13.8	96 3.9	70 17.3	1,282 16.0
1988-1992	2,988 68.5	823 57.2	345 12.7	281 62.1	4,752 53.0
1993-1999	18,032 152.0	2,678 124.3	1,349 31.7	1,061 163.7	17,289 122.3
(悪性、男性)					
1973-1977	431 18.6	176 18.8	129 7.8	48 13.9	837 16.0
1978-1982	816 30.4	305 30.5	218 12.2	89 25.8	1,500 25.6
1983-1987	1,610 50.0	525 48.3	348 17.1	127 32.9	2,750 41.5
1988-1992	2,767 76.2	863 73.5	595 26.0	281 66.3	4,747 63.2
1993-1999	8,202 135.3	2,055 114.4	1,316 35.7	671 111.7	13,243 109.3
(悪性、女性)					
1973-1977	377 13.6	144 12.7	105 5.3	44 11.0	719 11.4
1978-1982	636 19.4	245 19.1	179 8.16	85 19.9	1,210 16.8
1983-1987	1,068 27.8	337 24.1	300 11.9	126 24.9	1,963 23.8
1988-1992	1,834 40.9	662 43.4	400 13.8	175 34.7	3,275 34.8
1993-1999	4,422 59.1	1,239 53.5	850 21.1	445 59.6	7,623 50.5

(上段は登録数、下段は人口10万人あたりの年齢調整登録率（1985年日本モデル人口で調整）)

(5) 大腸腫瘍（良性および悪性）の年齢階級別登録率の年次推移



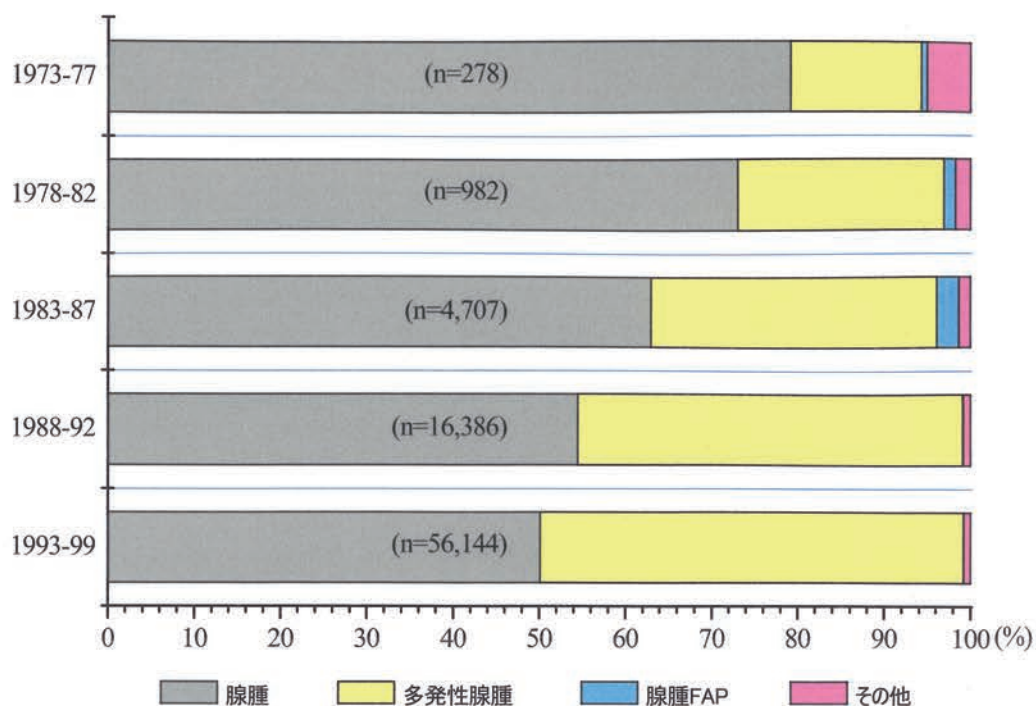
(5) 大腸腫瘍（良性および悪性）の年齢階級別登録数と登録率の年次推移

年次 \ 年齢	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85+
(良性、男性)										
1973-1977	9 1.9	17 4.0	9 2.7	20 7.4	23 9.4	23 11.7	20 13.6	15 15.3	14 29.6	3 14.5
1978-1982	41 8.7	56 12.4	84 20.5	89 27.8	73 28.6	91 41.3	74 44.2	45 40.4	15 24.4	9 31.7
1983-1987	141 26.1	268 58.0	476 108.6	551 140.8	445 147.3	438 187.8	380 198.3	213 161.9	112 152.0	34 84.9
1988-1992	673 110.7	976 184.8	1,369 305.1	1,658 394.9	1,764 476.6	1,506 541.1	1,148 558.7	736 475.6	324 361.1	129 249.1
1993-1999	1,686 242.0	3,574 437.8	4,902 654.4	5,577 893.1	5,445 972.3	5,253 1078.7	4,009 1106.3	2,386 976.8	1,124 722.2	428 422.5
(良性、女性)										
1973-1977	4 0.8	5 1.1	16 4.1	1 0.3	12 4.1	13 5.4	10 5.4	10 7.6	4 5.5	1 2.3
1978-1982	8 1.7	24 5.1	39 8.9	26 6.8	31 9.7	39 14.0	49 22.3	29 18.4	14 14.6	3 5.4
1983-1987	64 11.8	85 18.1	158 34.4	159 37.0	177 47.5	176 57.6	157 60.9	126 65.7	49 40.7	22 27.6
1988-1992	212 35.3	341 64.1	432 93.5	613 135.8	741 176.6	722 201.3	617 215.4	469 203.9	228 149.8	82 74.8
1993-1999	479 69.1	1,076 133.2	1,615 212.7	1,904 290.7	2,371 383.2	2,674 463.8	2,522 515.2	1,722 456.8	944 345.9	355 152.9
(悪性、男性)										
1973-1977	34 7.3	80 18.8	57 17.0	92 33.9	121 49.6	120 61.1	110 74.8	92 94.1	27 57.1	9 43.4
1978-1982	73 15.4	121 26.7	139 34.0	183 57.2	170 66.7	233 105.8	205 122.6	147 131.9	75 121.8	25 88.2
1983-1987	95 17.6	138 29.8	281 64.1	394 100.7	363 120.1	406 174.0	387 201.9	288 218.9	144 195.4	78 194.7
1988-1992	154 25.3	236 44.7	428 95.4	608 144.8	803 217.0	762 273.8	637 310.0	479 309.5	290 323.2	126 243.3
1993-1999	275 39.5	710 87.0	1,083 144.6	1,502 240.5	1,971 352.0	2,217 455.3	1,904 525.4	1,378 564.2	779 500.6	383 378.1
(悪性、女性)										
1973-1977	43 9.1	43 9.7	88 22.6	88 26.8	94 32.3	113 47.2	82 44.3	63 47.8	28 38.5	7 16.4
1978-1982	46 9.6	88 18.9	122 27.9	144 37.7	160 50.3	172 61.9	156 71.0	135 85.8	65 67.6	21 37.8
1983-1987	64 11.8	112 23.8	171 37.2	253 58.8	223 59.9	277 90.7	275 106.7	218 113.7	137 113.8	70 87.9
1988-1992	120 20.0	151 28.4	226 48.9	354 78.4	454 108.2	476 132.7	471 164.4	402 174.8	273 179.4	137 125.0
1993-1999	179 25.8	342 42.4	571 75.2	685 104.6	882 142.6	1,068 185.2	1,179 240.8	931 247.0	724 265.3	389 167.5

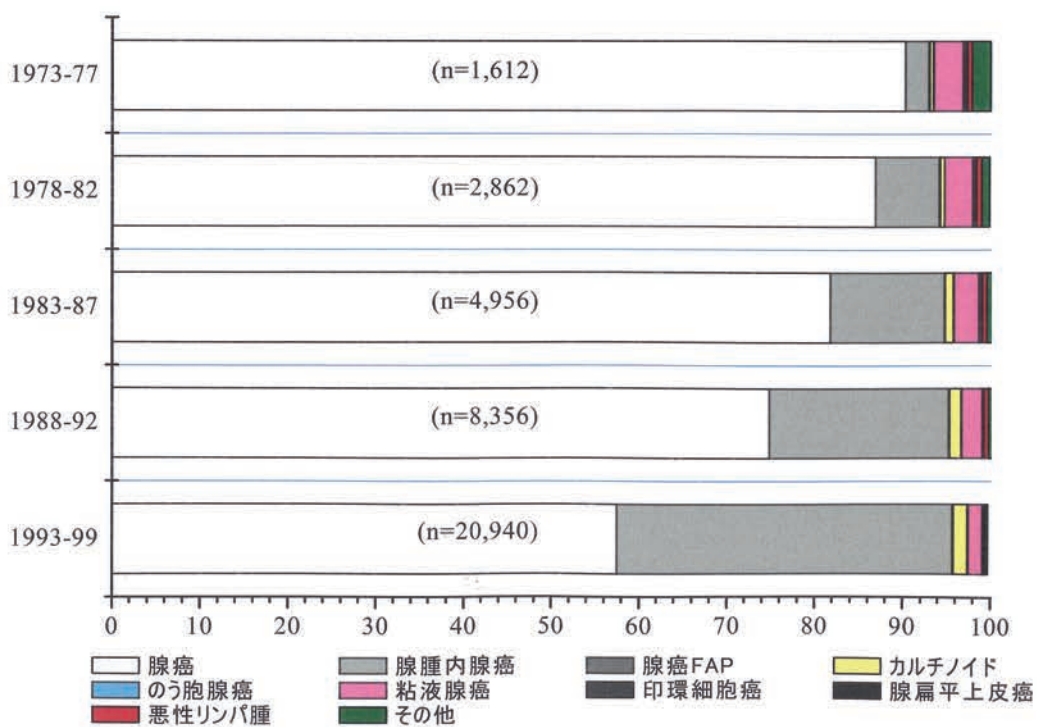
(上段は登録数、下段は人口10万人あたりの登録率)

(6) 大腸腫瘍（良性および悪性）の組織型分類割合の年次推移

（良性腫瘍）



（悪性腫瘍）



(6) 大腸腫瘍（良性および悪性）の組織型分類割合の年次推移

(良性腫瘍)

組織型 年次	腺腫	多発性腺腫	腺腫 FAP	非上皮性腫瘍	その他
1973-1977	220 79.1	42 15.1	2 0.7	12 4.3	2 0.7
1978-1982	717 73.0	235 23.9	13 1.3	14 1.4	3 0.3
1983-1987	2,964 63.0	1,560 33.1	121 2.6	60 1.3	2 0.0
1988-1992	8,920 54.4	7,320 44.7	10 0.1	136 0.8	0 0.0
1993-1999	28,141 50.1	27,542 49.1	17 0.0	443 0.8	1 0.0

(悪性腫瘍)

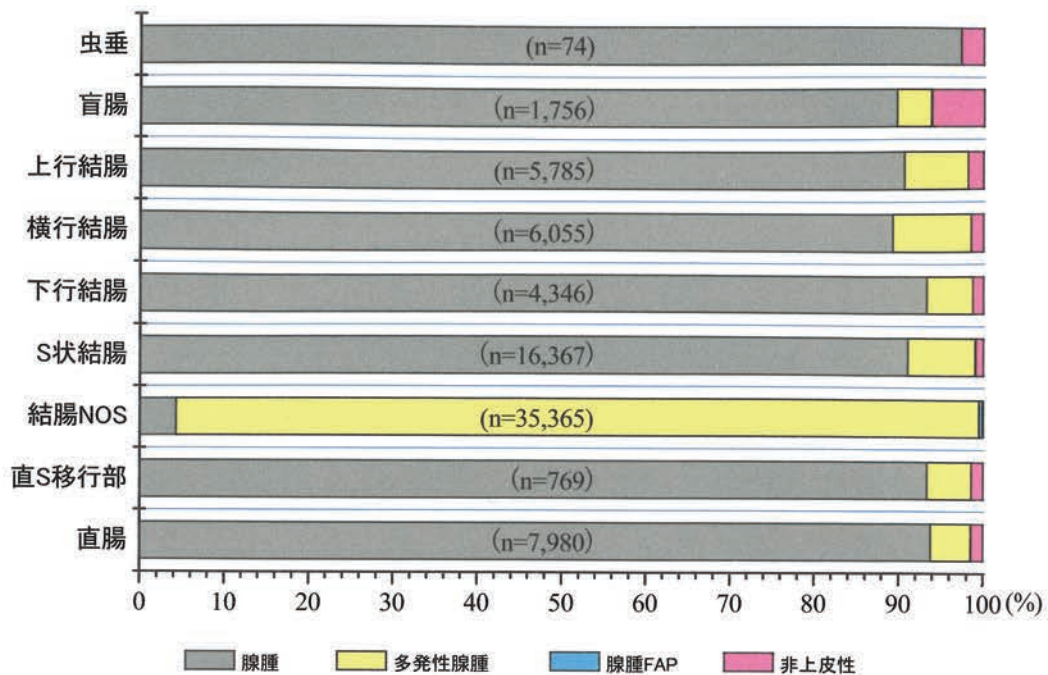
組織型 年次	腺癌	腺腫内腺癌	腺癌 FAP	カルチノイド	のう胞腺癌
1973-1977	1,456 90.3	44 2.7	1 0.1	6 0.4	1 0.1
1978-1982	2,488 86.9	210 7.3	3 0.1	15 0.5	1 0.0
1983-1987	4,053 81.8	643 13.0	4 0.1	44 0.9	6 0.1
1988-1992	6,260 74.9	1,702 20.4	7 0.1	105 1.3	7 0.1
1993-1999	12,050 57.5	8,005 38.2	26 0.1	333 1.6	19 0.1

組織型 年次	粘液腺癌	印環細胞癌	腺扁平上皮癌	悪性リンパ腫	その他
1973-1977	54 3.3	5 0.3	3 0.2	8 0.5	34 2.1
1978-1982	92 3.2	10 0.3	2 0.1	16 0.6	25 0.9
1983-1987	138 2.8	13 0.3	4 0.1	23 0.5	28 0.6
1988-1992	195 2.3	10 0.1	9 0.1	38 0.5	23 0.3
1993-1999	344 1.6	29 0.1	9 0.0	52 0.2	73 0.3

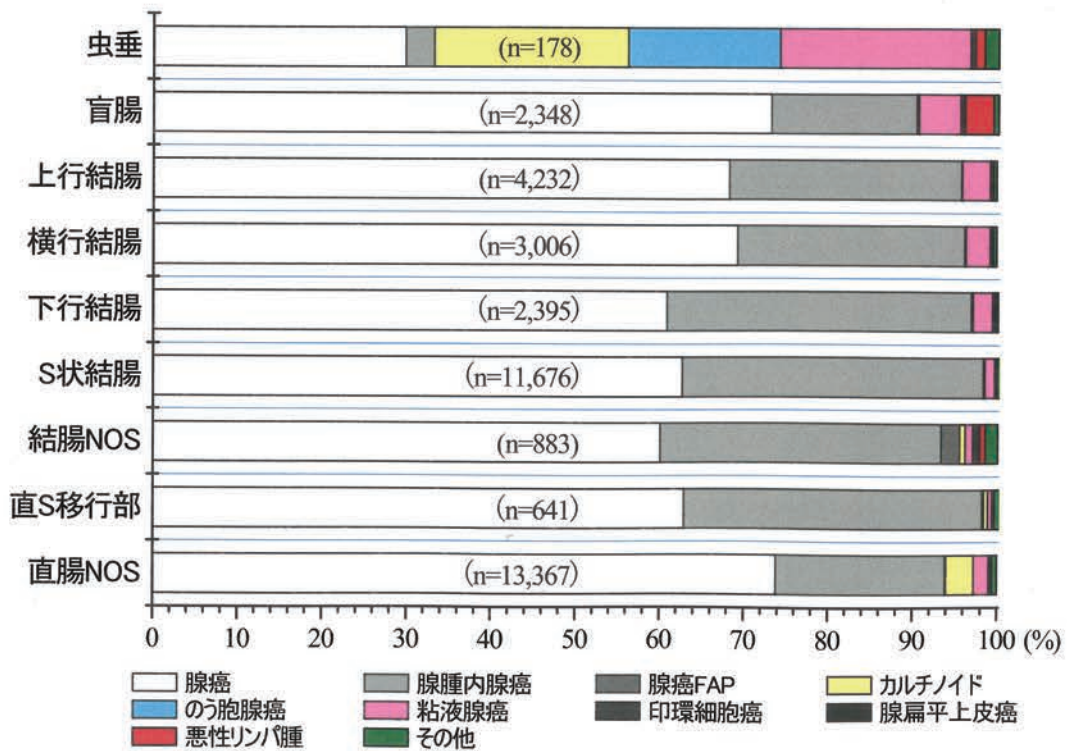
(上段は登録数、下段は年次合計に対する割合 (%))

(7) 大腸腫瘍（良性および悪性）の詳細部位別組織型分類割合

(良性腫瘍)



(悪性腫瘍)



(7) 大腸腫瘍（良性および悪性）の詳細部位別組織型分類割合

(良性腫瘍)

部位 \ 組織型	腺腫	多発性腺腫	腺腫 FAP	非上皮性
虫 垂	72 97.3	0 0.0	0 0.0	2 2.7
盲 腸	1,575 89.7	72 4.1	1 0.0	108 6.2
上 行 結 腸	5,241 90.6	433 7.5	2 0.0	109 1.9
横 行 結 腸	5,402 89.2	562 9.3	3 0.0	88 1.5
下 行 結 腸	4,054 93.3	234 5.4	2 0.0	56 1.3
S 状 結 腸	14,892 91.0	1,316 8.0	12 0.1	147 0.9
結 腸 N O S	1,525 4.3	33,664 95.2	138 0.4	38 0.1
直腸S状結腸移行部	718 93.4	40 5.2	0 0.0	11 1.4
直 腸	7,483 93.8	378 4.7	5 0.1	114 1.4

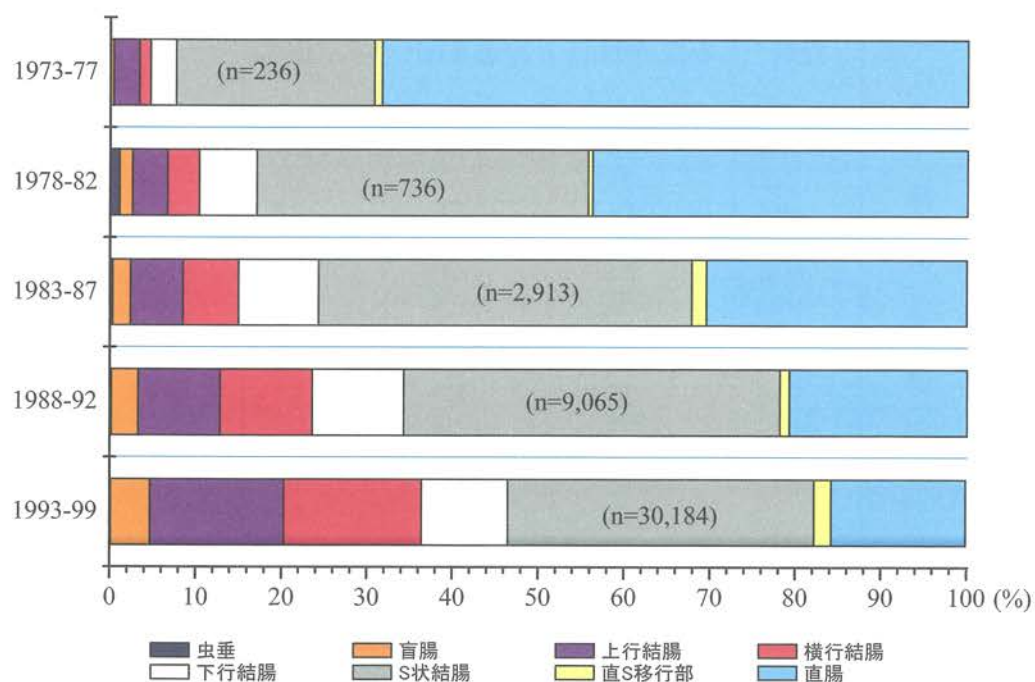
(悪性腫瘍)

部位 \ 組織型	腺癌	腺腫内 腺 癌	腺癌 FAP	カルチ ノイド	のう胞 腺 癌	粘液 腺癌	印 環 細胞がん	腺扁平 上皮癌	悪 性 リンパ腫	その他
虫 垂	53 29.7	6 3.4		41 23.0	32 18.0	40 22.5	1 0.6	0 0.0	2 1.1	3 1.7
盲 腸	1,718 73.2	403 17.1	1 0.0	5 0.2	1 0.0	117 5.0	6 0.3	5 0.2	79 3.4	13 0.6
上 行 結 腸	2,887 68.3	1,164 27.5	1 0.0	4 0.1	1 0.0	138 3.3	6 0.1	2 0.0	11 0.3	18 0.4
横 行 結 腸	2,079 69.2	810 27.0	1 0.0	2 0.1	0 0.0	88 2.9	7 0.2	1 0.0	7 0.2	11 0.4
下 行 結 腸	1,458 60.8	863 36.0	2 0.1	3 0.1	0 0.0	55 2.3	4 0.2	0 0.0	4 0.2	6 0.3
S 状 結 腸	7,319 62.4	4,151 35.6	6 0.1	10 0.1	0 0.0	135 1.2	9 0.1	7 0.1	8 0.1	31 0.3
結 腸 N O S	531 60.1	294 33.3	19 2.2	5 0.6	0 0.0	8 0.9	6 0.7	1 0.1	6 0.7	13 1.5
直腸S状結腸移行部	403 62.7	226 35.3	1 0.2	3 0.5	0 0.0	3 0.5	2 0.3	0 0.0	0 0.0	3 0.5
直 腸	9,859 73.8	2,687 20.1	10 0.1	430 3.2	0 0.0	239 1.8	26 0.2	11 0.1	20 0.1	85 0.6

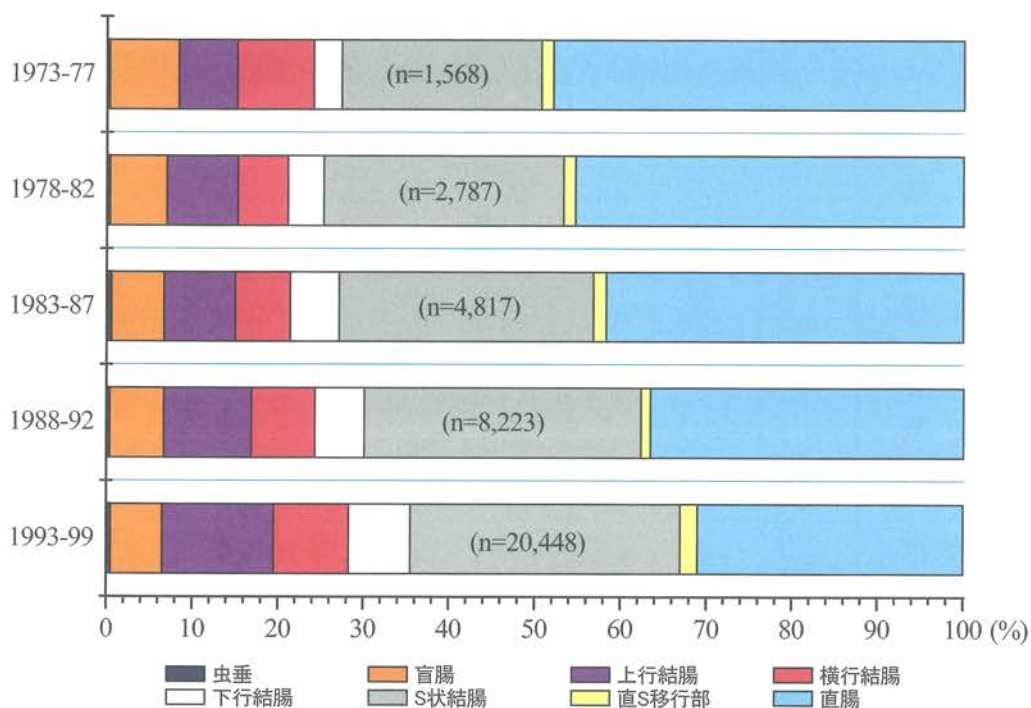
(上段は登録数、下段は年次合計に対する割合 (%))

(8) 大腸腫瘍数（良性および悪性）の詳細部位別分類割合の年次推移

(良性腫瘍)



(悪性腫瘍)



(8) 大腸腫瘍数（良性および悪性）の詳細部位別分類割合の年次推移

(良性腫瘍)

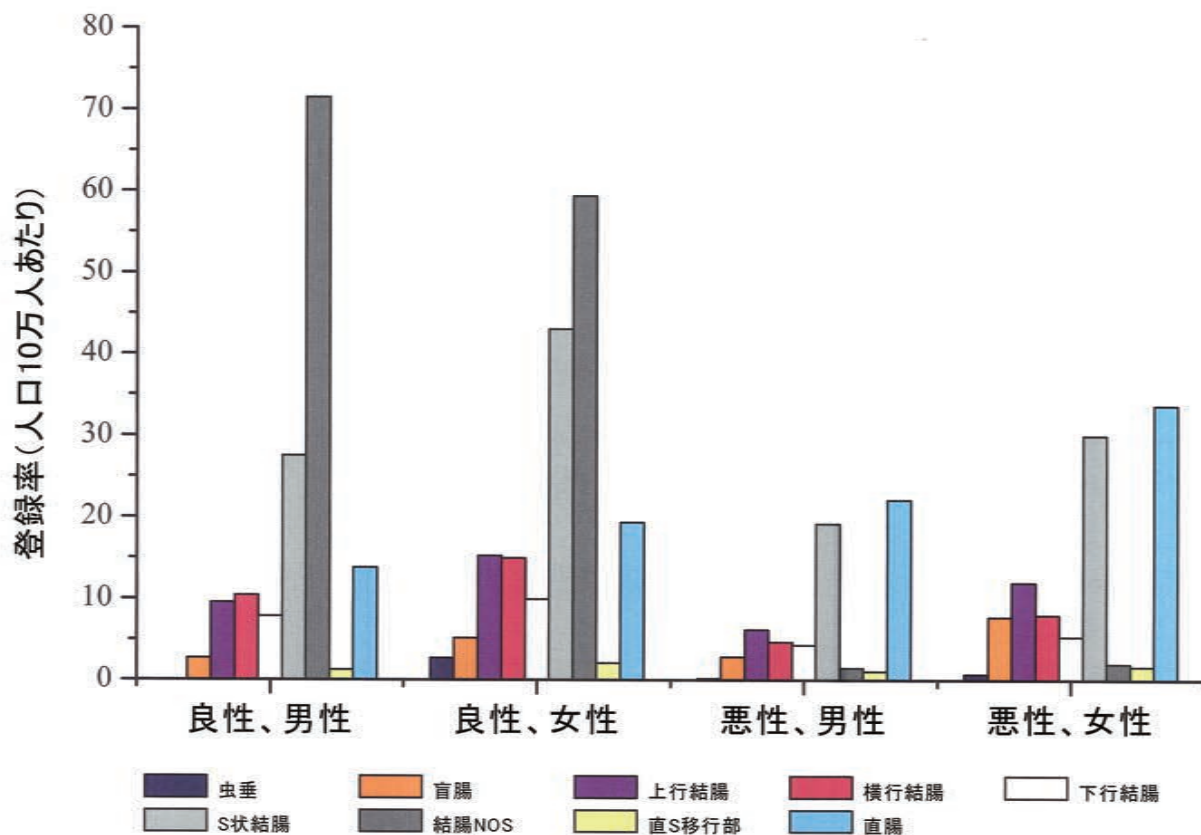
部位 年次	虫垂	盲腸	上行結腸	横行結腸	下行結腸	S 状結腸	直腸 S 状 結腸移行部	直腸
1973-1977	0 0.0	1 0.4	7 3.0	3 1.3	7 3.0	54 23.1	2 0.8	160 68.4
1978-1982	8 1.1	11 1.5	30 4.1	27 3.7	49 6.7	285 38.7	4 0.5	322 43.7
1983-1987	8 0.3	60 2.1	179 6.1	189 6.5	271 9.3	1,270 43.6	50 1.7	886 30.4
1988-1992	14 0.2	281 3.1	867 9.6	972 10.7	968 10.7	3,976 43.8	99 1.1	1,888 20.8
1993-1999	44 0.2	1,403 4.6	4,702 15.6	4,864 16.1	3,051 10.1	10,782 35.7	614 2.0	4,724 15.7

(悪性腫瘍)

部位 年次	虫垂	盲腸	上行結腸	横行結腸	下行結腸	S 状結腸	直腸 S 状 結腸移行部	直腸
1973-1977	4 0.3	127 8.1	106 6.7	139 8.9	52 3.3	366 23.3	22 1.4	752 48.0
1978-1982	10 0.4	185 6.6	230 8.3	162 5.8	117 4.2	781 28.0	40 1.4	1,262 45.3
1983-1987	28 0.6	296 6.1	398 8.3	307 6.4	273 5.7	1,432 29.7	72 1.5	2,011 41.7
1988-1992	34 0.4	518 6.3	836 10.2	608 7.4	474 5.8	2,652 32.2	89 1.1	3,012 36.6
1993-1999	102 0.5	1,222 6.0	2,662 13.0	1,790 8.8	1,479 7.2	6,445 31.5	418 2.0	6,330 31.0

(上段は登録数、下段は年次合計に対する割合(％))

(9) 大腸腫瘍（良性および悪性）の詳細部位別登録数と年齢調整登録率



(9) 大腸腫瘍（良性および悪性）の詳細部位別登録数と年齢調整登録率

良・悪、性別		良性、男性	良性、女性	悪性、男性	悪性、女性
部位	良・悪、性別	登録数	登録数	登録数	登録数
	良・悪、性別	年齢調整登録率	年齢調整登録率	年齢調整登録率	年齢調整登録率
虫垂	良	25	47	72	102
	悪	0.1	0.3	0.2	0.7
盲腸	良	1,014	726	1,067	1,219
	悪	2.7	5.2	2.9	7.8
上行結腸	良	3,537	2,186	2,306	1,831
	悪	9.5	15.2	6.2	12.0
横行結腸	良	3,867	2,108	1,743	1,209
	悪	10.4	15.0	4.7	8.0
下行結腸	良	2,914	1,347	1,596	763
	悪	7.8	9.9	4.3	5.3
S状結腸	良	10,206	5,862	7,132	4,302
	悪	27.5	43.0	19.2	30.0
結腸NOS	良	26,601	8,470	561	292
	悪	71.5	59.4	1.5	2.0
直腸S状結腸移行部	良	475	287	399	237
	悪	1.3	2.1	1.1	1.6
直腸	良	5,121	2,689	8,201	4,835
	悪	13.8	19.3	22.1	33.7

(上段は登録数、下段は人口10万人あたりの年齢調整登録率(1985年日本モデル人口で調整))

大腸腫瘍の組織型詳細内訳

良性腫瘍	男性	女性
腺腫		
管状腺腫	22,154	12,474
腺腫性ポリープ	1,986	1,013
管状絨毛状腺腫	1,254	954
腺腫 NOS	685	340
粘液性のう胞腺腫	17	35
乳頭状腺腫	27	9
ろ胞腺腫	0	1
のう胞腺腫	2	5
粘液腺腫	1	1
小計	26,126	14,832
多発腺腫	27,823	8,874
腺腫 FAP	128	35
その他		
平滑筋腫	218	73
脂肪腫	113	166
リンパ管腫	22	9
血管腫	12	4
顆粒細胞腫	10	3
乳頭腫	4	1
線維脂肪腫	2	2
海綿状血管腫	2	2
血管脂肪腫	2	1
神経節神経腫	2	1
母斑	0	3
奇形腫	0	3
のう胞リンパ管腫	0	3
神経線維腫	1	2
神経鞘腫	3	0
移行上皮乳頭腫	2	0
線維腫	1	1
上皮腫	1	0
線維性組織球腫	1	0
血管筋腫	1	0
血管内皮腫	1	0
海綿状リンパ管腫	1	0
小計	399	274
総計	54,476	24,015

悪性腫瘍	男性	女性
腺癌		
管状腺癌	9,395	6,833
腺癌	4,501	3,431
乳頭状腺癌	1,181	961
その他の腺癌	1	2
小計	15,078	11,227
腺腫内腺癌		
腺腫性腺癌	6,723	2,686
管状絨毛状腺腫内腺癌	477	250
絨毛状腺腫内腺癌	259	189
多発性腺腫性腺癌	15	5
小計	7,474	3,130
腺癌 FAP	22	19
カルチノイド		
カルチノイド NOS	292	201
嗜銀性カルチノイド	1	0
杯細胞カルチノイド	3	3
神経内分泌癌	2	1
小計	298	205
のう胞腺癌		
粘液性のう胞腺癌 NOS	9	24
のう胞腺癌 NOS	1	0
小計	10	24
粘液腺癌	440	383
印環細胞癌	46	21
腺扁平上皮癌	13	14
悪性リンパ腫	82	55
その他		
癌腫	39	35
平滑筋肉腫	27	21
扁平上皮癌	13	14
移行上皮癌	7	6
悪性黒色腫	4	4
その他の肉腫	3	5
類基底細胞癌	0	1
詳細不明	3	1
小計	96	87
総計	23,559	15,165

学会発表

広島県医師会腫瘍登録業績目録

学会、研究会発表

1. 斎 謙, 中村修司, 原田雅弘, 笹尾哲朗, 原田義弘, 原田東岷 :
広島県における腫瘍登録による骨腫瘍の統計的観察
第33回広島医学会総会 (広島), 1980.11.8 ~ 9
広島医学 34(6) : p653, 1981
2. 大内五良, 斎 謙, 中村修司, 原田雅弘 :
広島県における腫瘍登録による骨腫瘍の統計的観察.
第54回日本整形外科学会総会 (横浜), 1981.3.31 ~ 4.1
日本整形外科学会雑誌 55(10) : p1511-1512, 1981
3. 小山幸次郎 :
腎盂、尿管、膀胱がん患者の尿路上皮腫瘍再発リスク—広島県腫瘍登録データを利用して.
第8回地域がん登録全国協議会学術集会 (米子), 2002.9.13
JACR Monograph 8: p63, 2003
5. 西 信雄, 杉山裕美, 笠置文善, 片山博昭, 児玉和紀, 米原修治, 有田健一, 安井 弥 :
組織登録からみた広島県における前立腺腫瘍登録数の推移 (ポスター受賞)
第14回地域がん登録全国協議会総会研究会 (東京), 9月2-3日, 2005
JACR Monograph 11: p60-66, 2006
6. 西 信雄, 杉山裕美, 片山博昭, 児玉和紀, 奥野博文, 桑原正雄, 平松恵一, 有田健一, 安井 弥, 碓井静照 : 広島県組織登録・広島市地域がん登録からみた悪性中皮腫
第58回広島医学会総会, 11月12-13日, 広島, 2005
7. 西 信雄 : 地域がん登録事業と今後の課題
第58回広島医学会総会, 11月12-13日, 広島, 2005
8. 西 信雄, 杉山裕美, 笠置文善, 片山博昭, 児玉和紀, 万代光一, 有田健一, 鎌田七男, 安井 弥 :
組織登録からみた広島県における卵巣腫瘍の実態
第15回地域がん登録全国協議会総会研究会, 9月1日, 山形, 2006
JACR Monograph 11: p60-64, 2006
9. 杉山裕美, 西 信雄, 笠置文善, 片山博昭, 児玉和紀, 桑原正雄, 有田健一, 安井 弥 :
広島市における女性乳がんの実態.
第15回地域がん登録全国協議会総会研究会, 9月1日, 山形, 2006
JACR Monograph 11: p55-59, 2006
10. 西 信雄, 杉山裕美, 笠置文善, 片山博昭, 児玉和紀, 桑原正雄, 有田健一, 安井 弥 :
第15回地域がん登録全国協議会総会研究会,
組織登録から見た広島県における前立腺腫瘍登録数の推移 9月1日, 山形, 2006
JACR Monograph 11: p60-64, 2006
11. 万代光一, 西 信雄, 杉山裕美, 有田健一, 安井 弥 :
広島県腫瘍登録からみた卵巣腫瘍の実態
第59回広島医学会総会, 11月11-12日, 広島, 2006
12. 安井 弥, 西 信雄, 武島幸男, 中山宏文, 米原修治, 有田健一 :
がん登録資料はどのように利用されるのか—広島県でがんはふえているか?—.

- 第16回地域がん登録全国協議会学術集会（広島），2007.9.6-7
JACR Monograph 13: p31-34, 2008
13. 有田健一，鎌田七男，安井 弥，高杉敬久，碓井静照，二宮基樹，桑原正雄，平松恵一，西 信雄，
児玉和紀，善岡雅之，奥野博文：
地域がん登録に果たす医師会の役割
第16回地域がん登録全国協議会総会研究会，9月6-7日（広島），2007
JACR Monograph 13: p11-15, 2008
 14. 福原敏行，西 信雄，有田健一，鎌田七男，安井 弥：
組織登録からみた広島県における甲状腺腫瘍の実態
第16回地域がん登録全国協議会総会研究会，9月6-7日，広島，2007
JACR Monograph 13: p69-72, 2008
 15. 福原敏行，西 信雄，有田健一，鎌田七男，安井 弥：
組織登録からみた広島県における甲状腺腫瘍の実態
第60回広島医学会総会，11月10-11日，広島，2007
 16. 有田健一，鎌田七男，安井 弥，高杉敬久，碓井静照，二宮基樹，桑原正雄，平松恵一，西 信雄，
児玉和紀，善岡雅之，奥野博文：
広島県地域がん登録と広島市地域がん登録の今後の関係について
第60回広島医学会総会，11月10-11日，広島，2007
 17. 杉山裕美，西 信雄，笠置文善，木矢克造，有田健一，安井 弥：
広島市における小児がんの罹患・死亡・生存率
第17回地域がん登録全国協議会（長崎），9月11-12日，2008
JACR Monograph 14: p70-71, 2009
 18. 西 信雄，壺丸 裕，杉山裕美，米原修治，有田健一，鎌田七男，安井 弥：
組織登録からみた広島県における皮膚腫瘍の実態。
第17回地域がん登録全国協議会（長崎），9月11-12日，2008
JACR Monograph 14: p66-67, 2009
 19. 壺丸 裕，西 信雄，杉山裕美，米原修治，有田健一，鎌田七男，安井 弥：
広島県腫瘍登録からみた皮膚腫瘍の実態
第61回広島医学会総会，11月29-30日，広島，2008
 20. 有田健一，杉山裕美，西 信雄，木矢克造，笠置文善，安井 弥：
広島市における小児がんの罹患・死亡・生存率
第61回広島医学会総会，11月29-30日，広島，2008
 21. 梶原博毅：
広島県医師会腫瘍登録室 35年の歩みとこれからの課題。広島大学：がんプロフェッショナル養成プラン、インテンシブコース定期講習会「これからのがん予防とがん登録のあり方について」。
広島大学霞キャンパス、広仁会館大講堂、2008.8.9.
 22. 梶原博毅：
広島県医師会腫瘍登録室の現状。広島県地域がん登録システム事業（地域がん・腫瘍）説明会、広島県医師会館、2009.2.13.
 23. 梶原博毅：
広島県医師会腫瘍登録室の現状。広島県地域がん登録システム事業（地域がん・腫瘍）説明会、福山市医師会館、2009.2.26.
 24. 立山義朗，西 信雄，杉山裕美，有田健一，鎌田七男，梶原博毅，安井 弥：

組織登録から見た広島県における中枢神経系腫瘍の実態。

地域がん登録全国協議会 第18回総会研究会—がん登録とがん検診—抄録集, p34-35, 2009.9.3 ~ 4. (新潟)

JACR Monograph 15: p42-43, 2010

25. 杉山裕美、西 信雄、有田健一、安井 弥、梶原博毅、鎌田七男、小笹晃太郎：広島県のがん登録。
地域がん登録全国協議会 第18回総会研究会—がん登録とがん検診—抄録集, p32-33, 2009.9.3 ~ 4. (新潟)

JACR Monograph 15: p38-39, 2010

26. 有田健一、安井 弥、梶原博毅、鎌田七男、高杉敬久、坂本好孝、杉山裕美、西 信雄、小笹晃太郎、渡邊かおり、津山順子：広島県の地域がん登録。

地域がん登録全国協議会 第18回総会研究会—がん登録とがん検診— (新潟), 2009.9.3~4.

JACR Monograph 15: p86-87, 2010

27. 立山義朗、西 信雄、杉山裕美、有廣光司、重西邦浩、金子真弓、川上秀史、佐々木なおみ、仙谷和弘、園部 宏、臺丸 裕、高田佳輝、武島幸男、田中英夫、谷山清己、中山宏文、西田俊博、林 雄三、福原敏行、藤原 恵、松浦修二、松浦博夫、万代光一、米原修治、坂本好孝、有田健一、鎌田七男、梶原博毅、安井 弥 (広島県腫瘍登録実務委員会、放射線影響研究所疫学部) :
組織登録から見た広島県における中枢神経系腫瘍の実態。

第62回広島医学会総会 2009.11.8. (広島)、広島医学: 63(2), p114, 2010

28. Tachiyama, Y., Nishi, N., Sugiyama, H., Ozasa, K., Arita, K., Kamada, N., Kajihara, H. and Yasui, W.:
A study of central nervous system tumors by histological type in the Hiroshima Prefecture tumor registry. The 32th International Association of Cancer Registry (IACR), 2010.10.12~14 (Yokohama). Program and book of abstracts, p. 197.

29. 立山義朗、西 信雄、杉山裕美、小笹晃太郎、有田健一、鎌田七男、梶原博毅、安井 弥 :
組織登録からみた広島県における中枢神経系腫瘍の組織型別検討。

第19回地域がん登録全国協議会、学術集会 (横浜市)、2010.10.15. 抄録集 p.27.

JACR Monograph 16: p78-79, 2011

30. 有田健一、安井 弥、梶原博毅、鎌田七男、坂本好孝、杉山裕美、小笹晃太郎、新宅郁子、宇都宮仁志 :

広島県の地域がん登録。

地域がん登録全国協議会、第19回学術集会 (横浜市)、2010.10.15. 抄録集 p.53.

31. 有田健一、杉山裕美、小笹晃太郎、安井 弥、鎌田七男、津山順子、碓井静照 :
広島県地域がん登録からみた原発性肺癌の実態とその評価。第51回日本肺癌学会 (広島), 2010.11.3-4

32. 有田健一、安井 弥、梶原博毅、鎌田七男、碓井静照、杉山裕美、小笹晃太郎、津山順子 :
広島県における地域がん登録の廻り調査—医師会の役割を中心に—。

第63回広島医学会総会 (広島医師会館)、2010.11.14.

33. 有田健一、山崎正弘、岡田守人、安井 弥、鎌田七男、津山順子、碓井静照 :
広島県地域がん登録を基盤に置いた肺癌の医療連携ネットワークの構築。

第51回日本呼吸器学会学術集会 (東京), 2011.4.22-24

34. 杉山裕美、小笹晃太郎、津村裕昭、有田 健、安井 弥、梶原博毅 :
地域がん登録における収集法の違いによる完全性と項目内容への影響。

第20回地域がん登録全国協議会第20回学術集会 (千葉市), 2011.09.14~15.

第20回学術集会抄録集 p.25.

JACR Monograph 17: p28-29, 2012

35. 松浦博夫、小笹晃太郎、杉山裕美、有田健一、鎌田七男、梶原博毅、安井 弥：
広島県組織登録での尿路系腫瘍（腎腫瘍、尿路腫瘍）の解析。
第20回地域がん登録全国協議会、第20回学術集会（千葉市）、2011.09.14～15。
JACR Monograph 17: p35-37, 2012
36. 正木泰洋、新宅郁子、武田直也、杉山裕美、坂本好孝、小笹晃太郎、有田健一、梶原博毅、鎌田七男：
広島県住基ネットを活用した生存確認調査の概要と結果。
第21回地域がん登録全国協議会、学術集会（高知市）、2012.06.07～08。
第21回学術集会抄録集 p.25-26
JACR Monograph 18: p26-27, 2013
37. 藤原 恵、小笹晃太郎、杉山裕美、有田健一、鎌田七男、梶原博毅、安井 弥：
組織登録からみた広島県における膵胆道系腫瘍の実態。
第21回地域がん登録全国協議会、学術集会（高知市）、2012.06.07～08。
第21回学術集会抄録集 p.28-29
JACR Monograph 18: 30～33, 2013
38. 佐藤圭介、森 典子、小笹晃太郎、杉山裕美、坂本好孝、武田直也、村井 真、平井 幸、有田健一、
梶原博毅、鎌田七男：
広島県地域がん登録室の紹介。
第22回地域がん登録全国協議会、学術集会（秋田市）、2013.06.13～14。
第22回学術集会抄録集 p.409-502。
JACR Monograph 19: p182～183, 2014
39. 金子真弓、杉山裕美、小笹晃太郎、歌田真依、有田健一、梶原博毅、米原修治、武島幸男、鎌田七男、
安井 弥：
広島県腫瘍登録における食道腫瘍の解析。
第23回地域がん登録全国協議会、学術集会（津市）、2014.06.12～13。
第23回学術集会抄録集 p.40。
JACR Monograph 21: p28-37, 2015
40. 答島裕子、山田直樹、楠窪麻里香、梶原博毅、小笹晃太郎、杉山裕美、歌田真依、坂本好孝、金光義雄、
村井 真、平井 幸、有田健一：
広島県地域がん登録中央登録室の紹介。
第23回地域がん登録全国協議会、学術集会（津市）、2014.06.12～13。
第23回学術集会抄録集 p.60
JACR Monograph 21: p200-202, 2015
41. 西坂 隆、杉山裕美、小笹晃太郎、歌田真依、有田健一、野間 純、山田博康、津谷隆史、梶原博毅、
米原修治、武島幸男、安井 弥：
広島県腫瘍登録における精巣腫瘍の解析。
第24回地域がん登録全国協議会、学術集会（前橋市）、2015.06.10～11。
第24回学術集会抄録集 p.53～54
JACR Monograph 22: 186-187, 2016
42. 答島裕子、梶原博毅、山田直樹、今田あゆ美、小笹晃太郎、杉山裕美、歌田真依、坂本好孝、
佐々木真也、本岡 修、平井 幸、野間 純、山田博康、津谷隆史：
広島県地域がん登録中央登録室の紹介。
第24回地域がん登録全国協議会、学術集会（前橋市）、2015.06.10～11
第24回学術集会抄録集 p.63

JACR Monograph 22: p200~202, 2016

43. 今田あゆみ、答島裕子、山田直樹、小笹晃太郎、杉山裕美、歌田真依、坂本好孝、佐々木真也、平井 幸、梶原博毅、野間 純、山田博康、津谷隆史、平松恵一：
広島県腫瘍登録事業のあゆみ。(ポスター賞受賞)
第25回地域がん登録全国協議会学術集会 (金沢)、2016.6.2 ~ 3
学術集会「全国がん登録の保健・医療への貢献」抄録集 p.57
JACR Monograph 22: p151-153, 2017
44. 仙谷和弘、小川郁子、小笹晃太郎、定金敦子、歌田真依、野間 純、山田博康、津谷隆史、梶原博毅、米原修治、武島幸男、安井 弥：
広島県腫瘍登録における唾液腺腫瘍の解析。
第25回地域がん登録全国協議会、学術集会 (金沢)、2016.6.2 ~ 3.
第25回学術集会「全国がん登録の保健・医療への貢献」抄録集 p.73~74
JACR Monograph 22: p179-179, 2017
45. 重西邦浩、小川郁子、杉山裕美、米原修治、小笹晃太郎、梶原博毅、野間 純、山田博康、津谷隆史、武島幸男、広島県腫瘍登録実務委員会：
広島県腫瘍登録における骨腫瘍、歯源性腫瘍の解析。
第26回地域がん登録全国協議会、学術集会「The New Mission」(松山市) 2017.8.9・10
第26回学術集会抄録集 p.101.
JACR Monograph 23: p177~179, 2018
46. 杉山裕美、重西邦浩、米原修治、梶原博毅、小笹晃太郎、津谷隆史、武島幸男：
広島県腫瘍登録における軟部腫瘍の解析，1973-2012年。
第27回地域がん登録全国協議会学術集会 (那覇)、2018.6.13,
第27回学術集会抄録集
JACR Monograph 24: p18, 2019
47. 重西邦浩、杉山裕美、米原修治、小笹晃太郎、梶原博毅、津谷隆史、武島幸男：
広島県腫瘍登録における軟部腫瘍の解析。(ポスター賞受賞)
日本病理学会秋期特別総会 (呉市)、2018.11.21~22.
日本病理学会会誌 第107巻, 第2号. p.118, 2018
48. 杉山裕美、重西邦浩、米原修治、小笹晃太郎、梶原博毅、津谷隆史、武島幸男：
広島県腫瘍登録に登録された骨腫瘍の解析. 1973-2014年.
第29回日本疫学会学術総会 (東京), 2019.1.30 ~ 2.01
49. 市村浩一、杉山裕美、広島県腫瘍登録実務委員会：
広島県腫瘍登録におけるリンパ系腫瘍の解析—1973~2014年—.
第28回地域がん登録全国協議会学術集会 (札幌)、2019.6.19~21,
第28回学術集会抄録集
JACR Monograph 25: p22, 2020

論文掲載

広島県医師会腫瘍登録業績目録

A. 和文論文

1. 広島県腫瘍登録委員会腫瘍登録室（山田 明）：広島県における腫瘍の実態(1)―昭和48年度の登録された県下剖検例についての視点より―，広島医学 29(1)：p82-90, 1976
2. 広島県腫瘍登録委員会腫瘍登録室（山田 明）：広島県における腫瘍の実態(2)―昭和48年度に於ける登録された子宮癌（体部及び腔部），子宮の Carcinoma in situ について―，広島医学 29(2)：p74-76, 1976
3. 広島県腫瘍登録委員会腫瘍登録室（山田 明）：広島県における腫瘍の実態(3)―昭和49年度に於ける登録された子宮癌（体部及び腔部），子宮の Carcinoma in situ について―，広島医学 29(2)：p77-79, 1976
4. 広島県腫瘍登録委員会腫瘍登録室（山田 明）：広島県における腫瘍の実態(4)―昭和48年度に於ける登録された舌腫瘍について―，広島医学 29(5)：p106-109, 1976
5. 広島県腫瘍登録委員会腫瘍登録室（山田 明）：広島県における腫瘍の実態(5)―昭和49年度に於ける登録された舌腫瘍について―，広島医学 29(7)：p120-123, 1976
6. 広島県腫瘍登録委員会腫瘍登録室（山田 明）：広島県における腫瘍の実態(6)―昭和50年度に於ける登録された子宮癌（体部及び頸部），Carcinoma in situ について―，広島医学 29(10)：p75-78, 1976
7. 広島県腫瘍登録委員会腫瘍登録室（山田 明）：広島県における腫瘍の実態(7)―昭和50年度に於ける登録された舌腫瘍について―，広島医学 30(1)：p97-100, 1977
8. 広島県腫瘍登録委員会腫瘍登録室（山田 明）：広島県における腫瘍の実態(8)―昭和48～50年度に登録された食道腫瘍についての考察，特にその follow up にも視点を置いて―，広島医学 30(3)：p106-112, 1977
9. 広島県腫瘍登録委員会腫瘍登録室（山田 明）：広島県における腫瘍の実態(9)―昭和48～51年度に登録された胃癌に関する若干の考察，特にその罹患率の推定についての一試み―，広島医学 30(8)：p81-84, 1977
10. 広島県腫瘍登録委員会腫瘍登録室（山田 明）：広島県における腫瘍の実態(10)―県内の病理組織診の現状について―，広島医学 31(2)：p90-92, 1978
11. 広島県腫瘍登録委員会腫瘍登録室（山田 明）：広島県における腫瘍の実態(11)―組織腫瘍の視点よりの昭和49年～51年に診断された胃癌について―，広島医学 31(5)：p84-89, 1978
12. 広島県腫瘍登録委員会腫瘍登録室（山田 明）：広島県における腫瘍の実態(12)―最近5年間（昭和49年～52年）の県内に於ける病理組織診の趨勢について～「組織腫瘍登録」を視点として―，広島医学 32(1)：p93-96, 1979
13. 広島県腫瘍登録委員会腫瘍登録室（山田 明）：広島県における腫瘍の実態(13)―昭和48年～50年間の胃癌症例の解剖状況について―，広島医学 32(2)：p88-91, 1979
14. 広島県腫瘍登録委員会腫瘍登録室（山田 明）：広島県における腫瘍の実態(14)―昭和48年～52年の5年間に病理組織学的に初診定された肺悪性腫瘍，特に肺癌について―「組織腫瘍登録」を視点として―，広島医学 32(10)：p104-111, 1979
15. 広島県腫瘍登録委員会腫瘍登録室（山田 明）：広島県における腫瘍の実態(15) 原子爆弾被爆者及び非被爆者の悪性腫瘍の病理組織学的研究(1)―肺悪性腫瘍，主として肺癌について（昭和48年～52年の「組織腫瘍登録」例を視点として）―，広島医学 36(4)：p104-108, 1983
16. 梶山悟朗他（広島県腫瘍登録委員会；杉本杉雄他、広島県地対協；栗原登他、広島県地対協悪性腫瘍専

- 門委員会), 悪性新生物学調査), 広島医学 38(11): p98-105, 1985
17. 井内康輝、梶原博毅、山本 務、馬淵清彦、若林俊郎: 広島県腫瘍登録委員会の組織登録における悪性腫瘍(がん)の重複登録例の解析, 広島医学 39(10): p120-125, 1986
18. 関根一郎、七条和子、伊東正博他: 甲状腺腫瘍の検討。長崎県腫瘍組織登録委員会登録資料 1973~1988年より。広島医学 45(3): p488-492, 1992
19. 井内康輝、有広光司、秋葉澄伯他: 広島県腫瘍登録における両側性乳癌及び乳癌と多臓器癌の重複例, 乳癌の臨床 9(1): p99-105, 1994
20. 下方浩史、早川式彦、松浦正明他: 被爆者肺がん検診の意義に関する研究(第1報)、腫瘍登録データとのレコードリンケージについて。長崎医学会雑誌 71巻特集 p253-256, 1996
21. 柴田義貞: 原爆被爆者における悪性腫瘍の発生率。原爆症に関する調査研究班報告書(平成9年度) p18-20, 1998
22. 西 信雄、杉山裕美、児玉和紀、小山幸次郎、桑原正雄、平松恵一、有田健一、碓井静照: 広島市におけるがん登録の精度と罹患率, 広島医学 58(2): 93-95, 2005
23. 西 信雄(放射線影響研究所)、他、安井 弥、他(広島県腫瘍登録実務委員会)、片山博昭(放射線影響研究所情報技術部): 組織登録から見た広島県に於ける前立腺悪性腫瘍の推移, 広島医学 58(10): p580-583, 2005
24. 杉山裕美、西 信雄、笠置文善、片山博昭、児玉和紀、藤原 恵、伊藤千賀子、福原敏行、松浦博夫、杉山 悟、高田佳輝、山東敬弘、実綿啓明、栗栖佳宏、好永順二、伊与田邦昭、矢誠昌弘、桑原正雄、平松恵一、有田健一、安井 弥: 広島市における乳がん罹患率の推移, 広島医学 58(11): p639-642, 2005
25. 西 信雄、杉山裕美、児玉和紀、奥野博文、桑原正雄、平松恵一、有田健一、安井 弥、碓井静照: がん登録から見た広島県及び広島市における悪性中皮腫, 広島医学 59(5): p435-438, 2006
26. 安井 弥: 地域がん登録と病理組織登録, 病理と臨床 26(12): 1310-1311, 2008
27. 杉山裕美、西 信雄、桑原正雄、二宮基樹、有田健一、安井 弥、笠置文善、児玉和紀: 広島市における小児がん患者の受療動態, 広島医学 61(7): p557-562, 2008
28. 有田健一、杉山裕美、西 信雄、安井 弥、木矢克造、笠置文善、広島県腫瘍登録実務委員会: 広島市における小児がんの罹患・死亡・生存率, 広島医学 62(2): p103-104, 2009
29. 杉山裕美、西 信雄、伊藤 桂、檜原啓之、安井 弥、梶原博毅、鎌田七男、有田健一、小笹晃太郎: 広島県地域がん登録における遡り調査の成果, 広島医学 62(11): p 528-532, 2009
30. 有田健一: 広島県に於ける地域がん登録の遡り調査—医師会の役割を中心に—, 日本医師会雑誌 139(11): p2379-2382, 2011
31. 梶原博毅、安井 弥、杉山裕美、小笹晃太郎、有田健一、鎌田七男、碓井静照: 広島県地域医療における腫瘍組織登録と、その広島県地域がん登録に果たす役割。—沿革、現状及び今後の課題について—, 広島医学 65(5): p426-433, 2012
32. 山上峰生、園部 宏、藤井普子、矢迫啓子、那須京子: 当院における広島腫瘍組織登録コーディングへの取り組み, 福山医学 23: p53-58, 2016
33. 矢迫啓子、園部 宏、那須京子、山上峰生、梶原博毅: ケースファインディングの見直しによる院内がん登録の精度向上, 広島医学 70(3): p134-137, 2017

B. 英文論文

1. Hiroshima Tumor Tissue Registry, Acting Committee: Analysis of false multiple primary cancers: Hiroshima Tumor Tissue Registry's experience. *Japanese Journal of Clinical Oncology* 17(3): p197–204, 1987
2. Takeichi N, Dohi K, Yamamoto H, Ito H, Mabuchi K, Yamamoto T, Shimaoka K and Yokoro K: Parathyroid tumors in atomic Bomb survivors in Hiroshima: Tumor tissue registry, 1974–1978. *Japanese Journal of Cancer Research* 82(8): p875–878, 1991
3. Land CE, Saku T, Hayashi Y, Takahara O, Matsuura H, Tokuoka S, Tokunaga M, Mabuchi K: Incidence of salivary gland tumors among atomic bomb survivors, 1950–1987. Evaluation of radiation-related risk. *Radiat Res* 146: p28–36, 1996
4. Saku T, Hayashi Y, Takahara O, Matsuura H, Tokunaga M, Tokuoka S, Soda M, Mabuchi K, Land CE: Salivary gland tumors among atomic bomb survivors, 1950–1987. *Cancer* 79(8): p1465–1475, 1997
5. Mabuchi K, Tokuoka S: Radiation, salivary gland tumors and characterization of histologic features. *Igaku no Ayumi [J Clin Exp Med]* 183(7): p468–469, 1997
7. Ron E, Preston DL, Kishikawa M, Kobuke T, Iseki M, Tokuoka S, Tokunaga M, Mabuchi K: Skin tumor risk among atomic-bomb survivors in Japan. *Cancer Causes Control* 9(4): p393–401, 1998
8. Cologne JB, Tokuoka S, Beebe GW, Fukuhara T, Mabuchi K: Effects of radiation on incidence of primary liver cancer among atomic bomb survivors *Radiat Res* 152(4): p364–73, 1999
9. Fukuhara T, Sharp GB, Mizuno T, Itakura H, Yamamoto M, Tokunaga M, Tokuoka S, Cologne JB, Fujita Y, Soda M, Mabuchi K: Liver cancer in atomic-bomb survivors: Histological characteristics and relationships to radiation and hepatitis B and C viruses. *J Radiat Res (Tokyo)* 42: p117–130, 2001
10. Preston DL, Ron E, Yonehara S, Kobuke T, Fujii H, Kishikawa M, Tokunaga M, Tokuoka S, Mabuchi K: Tumors of the nervous system and pituitary gland associated with atomic bomb radiation exposure. *J Natl Cancer Inst (JNCI)* 94(20): p1555–1563, 2002
11. Arihiro K: Benign breast tumors in Japanese women, 1973–1995; Experience of Hiroshima tumor tissue registry. *Japanese Journal of Cancer Research* 93(6): p610–615, 2002
12. Sharp GB, Mizuno T, Cologne JB, Fukuhara T, Fujiwara S, Tokuoka S, Mabuchi K: Hepatocellular carcinoma among atomic bomb survivors: Significant interaction of radiation with hepatitis C virus infections. *Int J Cancer*, 103(4): p531–537, 2003
13. Land CE, Tokunaga M, Koyama K, Soda M, Preston DL, Nishimori I, Tokuoka S: Incidence of female breast cancer among atomic bomb survivors, Hiroshima and Nagasaki, 1950–1990. *Radiat Res* 160(6): p707–717, 2003
14. Yonehara S, Brenner AV, Kishikawa M, Inskip PD, Preston DL, Ron E, Mabuchi K, Tokuoka S: Clinical and epidemiologic characteristics of first primary tumors of the central nervous system and related organs among atomic bomb survivors in Hiroshima and Nagasaki, 1958–1995. *Cancer* 101(7): p1644–1654, 2004
15. Ron E, Ikeda T, Preston DL, Tokuoka S: Male breast cancer incidence among atomic bomb survivors. *J Natl Cancer Inst (JNCI)* 97(8): p603–605, 2005
16. Kishikawa M, Koyama K, Iseki M, Kobuke T, Yonehara S, Soda M, Ron E, Tokunaga M, Preston DL, Mabuchi K, Tokuoka S: Histologic characteristics of skin cancer in Hiroshima and Nagasaki: Background incidence and radiation effects. *Int J Cancer* 117(3): p363–369, 2005
17. Sugiyama H, Nishi N, Kuwabara M, Ninomiya M, Arita K, Yasui W, Kasagi F and Kodama, K: Incidence

- and survival of childhood cancer cases diagnosed 1998 and 2000 in Hiroshima city, Japan. *Asian Pac. J Cancer Rev* 10: p675–680, 2009
18. Furukawa K, Preston DL, Lonn S, Funamoto S, Yonehara S, Matsuo T, Egawa H, Tokuoka S, Ozasa K, Kasagi F, Kodama K, Mabuchi K: Radiation and smoking effects on lung cancer incidence among atomic bomb survivors. *Radiat Res* 174(1): p72–82, 2010
 19. Hayashi Y, Lagarde F, Tsuda N, Funamoto S, Preston DL, Koyama K, Mabuchi K, Ron E, Kodama K, Tokuoka S: Papillary microcarcinoma of the thyroid among atomic bomb survivors. Tumor characteristics and radiation risk. *Cancer* 116(7): p1646–1655, 2010
 20. Egawa H, Furukawa K, Preston D, Funamoto S, Yonehara S, Matsuo T, Tokuoka S, Suyama A, Ozasa K, Kodama K, Mabuchi K: Radiation and smoking effects on lung cancer incidence by histological types among atomic bomb survivors. *Radiat Res* 178(3): p191–201, 2012
 21. Furukawa K, Preston D, Funamoto S, Yonehara S, Ito M, Tokuoka S, Sugiyama H, Soda M, Ozasa K, Mabuchi K: Long-term trend of thyroid cancer risk among Japanese atomic-bomb survivors: 60 years after exposure. *Int J Cancer* 132(5): p1222–1226, 2013
 22. Sugiyama H, Misumi M, Kishikawa M, Iseki M, Yonehara S, Hayashi T, Soda M, Tokuoka S, Shimizu Y, Sakata R, Grant EJ, Kasagi F, Mabuchi K, Suyama A, Ozasa K: Skin cancer incidence among atomic bomb survivors from 1958 to 1996. *Radiat Res* 181(5): p531–539, 2014
 23. Sugiyama, H., Omonishi, K., Yonehara, S., Ozasa, K., Kajihara, H., Takeshima, Y.: Characteristics of benign and malignant bone tumors registered in the Hiroshima tumor tissue registry, 1973–2012. DOI: 10.2106/JBJS.OA.17.00064, 3(2): p1–11, 2018
 24. Sentani, K., Ogawa, I., Ozasa, K., Sadakane, A., Utada, M., Tsuya, T., Kajihara, H., Yonehara, S., Takeshima, Y. and Yasui, W.: Characteristics of 5015 Salivary Gland Neoplasms Registered in the Hiroshima Tumor Tissue Registry over a Period of 39 Years. *Journal of Clinical Medicine* 8(5):566, DOI: 10.3390/jcm8050566, p1–13, 2019
 25. Fujihara M, Sakata R, Yoshida N, Ozasa K, Preston DL, Mabuchi K: Incidence of lymphoid neoplasms among atomic bomb survivors by histological subtype: 1950–1994. *Blood* 139(2): p217–227, 2022